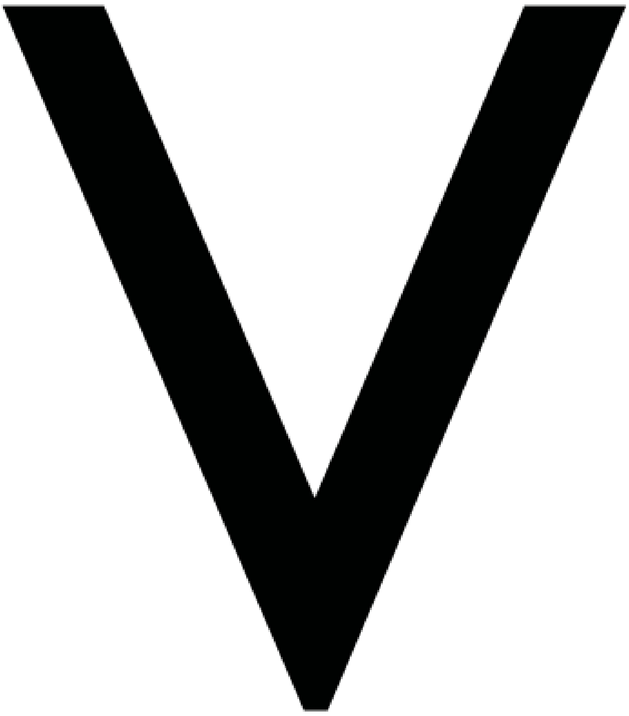
V.4.3.0

ユーザーマニュアル



VOCALOID™4
Editor

目次

目次 2
はじめに 9
ご使用上の注意 9
クイックスタートガイド 10
  再生までのカンタン手順 11
    Step 1　新しいシーケンスの作成 11
    Step 2　シンガー(歌声)を設定しましょう 11
    Step 3　テンポと拍子を設定しましょう 12
    Step 4　パートを選択しましょう 14
    Step 5　ノートを入力しましょう 14
    Step 6　歌詞を入力しましょう 16
    Step 7　再生してみましょう 19
    Step 8　コントロールパラメータを追加しましょう 19
    Step 9　もう一度、再生してみましょう 21
    Step 10　トラックを追加しましょう 22
    Step 11　パートをコピーしてコーラスを作りましょう 22
    Step 12　保存しましょう 24
各部の名称と機能 25
  VOCALOID4 Editor の機能画面 25
  メニューバー 26
    ファイル 26
      新規作成　Ctrl　+　N 26
      開く　Ctrl　+　O 27
      保存　Ctrl　+　S 30
      名前を付けて保存　Ctrl　+　Shift　+　S 30
      インポート 31
      エクスポート 35
      最近使用したファイル 38
      終了 38
    編集 39
      元に戻す　Ctrl　+　Z 39
      やり直し　Ctrl　+　Y 40
      切り取り　Ctrl　+　X 40
      コピー　Ctrl　+　C 40

貼り付け　Ctrl　＋　V 40
削除　Delete 40
すべて選択　Ctrl　＋　A 41
すべてのイベントを選択　Ctrl　＋　Shift　＋　A 41
すべてのパートを選択　Ctrl　＋　A 42
Musical パートをすべて選択 42
WAV パートをすべて選択 42
選択トラックのすべてのパートを選択　Ctrl　＋　Shift　＋　A 42
オートノーマライズモード 43
表示 44
ツールバー 44
グリッドライン 45
スタートマーカー　/　エンドマーカー 45
コントロールパラメータ　Ctrl　＋　E 46
歌詞/発音記号 46
発音記号優先表示　Ctrl　＋　R 47
ピッチカーブ表示 47
ノートの歌唱スタイル 47
ミキサー　F3 48
ジョブ 49
ノートのノーマライズ 49
歌詞の流し込み 50
テンポをインポート 51
Job プラグインを実行　Ctrl　＋　J 51
Job プラグイン 52
Job プラグインを管理　Ctrl　＋　Shift　＋　J 53
トラック 54
トラックを追加 54
トラックの名前を変更 54
選択トラックを合成 55
すべてのトラックを合成 55
パート 56
パートを追加 56
選択パートを分割　Alt　＋　X 57
選択パートを結合 57
選択パートを合成 57

  - ピッチスナップモード 58
  - ピッチレンダリング　P 58
  - エクスプレッションピッチを PIT に変換 59
  - ビブラートピッチを PIT に変換 60
  - パートプロパティ 61
- 歌詞 63
  - 発音記号変換 63
  - ユーザー辞書（※英語シンガーのみ） 63
  - デフォルト歌詞に戻す 67
  - 発音記号のプロテクト 67
  - ノートプロパティ 68
- トランスポート 77
  - 再生 77
  - Musical パートを再生 77
  - 停止 78
  - シーケンスの先頭へ 78
  - シーケンスの末尾へ 78
  - 巻き戻し 78
  - 早送り 78
  - 再生位置へ移動 79
  - リピート 79
  - オートスクロール 79
- 設定 80
  - プリファレンス 80
  - ショートカットのカスタマイズ 91
  - パートの歌唱スタイル 98
  - シンガーエディター 100
  - VST プラグイン 108
  - クオンタイズ 111
  - パート/ノートの長さ 111
  - 固定長ノート入力 112
- ウィンドウ 113
  - 次のウィンドウを表示 113
  - 最小化 114
  - 最大化 114
  - 元のサイズに戻す 114

    - すべて最小化 114
    - すべて元のサイズに戻す 114
    - 上下に並べて表示 115
    - ウィンドウリスト 115
  - ヘルプ 116
    - ユーザーマニュアル 116
    - VOCALOID.com 116
    - アップデートの確認 117
    - VOCALOID4 Editor について 117
- ツールバー 119
  - 編集ツールバー 119
    - 矢印ツール 119
    - 鉛筆ツール 120
    - ラインツール 120
    - 消しゴムツール 120
  - トランスポートツールバー 121
    - 再生 121
    - 停止 121
    - リピート 121
    - 先頭へ 122
    - 巻き戻し 122
    - 早送り 122
    - 末尾へ 122
    - スタートマーカー ／ エンドマーカー 123

SONG POS.
0:1:000

SONG POS（ソングポジションインジケーター） ... 123

TEMPO
BEAT
120.00
4/4

TEMPO , BEAT（テンポ ， ビートインジケーター） ... 124

- メジャーツールバー ... 124
  - CURSOR (カーソルインジケーター) ... 124
  - QUANTIZE (クオンタイズ) ... 125
  - LENGTH (パート/ノートの長さ) ... 125
- ピッチレンダリングツールバー ... 126

トラックエディターウィンドウ ... 126

- ルーラー ... 127
  - メジャー（小節）ルーラー ... 127
  - テンポルーラー ... 128
  - ビート（拍子）ルーラー ... 129
- トラック ... 131
  - VOCALOID トラック ... 134
  - WAV（MONO）トラック ... 140
  - WAV（STEREO）トラック ... 140
  - 右クリック表示メニュー（トラック） ... 140
- シンガー ... 141
  - シンガーの選択 ... 141
  - シンガーのカスタマイズ ... 142

ミュージカルエディターウィンドウ ... 143

- ルーラー ... 143
- ピアノロールエリア ... 144
  - 鍵盤 ... 144
  - スクロールバー ... 144
  - ズームスライダー ... 145
  - ピアノロール ... 145
- ノート（音符） ... 145
  - ノートを入力／編集する ... 146
  - 編集するノートを選択する ... 148
  - ノートをリサイズ（長さ調節）する ... 148
  - ノートを移動する ... 149

ノートをコピー／貼り付ける……150
ノートを削除する……150
ビブラート……151
歌詞／発音記号……152
歌詞の入力と編集……152
発音記号の編集……154
フレーズ歌詞/発音記号表示……154
右クリック表示メニュー（ピアノロールエリア）……154
コントロールパラメータエリア……155
コントロールパラメータの表示……156
コントロールパラメーター覧表……158
コントロールパラメータの入力／編集……159
右クリック表示メニュー（コントロールパラメータエリア）……162
ミキサーウィンドウ……163
入力ゲイン（gain）……164
VST プラグイン（vst）……165
センド（send）……166
リターン（return）……166
パンスライダー（pan）……167
ミュートボタン……167
ソロボタン……168
VOCALOID トラックフェーダー……168
WAV トラックフェーダー……169
マスターフェーダー……170
折りたたみボタン……170
付録……172
発音記号……172
VOCALOID4 発音記号一覧表（英語）……172
VOCALOID4 発音記号一覧表（日本語）……174
VOCALOID4 発音記号一覧表（韓国語）……176
VOCALOID4 発音記号一覧表（スペイン語）……178
VOCALOID4 発音記号一覧表（中国語）……180
VOCALOID4 発音記号一覧表（中国語）(bopomofo)……182
ショートカットキー……184
トランスポート機能のショートカット……184
編集ツール・編集機能のショートカット……184

その他のショートカット 185
右クリックメニュー　　Shift　＋　F10 186
トラック上で右クリック 186
ピアノロール上で右クリック 186
コントロールパラメータ上で右クリック 187
トラブルシューティング　Q ＆ A 188

はじめに

このたびは VOCALOID4 Editor をご愛用いただき、誠にありがとうございます。VOCALOID4 Editor は、プロの楽曲制作現場から ご家庭での気軽な音楽制作まで、幅広いシチュエーションに対応できますよう、従来の VOCALOID Editor をさらに使いやすく充実させました。
これまでにないパラメータや操作機能を使って、さらに表現の可能性を広げ、より深く VOCALOID の世界をお楽しみください。

ご使用上の注意

- VOCALOID4 Editor をアクティベーションする際は、インターネットに接続できる環境が必要です。
- アクティベーションの詳細につきましては、同梱の『はじめにお読みください』をご参照ください。
- VOCALOID4 Editor をご使用になるには、別途歌声ライブラリが必要です。
- 必ず、1 つ以上の歌声ライブラリをご用意ください。
- 対応の歌声ライブラリにつきましては「VOCALOID™ / ボーカロイド 公式サイト」をご覧ください。
  http://www.vocaloid.com/
- VST は Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- VOCALOID4 Editor では、オリジナルの VOCALOID、VOCALOID2、VOCALOID3 で作成されたファイルを VOCALOID4 Editor で使用可能な形式に変換して読み込めます。
- 本マニュアルの画像は Windows 8.1 でご案内しています。

クイックスタートガイド

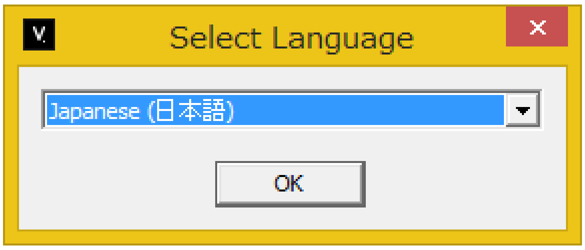
ここでは、VOCALOID4 Editor の操作を簡単にご案内します。

各メニューやツールなどの詳細は「各部の名称と機能」をご覧ください。

はじめましょう

VOCALOID4 Editor は アイコンをクリックして起動します。

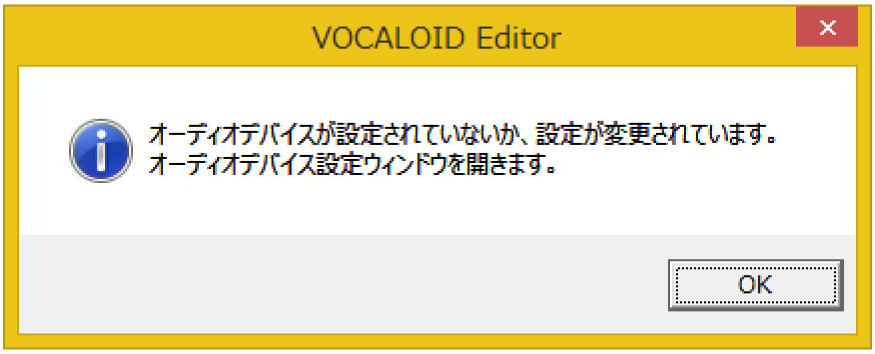
言語選択画面が表示されたら、使用する言語を選択して［OK］で閉じます。



Select Language

Japanese (日本語)

オーディオデバイス（出力先）が設定されていない旨のメッセージが表示された場合［OK］で先へ進むと、オーディオデバイス（出力先）の設定画面が表示されます。



VOCALOID Editor

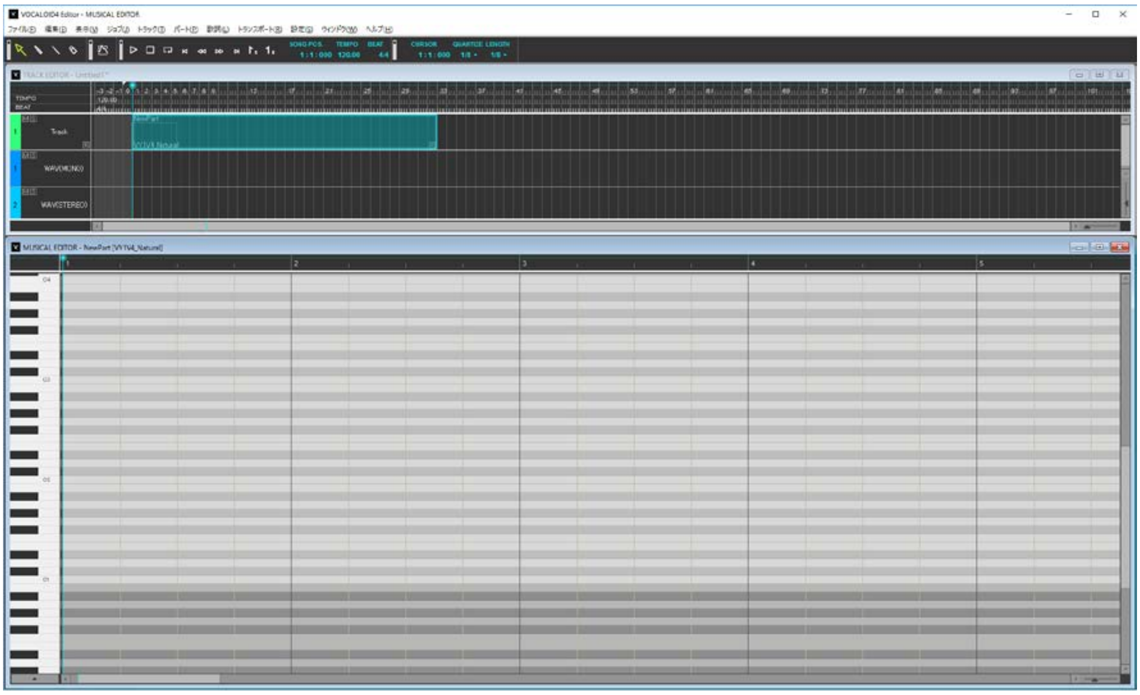
オーディオデバイスが設定されていないか、設定が変更されています。
オーディオデバイス設定ウィンドウを開きます。

オーディオデバイスの設定については、“設定”メニューの「プリファレンス」より“オーディオタブ”をご参照ください。

再生までのカンタン手順

Step 1 新しいシーケンスの作成

VOCALOID4 Editor では、起動時に新規シーケンスファイルが開きます。



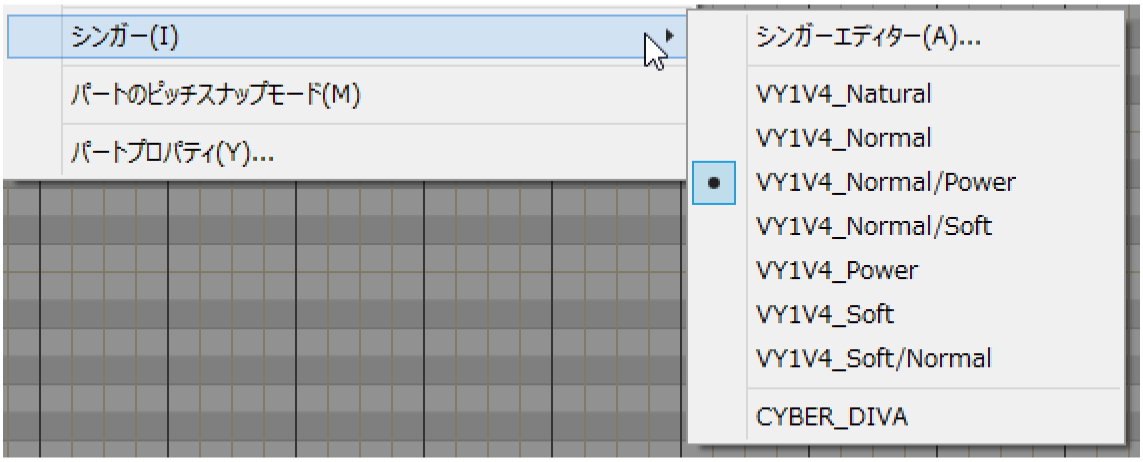
すでに VOCALOID トラックが 1 つ表示され、その中に 1 つのパートが生成されています。

◆ トラックを追加する場合は → トラックメニュー / トラックを追加 へ

◆ パートを追加する場合は → パートメニュー / パートを追加 へ

Step 2 シンガー(歌声)を設定しましょう

シンガーは、パートごとに設定できます。
歌声ライブラリを複数インストールしている場合や、シンガーエディターで
シンガーを追加した場合には、パートごとに設定するシンガーを選択できます。


シンガー(I)
パートのピッチスナップモード(M)
パートプロパティ(Y)...
シンガーエディター(A)...
VY1V4_Natural
VY1V4_Normal
● VY1V4_Normal/Power
VY1V4_Normal/Soft
VY1V4_Power
VY1V4_Soft
VY1V4_Soft/Normal
CYBER_DIVA

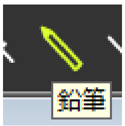
- シンガーについての詳細は → トラックエディターウィンドウ / シンガーの選択 へ
- シンガーエディターの詳細は → 設定メニュー / シンガーエディター へ

シンガーが１つだけの場合には、パート生成時に自動的に設定されているため、
特に設定する必要はありません。
シンガーが設定されると、ミュージカルエディターウィンドウ上部のタイトル
バーに、現在選択されているパート名に続いてシンガーの名前が表示されます。

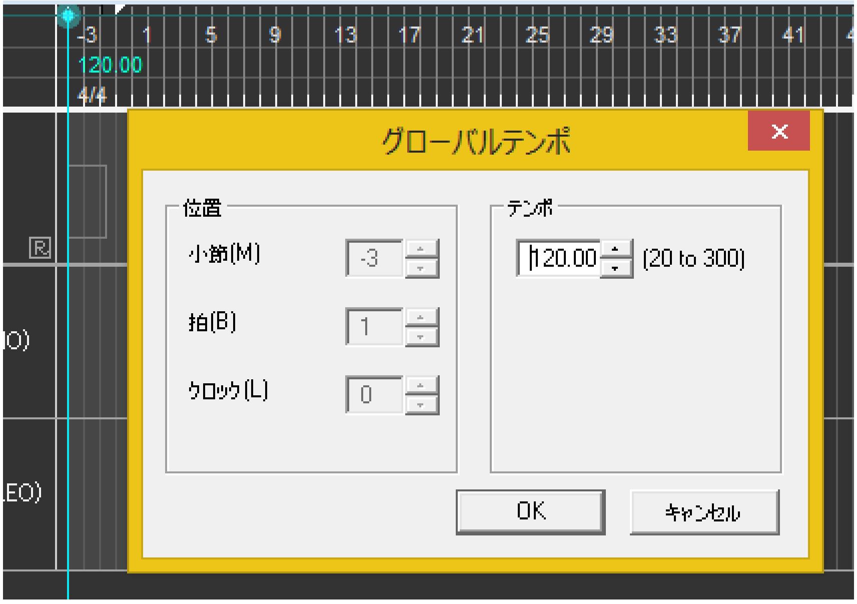
Step 3 テンポと拍子を設定しましょう

テンポと拍子は先頭をはじめ、任意の位置で設定できます。
シーケンスの先頭部分（トラックエディター内上部にあるルーラーの左端）に、
テンポ（TEMPO）と拍子（BEAT）の初期値が表示されています。

編集ツールを『鉛筆ツール』に変更し、それぞれの数値をダブルクリックすると、設定を変更するダイアログが開きます。



◆ 編集ツールについては → ツールバー / 編集ツールバー へ



グローバルテンポ

位置

小節(M) -3

拍(B) 1

クロック(L) 0

テンポ

120.00 (20 to 300)

OK　キャンセル

◇ キーボードのピリオド［. ］キーを押すとシーケンスの先頭を表示できます。

曲の途中で設定を変更したい場合は、ダイアログ内の位置に値を入力する他に、任意の位置でそれぞれのルーラーをクリックしてダイアログを開くこともできます。

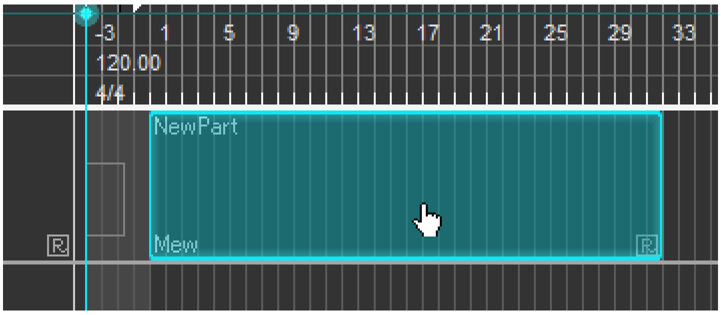
◆ テンポを変更したい場合は → トラックエディターウィンドウ / テンポルーラー へ

◆ 拍子を変更したい場合は → トラックエディターウィンドウ / ビート（拍子）ルーラー へ

初期設定のテンポ（120）と拍子（4/4）を変更しない場合には、設定の必要はありません。

Step 4 パートを選択しましょう

編集するパートを選択します。


-3
1
5
9
13
17
21
25
29
33
120.00
4/4
NewPart
Mew
R
R

トラックエディターエリア内の VOCALOID トラック上に表示されているパートをクリックします。

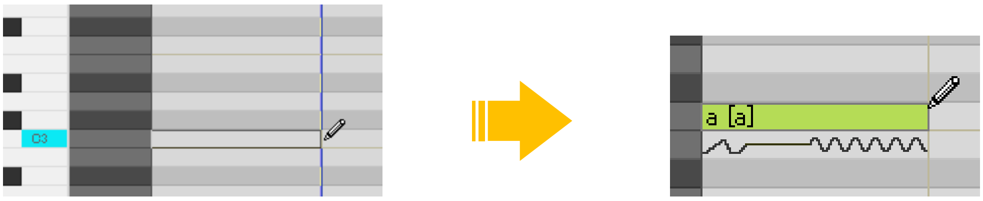
◆ パート選択については → トラックエディターウィンドウ / 編集するパートを選択する へ

Step 5 ノートを入力しましょう

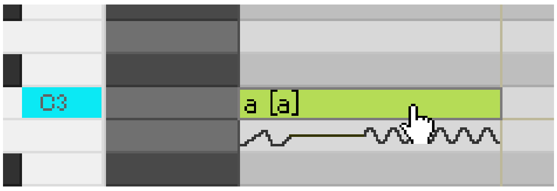
選択したパートへノートを入力しましょう。
ノートはピアノロールに『鉛筆ツール』を使って入力します。

◆ ピアノロールについては → ミュージカルエディターウィンドウ / ピアノロールエリア へ

マウスをドラッグさせて任意のノートを入力します。

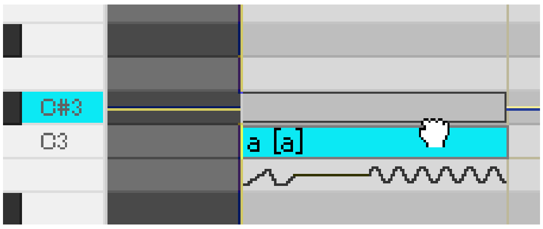


マウスを離すと、ノートが入力されます。

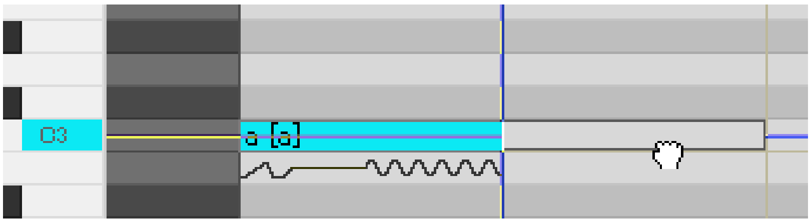


ノート上に置かれたカーソルはハンドカーソル表示になります。

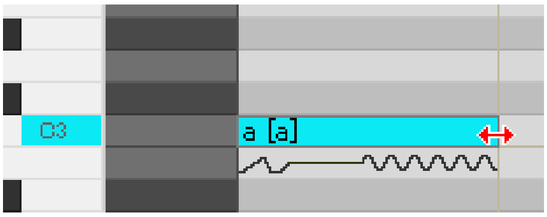
そのまま上下にドラッグして音高を移動させることもできます。



左右にドラッグして位置を移動させることもできます。



ノートの端にカーソルを置くと、ストレッチ表示になりノートの長さ調節ができます。

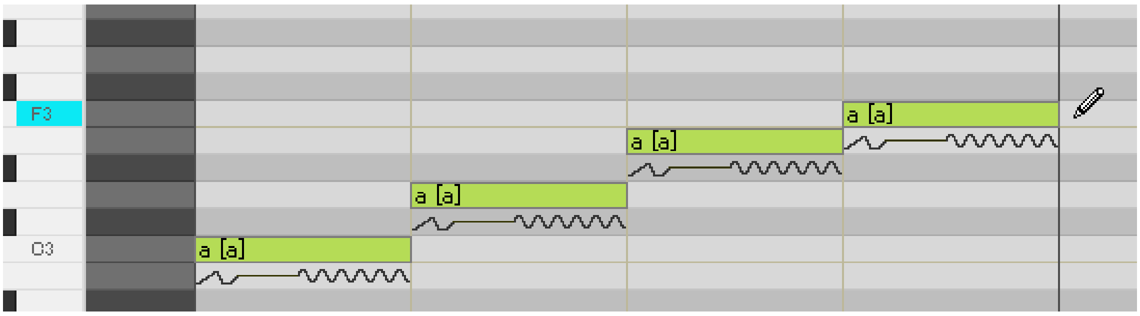


ノートの位置変更や、長さを調節する場合には、クオンタイズ（QUANTIZE）やノートの長さ（LENGTH）の設定が影響します。自在に編集したい場合に『オフ』、正確に入力したい場合には設定値を選択すると便利です。

初期値（クオンタイズとノートの長さは『1/8（8分音符）』、固定長音符入力は『オフ』）を変更しない場合は、それぞれの設定は必要ありません。

◆ クオンタイズの設定については → 設定メニュー / クオンタイズ へ
◆ ノートの長さの設定については → 設定メニュー / パート/ノートの長さ へ
◆ 固定長ノートの設定については → 設定メニュー / 固定長ノート入力 へ

ここでは、４分音符を４つ入力してみましょう。

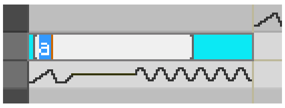


Step 6 歌詞を入力しましょう

４つのノートに歌詞を『おはよー』と入力してみましょう。
歌詞の入力には、ノートに１つずつ歌詞を入力していく方法と、一度に歌詞を流し込む入力方法があります。

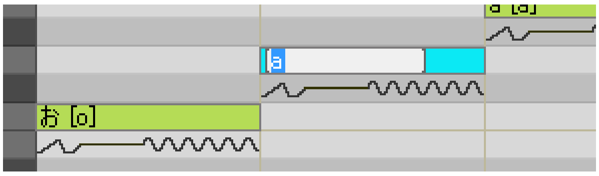
◆ 歌詞の入力と編集については → 歌詞／発音記号 / 歌詞の入力と編集 へ

歌詞を１つずつ入力する場合には、入力したいノートをダブルクリックします。

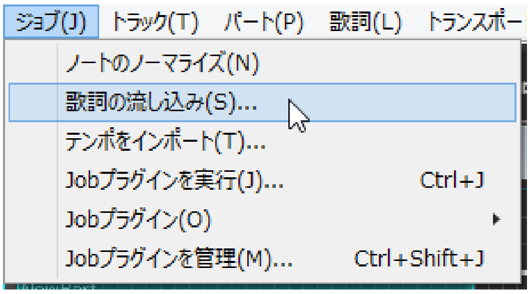


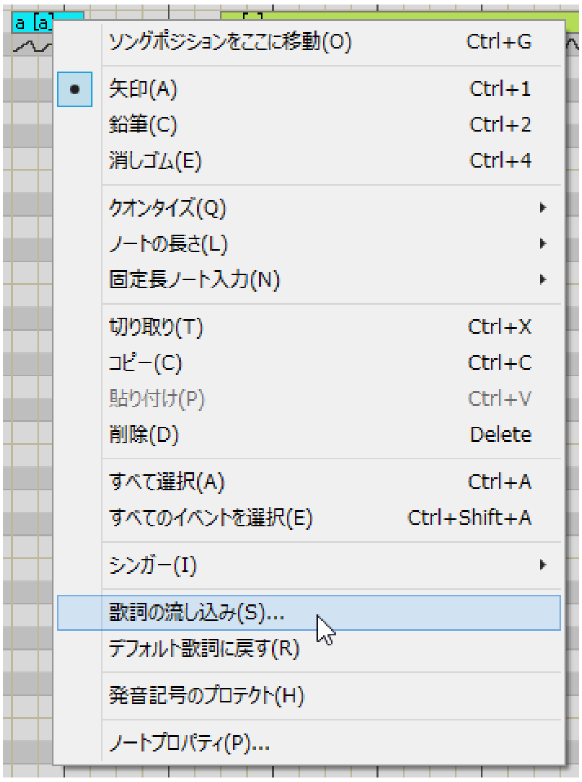
編集状態になったノートへ歌詞を入力します。

入力後、［Tab］キーを押すと、次のノートが編集状態になります。



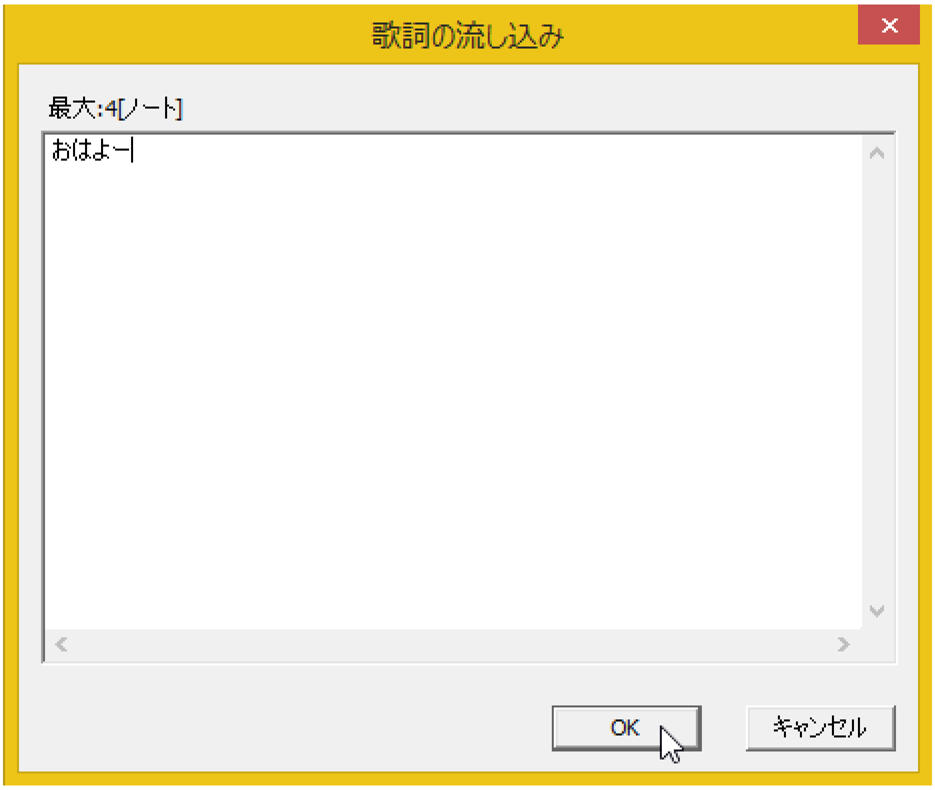
一方、歌詞を流し込んで入力する場合には、流し込みの開始点となるノートを選択した状態で、“ジョブ”メニュー または ノート上で右クリックして表示させたメニューより「歌詞の流し込み」を選択します。


ジョブ(J)
トラック(T)
パート(P)
歌詞(L)
トランスポー
ノートのノーマライズ(N)
歌詞の流し込み(S)...
テンポをインポート(T)...
Jobプラグインを実行(J)... Ctrl+J
Jobプラグイン(O)
Jobプラグインを管理(M)... Ctrl+Shift+J


a [a]
ソングポジションをここに移動(O) Ctrl+G
矢印(A) Ctrl+1
鉛筆(C) Ctrl+2
消しゴム(E) Ctrl+4
クオンタイズ(Q)
ノートの長さ(L)
固定長ノート入力(N)
切り取り(T) Ctrl+X
コピー(C) Ctrl+C
貼り付け(P) Ctrl+V
削除(D) Delete
すべて選択(A) Ctrl+A
すべてのイベントを選択(E) Ctrl+Shift+A
シンガー(I)
歌詞の流し込み(S)...
デフォルト歌詞に戻す(R)
発音記号のプロテクト(H)
ノートプロパティ(P)...

◆ 右クリックメニューについては → 付録 より 右クリックメニュー へ

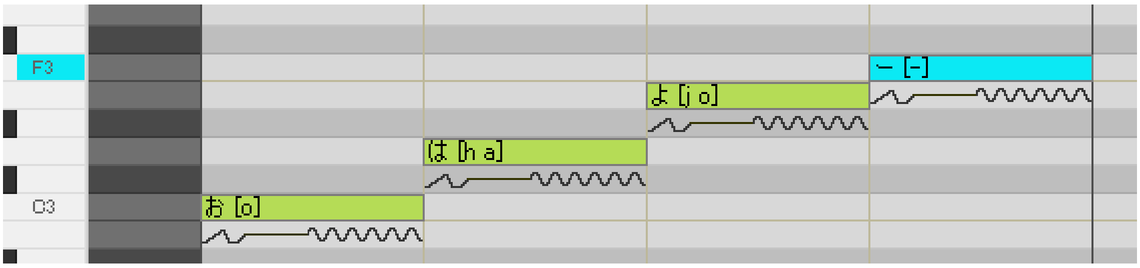
開いた『歌詞の流し込み』ウィンドウへ歌詞を入力し、［OK］を押します。


歌詞の流し込み
OK
キャンセル

最大:4[ノート]

おはよー

流し込んだ歌詞が、それぞれのノートに表示されます。


F3
C3
お [o]
は [h a]
よ [j o]
ー [-]

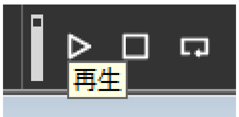
歌詞の右側に表示されているのは、発音記号です。

◆ 歌詞の入力と編集については → 歌詞メニュー より 発音記号の編集 へ

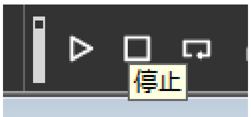
Step 7 再生してみましょう

入力したノートや歌詞を再生して発音を確認してみましょう。
ピアノロール上部に表示されている メジャールーラー上をクリックして、ソングポジション（水色の縦線）を先頭のノートの少し手前に移動させます。
VOCALOID4 Editor 画面の上部に表示されているトランスポートパネル内の再生ボタンをクリックします。右横の停止ボタンをクリックすると停止します。

＜ 再生ボタン ＞



＜ 停止ボタン ＞



◆ トランスポートパネルについては → ツールバー / トランスポートツールバー へ

注意！

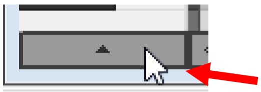
音が出ない場合は以下を確認してみましょう。

- オーディオデバイスの設定先は正しく接続されていますか？
- ミキサーのフェーダーが『0』に下がっていませんか？
- トラックのミュートボタンがオンになっていませんか？

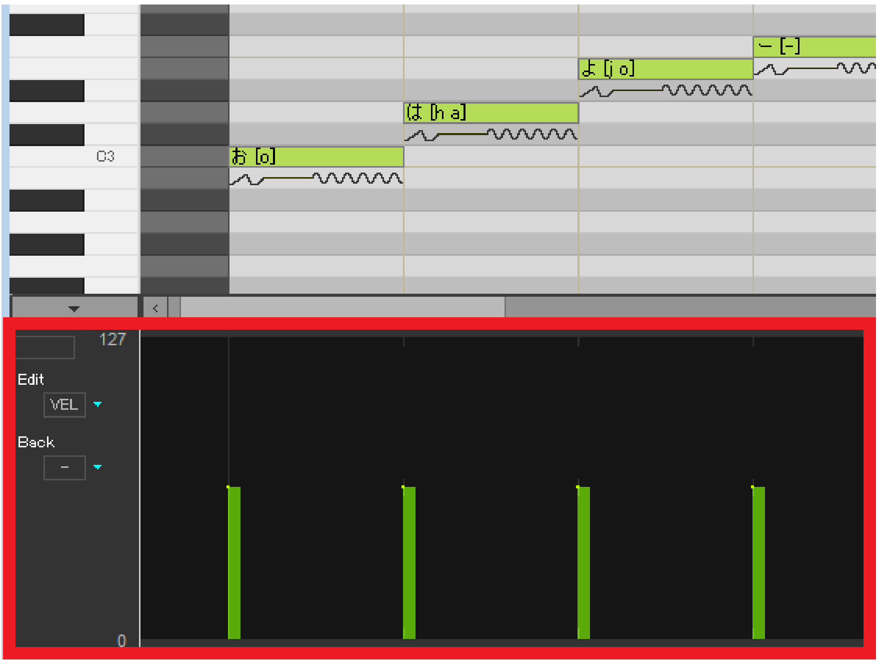
Step 8 コントロールパラメータを追加しましょう

ピアノロールエリアの下部分に『コントロールパラメータエリア』を表示させましょう。

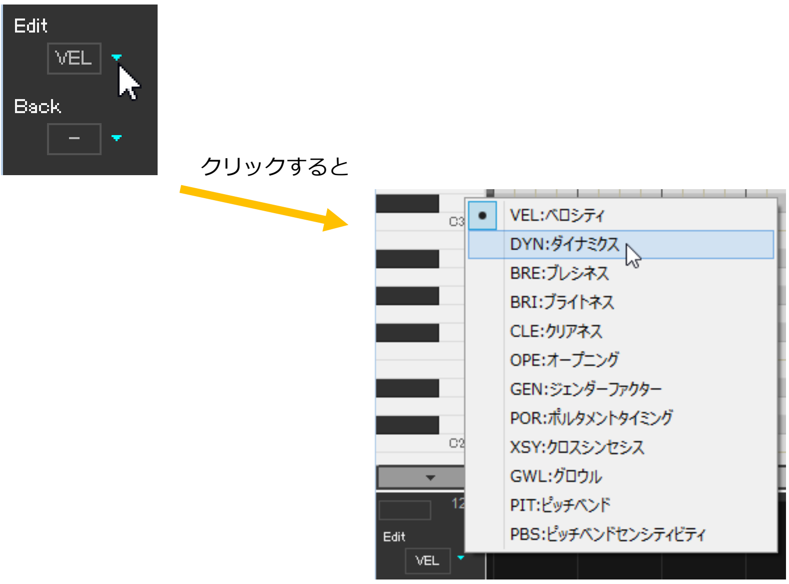
ピアノロールエリア左下部分に『折りたたみボタン』が表示されています。



クリックするとコンロトールパラメータエリアが表示されます。


ー [-]
よ [j o]
は [h a]
お [o]
C3
127
Edit
VEL
Back
−
0

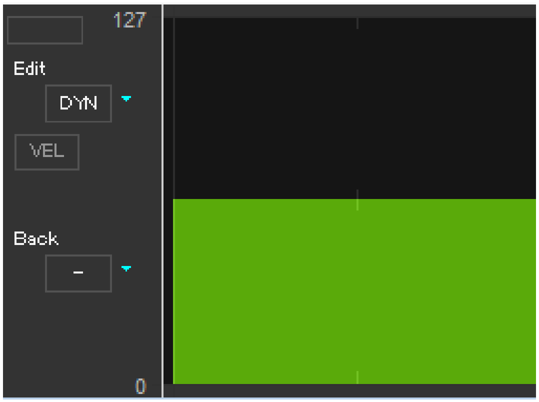
編集するパラメータ（Edit）と透過表示させるパラメータ（Back）を左側に表示された選択ボックスで、それぞれ設定できます。



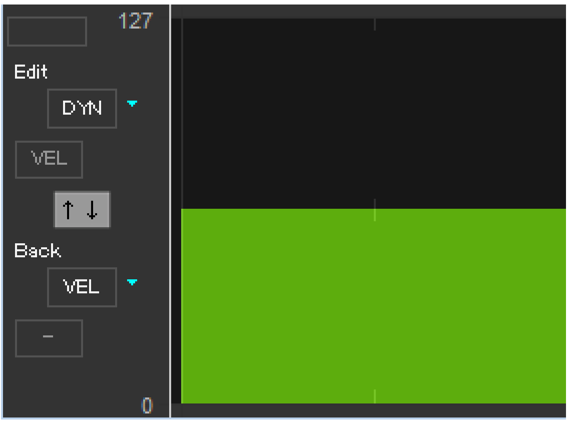
クリックすると

Edit
VEL
Back
−
VEL:ベロシティ
DYN:ダイナミクス
BRE:ブレシネス
BRI:ブライトネス
CLE:クリアネス
OPE:オープニング
GEN:ジェンダーファクター
POR:ポルタメントタイミング
XSY:クロスシンセシス
GWL:グロウル
PIT:ピッチベンド
PBS:ピッチベンドセンシティビティ
C3
C2
Edit
VEL

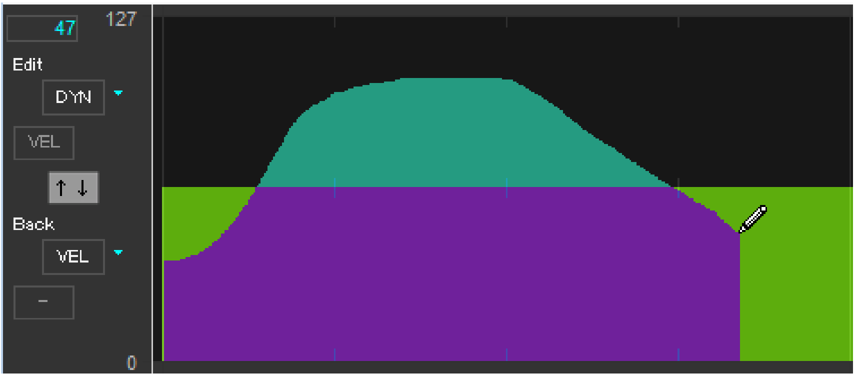
Edit：DYN（ダイナミクス）のみ表示


127
Edit
DYN
VEL
Back
－
0

Back：VEL（ベロシティ）を追加表示


127
Edit
DYN
VEL
↑↓
Back
VEL
－
0

コントロールパラメータは『鉛筆ツール』を使ってドラッグさせて入力します。

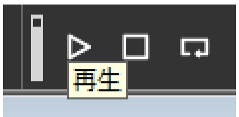

47
127
Edit
DYN
VEL
↑↓
Back
VEL
－
0

◆ コントロールパラメータについては → コントロールパラメータエリア へ

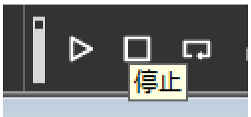
Step 9 もう一度、再生してみましょう

Step 7 と同じように『 再生 ／ 停止 』で、出力音の確認をしてみましょう。

＜ 再生ボタン ＞

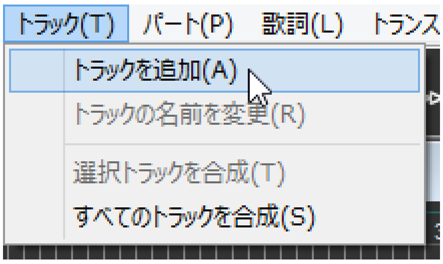


＜ 停止ボタン ＞



Step 10　トラックを追加しましょう

VOCALOID トラックは単音のみの発音となるため、同じ位置に異なる音高のノートを重ねて入力できません。
そこで、コーラスは新たにトラックを追加して入力します。

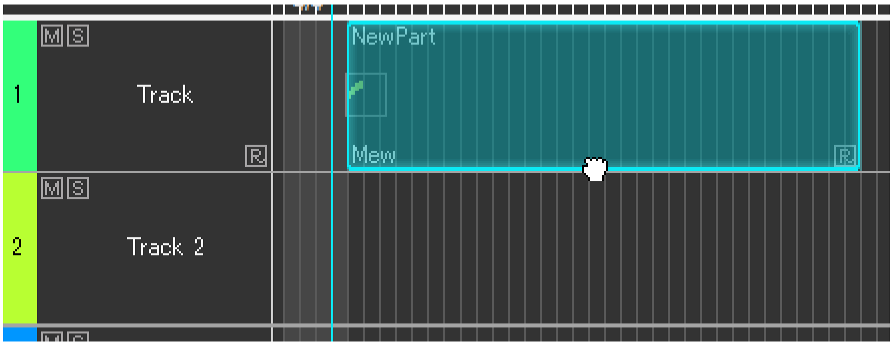

トラック(T)
パート(P)
歌詞(L)
トランス
トラックを追加(A)
トラックの名前を変更(R)
選択トラックを合成(T)
すべてのトラックを合成(S)

◆ トラックを追加する場合は →　トラックメニュー / トラックを追加 へ

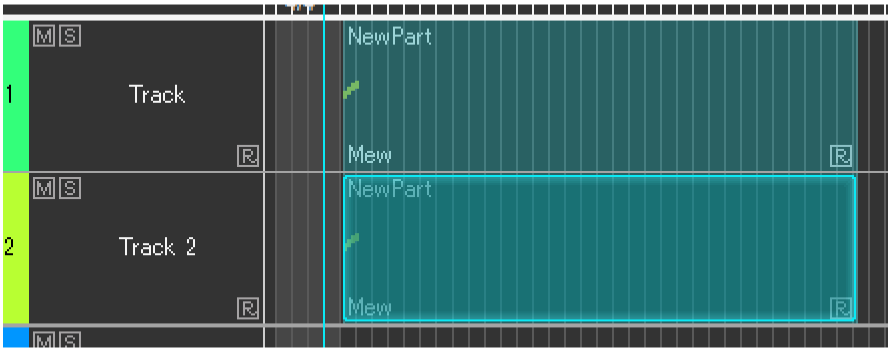
『 Track　2』が作成されます。

Step 11　パートをコピーしてコーラスを作りましょう

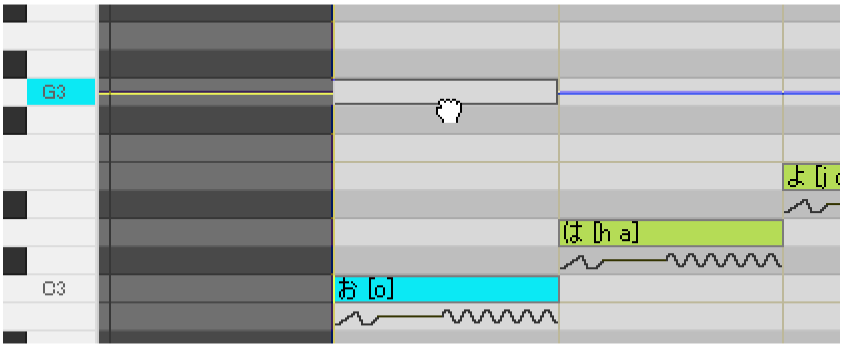
ここでは、これまで入力したパートを新しいトラックへコピーする方法で作成します。
コピーするパートの上にマウスカーソルを置き、ハンドカーソル表示させてキーボードキーの［Ctrl］を押しながら『 Track　2』へドラッグします。


M S
1
Track
R
M S
2
Track 2
NewPart
Mew
R

『 Track 』のパートが『 Track 2』へコピーされます。

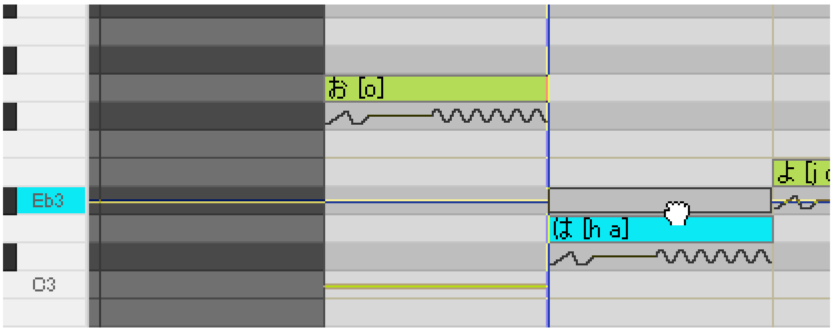

M S
1
Track
R
M S
2
Track 2
R
NewPart
Mew
R
NewPart
Mew
R

コピーしたパートをダブルクリックし、ピアノロール上のノートを任意の音高や位置に移動させせます。


G3
C3
お [o]
は [h a]
よ [j

ノートを移動させると、元のパートのノートが透過表示されます。

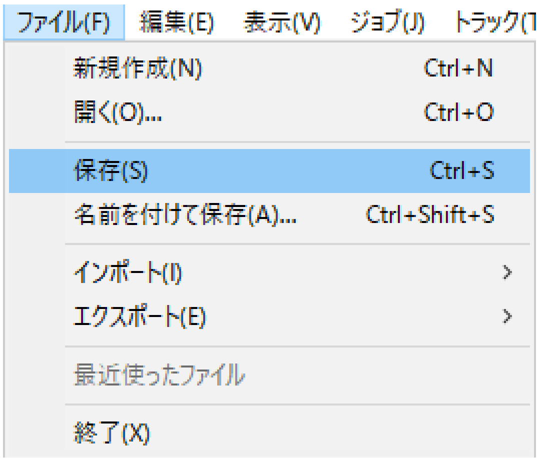
◆ ノートの透過表示設定については → VOCALOID シーケンスタブ へ


お [o]
よ [j o
Eb3
は [h a]
C3

◆ パートを追加する場合は → パートメニュー / パートを追加 へ

Step 12 保存しましょう

入力が完了したら必ず保存しましょう。

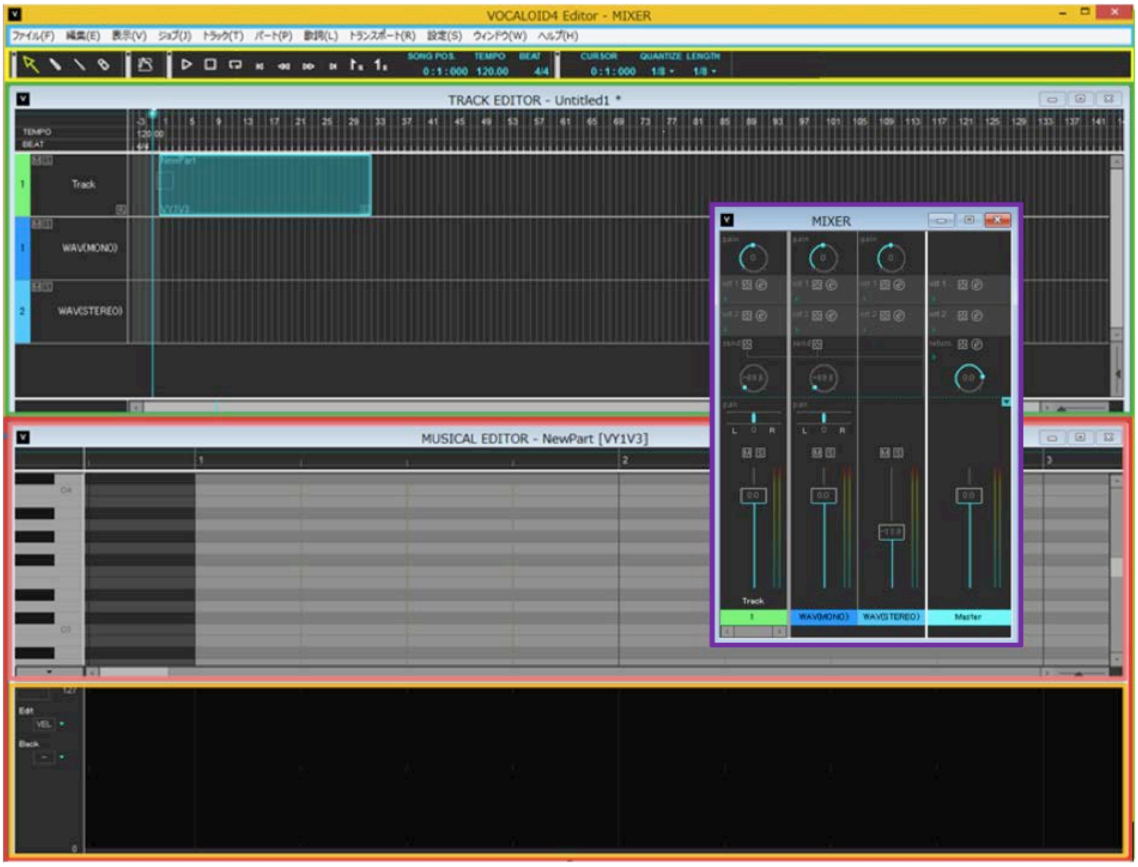

ファイル(F)
編集(E)
表示(V)
ジョブ(J)
トラック(T
新規作成(N) Ctrl+N
開く(O)... Ctrl+O
保存(S) Ctrl+S
名前を付けて保存(A)... Ctrl+Shift+S
インポート(I) >
エクスポート(E) >
最近使ったファイル
終了(X)

ファイル名を入力するダイアログを開きます。
ファイルの保存場所を指定し、ファイル名を付けて［保存］をクリックすると保存が実行されます。

◆ 保存については → ファイルメニュー / 保存 へ

各部の名称と機能

VOCALOID4 Editor の機能画面


VOCALOID4 Editor - MIXER
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ジョブ(J) トラック(T) パート(P) 歌詞(L) トランスポート(R) 設定(S) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
SONG POS.
TEMPO
BEAT
CURSOR
QUANTIZE
LENGTH
0:1:000
120.00
4/4
1/8
TRACK EDITOR - Untitled1 *
TEMPO
BEAT
Track
WAV(MONO)
WAV(STEREO)
NewPart
MIXER
Master
MUSICAL EDITOR - NewPart [VY1V3]
Edit
VEL
Back

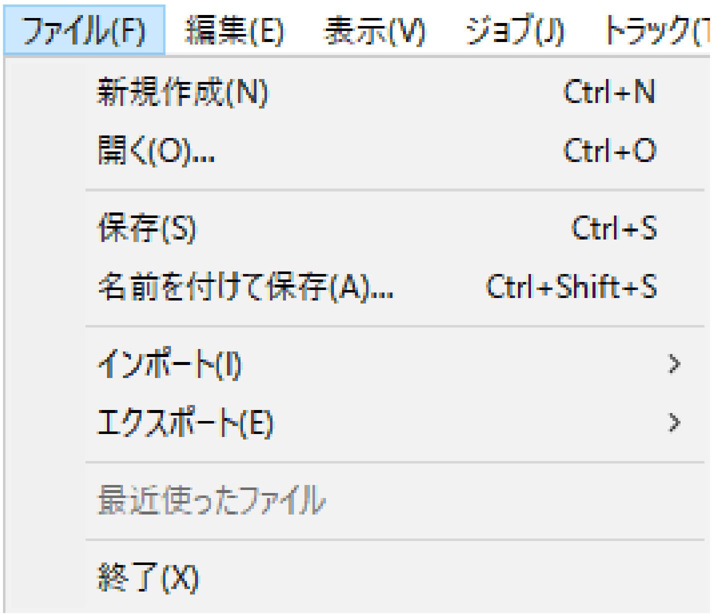
- メニューバー
- ツールバー
- トラックエディターウィンドウ
- ミュージカルエディターウィンドウ
- ピアノロールエリア
- コントロールパラメータエリア
- ミキサーウィンドウ

メニューバー

VOCALOID4 Editor で操作できるメニューが 11 個に項目分けされています。

ファイル

VOCALOID4 ファイル（VOCALOID4 Editor で取り扱うファイル）について、基本的な操作に関するメニューを開きます。


ファイル(F)
編集(E)
表示(V)
ジョブ(J)
トラック(T
新規作成(N) Ctrl+N
開く(O)... Ctrl+O
保存(S) Ctrl+S
名前を付けて保存(A)... Ctrl+Shift+S
インポート(I)
エクスポート(E)
最近使ったファイル
終了(X)

新規作成 Ctrl + N

新しい VOCALOID4 シーケンスファイルを作成します。

既に編集中のシーケンスファイルが開かれている場合は、保存に関する選択ダイアログが表示されます。保存する場合は［はい］を選択します。

表示されたダイアログ内でファイルの保存場所とファイル名を指定して［保存］をクリックすると、シーケンスデータは指定したファイルに保存され、新しいシーケンスファイルを開きます。
また［いいえ］を選択すると、現在のシーケンスデータは破棄され、新しいシーケンスファイルが開きます。［キャンセル］で操作を中止します。

補足

新規シーケンスファイルの初期設定で作成されるトラックは以下の通りです。

- VOCALOID トラック（32 小節のパートを 1 つ含む）： 1 トラック
- WAV（MONO）トラック ： 1 トラック（固定）
- WAV（STEREO）トラック ： 1 トラック（固定）

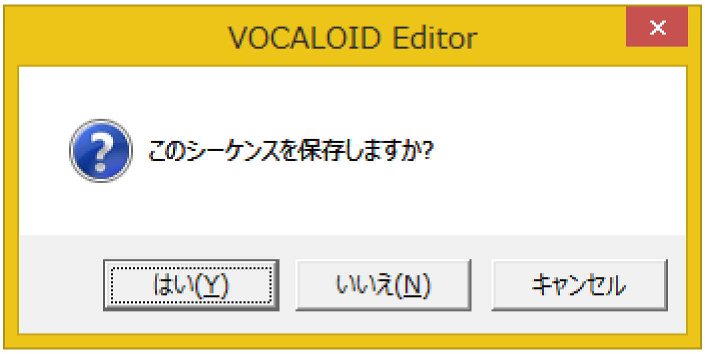
開く　Ctrl + O

以前作成したファイルや、他のシーケンサーソフトで作ったファイルを VOCALOID4 Editor で開きます。

VOCALOID4 Editor で開けるファイル

VOCALOID4 ファイル（.vsqx）
VOCALOID3 ファイル（.vsqx）
VOCALOID2 ファイル（.vsq）
VOCALOID MIDI（.mid）
SMF(Standard MIDI File)（.mid）

既に編集中のシーケンスファイルが開かれている場合は、保存に関する選択ダイアログが表示されます。


VOCALOID Editor
×
はい(Y)
いいえ(N)
キャンセル

このシーケンスを保存しますか?

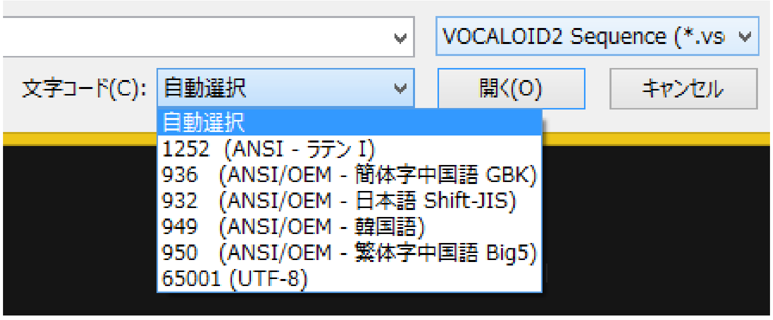
保存する場合は［はい］を選択し、表示されたダイアログ内にてファイルの保存場所とファイル名を指定して［保存］をクリックすると、シーケンスデータはファイルに保存されます。

［いいえ］を選択すると、現在のシーケンスデータは破棄され、新しいシーケンスファイルが開きます。［キャンセル］で操作を中止します。

作業中のシーケンスデータが保存 または 破棄されると、「ファイルを開く」ウィンドウが表示され、開くファイルを選択できます。

補足

- VOCALOID2 ファイル（.vsq）、VOCALOID MIDI（.mid）、SMF(Standard MIDI File)（.mid）は、文字コードを指定して開けます。


VOCALOID2 Sequence (*.vs
開く(O)
キャンセル
自動選択
1252 (ANSI - ラテン I)
936 (ANSI/OEM - 簡体字中国語 GBK)
932 (ANSI/OEM - 日本語 Shift-JIS)
949 (ANSI/OEM - 韓国語)
950 (ANSI/OEM - 繁体字中国語 Big5)
65001 (UTF-8)

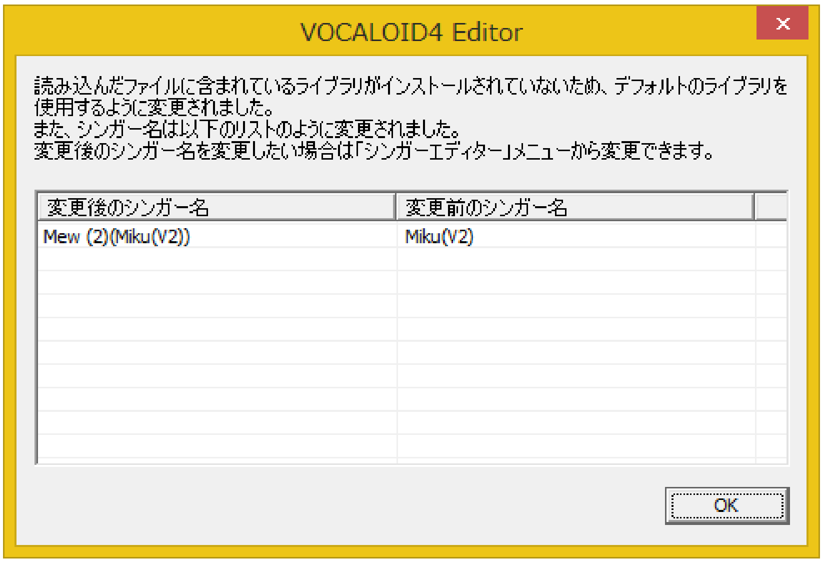
文字コード(C): 自動選択

“開く” ダイアログ内「ファイル名」右横のファイルの種類を選択できるプルダウンメニューで「VOCALOID2 Sequence (*.vsq)」または「VOCALOID MIDI ,SMF(*.mid)」を選択すると、対応文字コードのコンボボックスがダイアログ下部に表示されます。

選択可能な文字コードは以下の通りです。

文字コード	説明
自動選択	OS の既定の文字コード
949 (ANSI/OEM - 韓国語)	韓国語　文字コード
936 (ANSI/OEM - 簡体字中国語 GBK)	中国語の簡体字　文字コード
932 (ANSI/OEM - 日本語 Shift-JIS)	日本語の Shift-JIS の文字コード
1252 (ANSI - ラテン I)	英語、スペイン語などの文字コード
950 (ANSI/OEM - 繁体字中国語 Big5)	中国語の繁体字の文字コード
601 (UTF-8)	ユニコード（UTF-8）

- インストールされているライブラリがファイル作成時と異なる場合は、自動的にライブラリを変更するダイアログが表示されます。
［OK］をクリックして閉じます。



読み込んだファイルに含まれているライブラリがインストールされていないため、デフォルトのライブラリを使用するように変更されました。
また、シンガー名は以下のリストのように変更されました。
変更後のシンガー名を変更したい場合は「シンガーエディター」メニューから変更できます。

変更後のシンガー名	変更前のシンガー名
Mew (2)(Miku(V2))	Miku(V2)

「 変更後のシンガー名 」： このコンピュータでの再生に使われるシンガー名

「 変更前のシンガー名 」： 読み込んだファイルが作成されたコンピュータで設定されていたシンガー名

シンガーの設定を変更したい場合は「シンガー」から変更できます。
シンガー名を変更したい場合は「シンガーエディター」から変更できます。

- VOCALOID2 ファイル（.vsq）を VOCALOID4 Editor で開く場合は、コントロールパラメータの “ベロシティ(VEL) ”値がすべて自動的にデフォルト値『64』に設定されます。

保存　Ctrl + S

開いている VOCALOID4 シーケンスファイルを保存します。
クリックし、ファイル名を入力するダイアログを開きます。
ファイルの保存場所を指定し、ファイル名を付けて［保存］をクリックすると保存が実行されます。
既に存在するファイルを開いている場合は、そのまま上書き保存されます。

名前を付けて保存　Ctrl + Shift + S

新たに名前を付けて保存します。
表示されるダイアログでファイルの保存場所とファイル名を指定し、［保存］をクリックします。

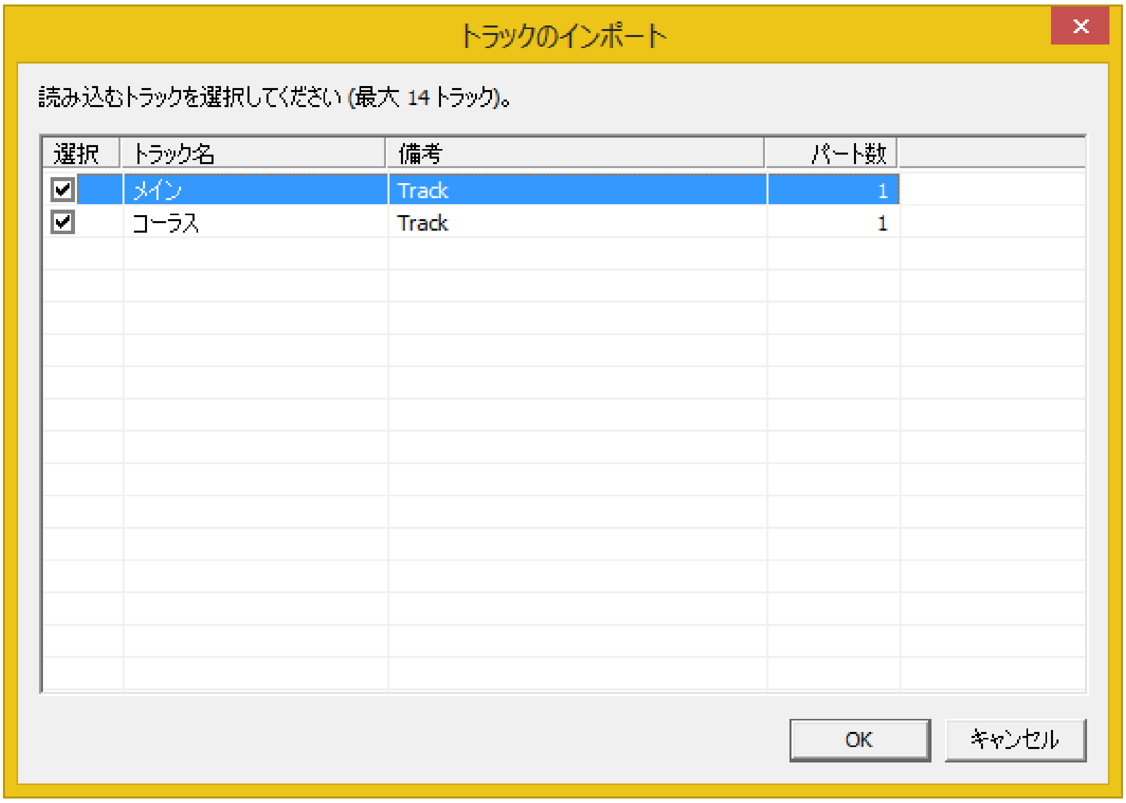
インポート

現在開いている VOCALOID4 シーケンスファイルに、別のシーケンスファイル（VOCALOID4、VOCALOID3、VOCALOID2、VOCALOID で作成したファイル）を統合します。また、他のシーケンスソフト等で作成した SMF（Standard MIDI File）も読み込めます。読み込まれた MIDI データに含まれたデータ（ノート、歌詞）は、VOCALOID4 Editor で使用できるデータへ自動変換されます。

トラック

任意のファイルから特定のトラックを読み込みます。

「トラック」を選択し、表示されたダイアログの中から、読み込みたいトラックを含む VOCALOID シーケンスファイルを選んで［開く］をクリックすると、“トラックのインポート” ウィンドウが開きます。



読み込むトラックを選択してください (最大 14 トラック)。

選択	トラック名	備考	パート数
☑	メイン	Track	1
☑	コーラス	Track	1

インポートしたいトラックを選択し「OK」をクリックすると、現在開いているトラックエディターウィンドウに表示されている既存トラックの下に追加されます（最大16トラック）。また、トラックエディターウィンドウで任意のVOCALOIDトラックが選択されていれば、インポートしたトラックは、選択トラックの直下に追加されます。

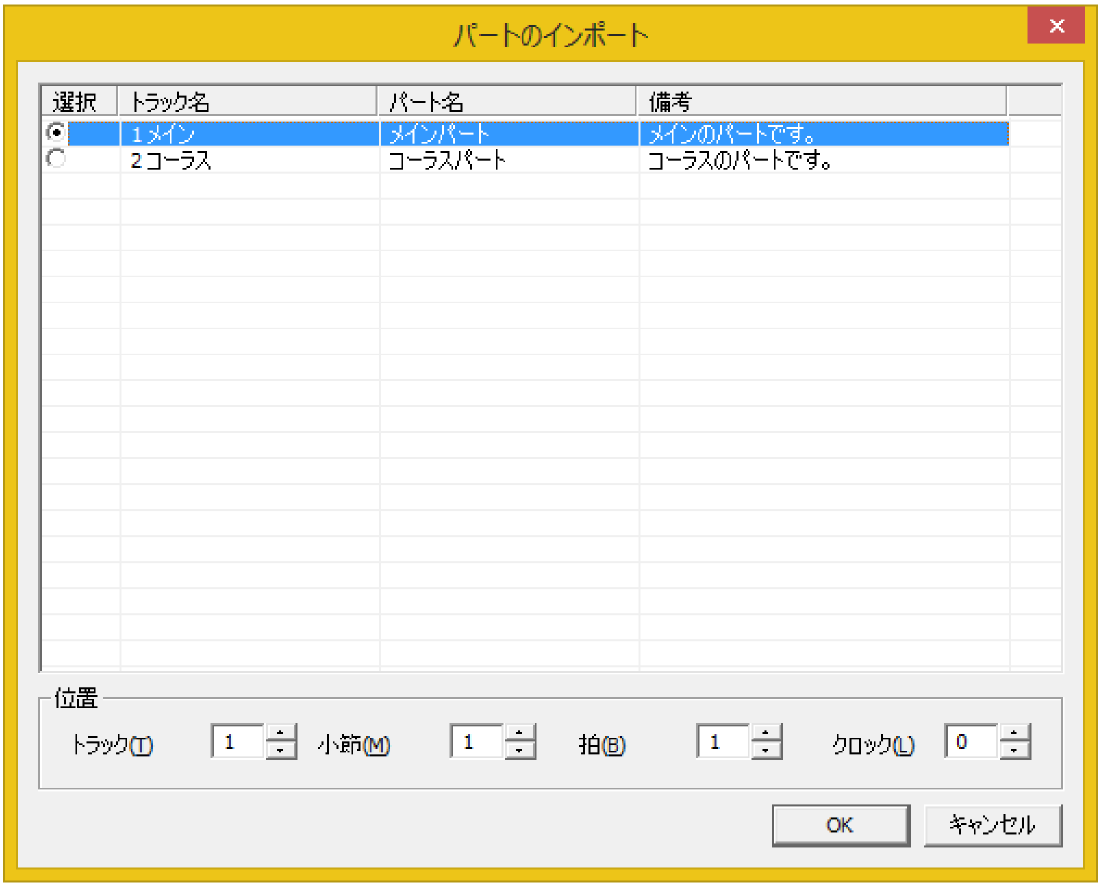
補足

VOCALOID4ファイル（.vsqx）、VOCALOID3ファイル（.vsqx）、VOCALOID2ファイル(.vsq)をインポートする際に、テンポとビートの設定はインポートされません。テンポを含めたインポートを行いたい場合は、“ファイル” メニューの「開く」から実行してください。

パート

任意のファイルから特定のパートを読み込みます。

「パート」を選択し、表示されたダイアログの中から、読み込みたいパートを含むVOCALOIDシーケンスファイルを選んで［開く］をクリックすると、“パートのインポート” ウィンドウが開きます。



選択	トラック名	パート名	備考
●	1メイン	メインパート	メインのパートです。
○	2コーラス	コーラスパート	コーラスのパートです。

トラック(T) 1　小節(M) 1　拍(B) 1　クロック(L) 0

リストから読み込みたいパートを選択して「OK」をクリックします。

位置

パートを読み込む位置（小節、拍子、クロック（時間））を設定します。

補足

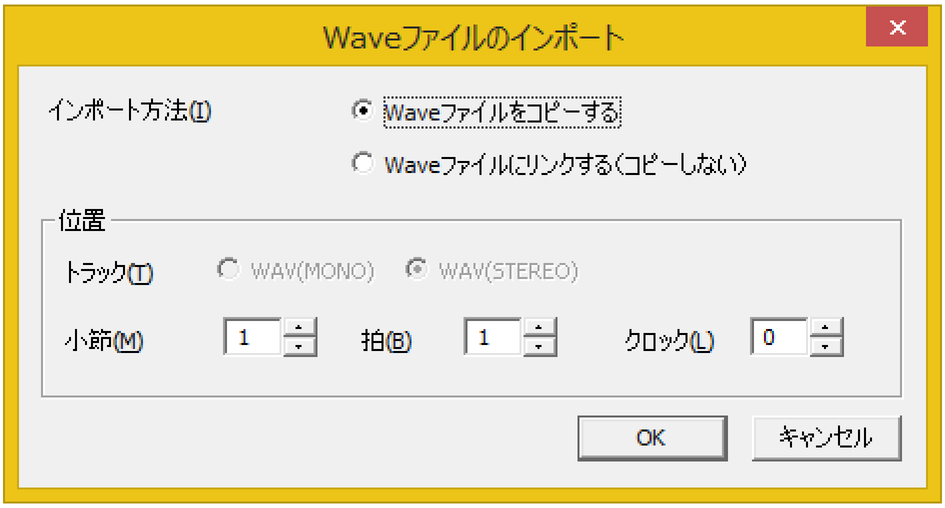
- 一度にインポートできるパートは１つです。
- “位置”の値は、現在の VOCALOID トラック上のソングポジション（水色の縦線）の位置が初期設定として表示されます。

Wave

Wave ファイルを VOCALOID4 Editor の WAV トラックへ読み込みます。

モノラルの Wave ファイルは自動的に “WAV（MONO）” トラックへ、そしてステレオの Wave ファイルは “WAV(STEREO)” トラックへ読み込まれます。

「Wave」を選択し、表示されたダイアログから読み込みたい Wave ファイルを選んで［開く］をクリックすると、“Wave ファイルのインポート” ウィンドウが開きます。



Waveファイルのインポート

インポート方法(I)
● Waveファイルをコピーする
○ Waveファイルにリンクする(コピーしない)

位置
トラック(T) ○ WAV(MONO) ● WAV(STEREO)
小節(M) 1
拍(B) 1
クロック(L) 0

インポート方法

- **Wave ファイルをコピーする：**
  インポートする Wave ファイルを、現在開かれている VOCALOID4 シーケンスと同じフォルダにコピーします。
- **Wave ファイルにリンクする（コピーしない）：**
  インポートする Wave ファイルをコピーしないで、そのまま使用します。

位置

Wave ファイルを読み込む位置（小節、拍子、クロック（タイミング時間））を設定します。設定後 “Wave ファイルのインポート” ウィンドウ内の「OK」をクリックし、読み込みを実行します。

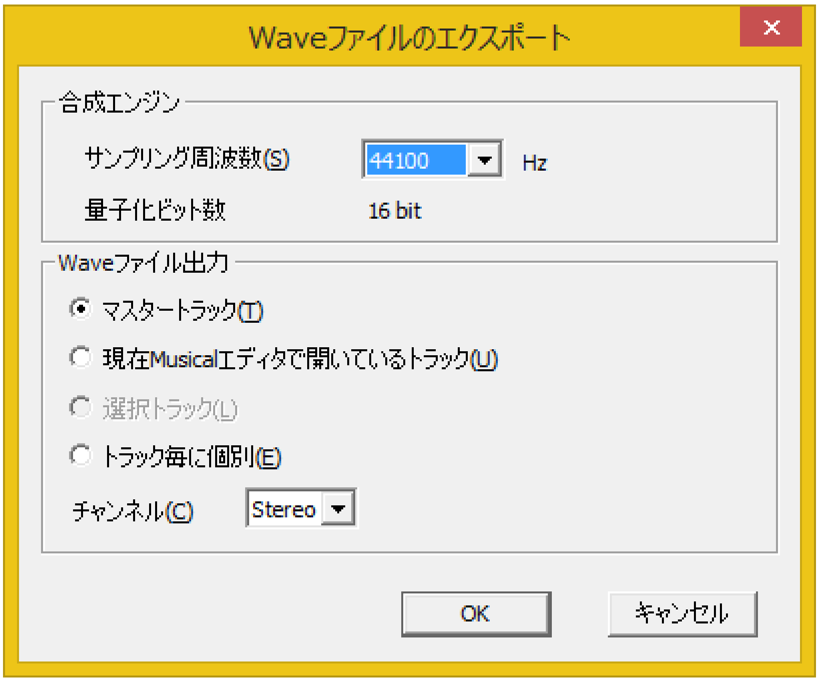
補足

“位置” の値は、現在の VOCALOID トラック上のソングポジション（水色の縦線）の位置が初期設定として表示されます。また、対応している Wave ファイルのサンプリングレートは **44.1**、**48**、**96KHz** で、量子化ビット数は **16 bit**（固定）です。PCM フォーマット以外（例えば MPEG1 形式）や、多チャンネルには対応していません。

エクスポート

Wave

開いているシーケンスファイルを標準 WAV フォーマット（.wav）のオーディオファイルとしてエクスポートします。


Waveファイルのエクスポート

合成エンジン

サンプリング周波数(S) 44100 Hz

量子化ビット数 16 bit

Waveファイル出力

● マスタートラック(T)

○ 現在Musicalエディタで開いているトラック(U)

○ 選択トラック(L)

○ トラック毎に個別(E)

チャンネル(C) Stereo

合成エンジン

サンプリング周波数を指定します。44100, 48000, 96000 Hz の 3 種類から選択できます。量子化ビット数は 16bit（固定）です。

Wave ファイル出力

出力する Wave ファイルの詳細を指定します。

マスタートラック

すべてのトラックを合わせた出力結果を Wave ファイルに出力します。

現在 Musical エディターで開いているトラック

ミュージカルエディターで開いているパートを含むトラックを出力します。

◆ トラックエディター上でトラックを選択していない場合にも選択できます。

選択トラック

トラックエディター上で選択しているトラックを出力します。

◆ トラックエディター上でトラックを選択した場合に選択できます。

［OK］をクリックすると、保存ダイアログが表示されます。
ファイルの保存場所（エクスポートされる場所）とファイル名を指定して
［保存］をクリックするとエクスポートが実行されます。

トラック毎に個別

すべての Musical トラックを別々の Wave ファイルに出力します。DAW などに複数のコーラスパートをまとめてインポートしたい場合に便利です。
複数のファイルを出力するため、書き出し先のフォルダを指定する必要があります。ファイル名は、現在開いている VSQX ファイルのファイル名とトラック名から自動的に決定されます。トラック中に何も含まれない場合、該当トラックの書き出しは省略されます。

チャンネル

モノラル（Mono）または ステレオ（Stereo）を選択します。

補足

Wave ファイルの書き出し時に、あらかじめスタートマーカーとエンドマーカーを設定しておくと、指定した範囲のみの書き出しができます。

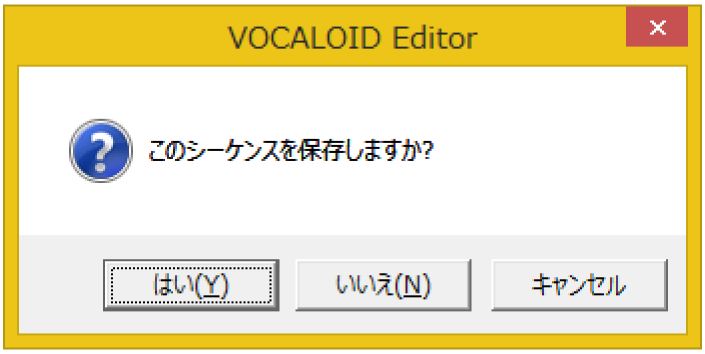
最近使用したファイル

最近使用した（開いた）ファイル名が表示されます。
表示されているファイル名をクリックすることで、ファイルを開けます。

終了

VOCALOID4 Editor を終了します。

開いているシーケンスファイルが編集されている場合、「保存しますか？」という旨の確認ダイアログが表示されます。



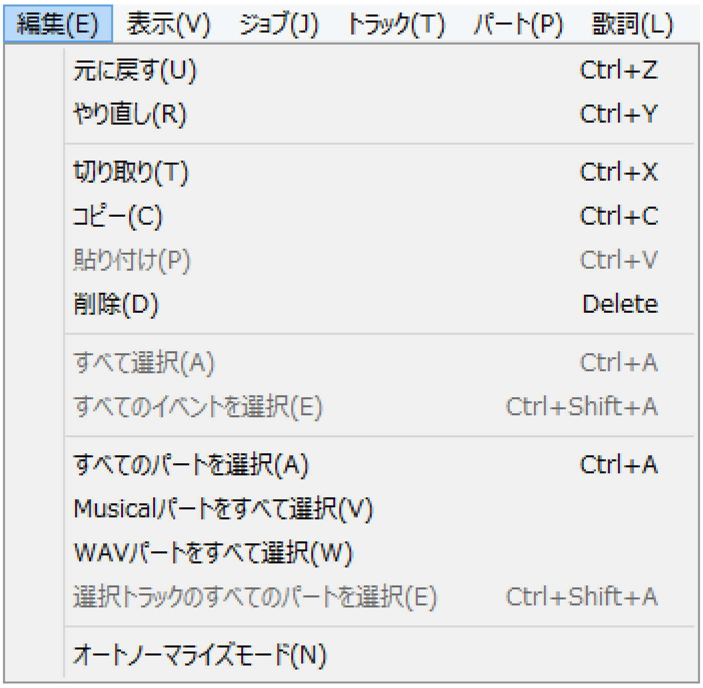
VOCALOID Editor

このシーケンスを保存しますか?

保存する場合は［はい］を選択して、ファイル名を入力し現在のファイルを保存します。保存の必要がない場合は［いいえ］を選択します。（現在のシーケンスデータは破棄されアプリケーションが終了します。）
操作を中止したい場合は［キャンセル］を選択します。

編集

編集に関するメニューを開きます。


編集(E)
表示(V)
ジョブ(J)
トラック(T)
パート(P)
歌詞(L)
元に戻す(U) Ctrl+Z
やり直し(R) Ctrl+Y
切り取り(T) Ctrl+X
コピー(C) Ctrl+C
貼り付け(P) Ctrl+V
削除(D) Delete
すべて選択(A) Ctrl+A
すべてのイベントを選択(E) Ctrl+Shift+A
すべてのパートを選択(A) Ctrl+A
Musicalパートをすべて選択(V)
WAVパートをすべて選択(W)
選択トラックのすべてのパートを選択(E) Ctrl+Shift+A
オートノーマライズモード(N)

補足

それぞれのエリア内で 右クリック（または［Shift］＋［F10］）で開くメニューや、ショートカットキーから操作できる機能もあります。

元に戻す

Ctrl ＋ **Z**

直前の編集作業を元に戻します。元に戻す回数に制限はありません。

やり直し

Ctrl + Y

「元に戻す」作業で行われた状態を、それ以前の状態に戻す機能です。
「元に戻す」を一度実行した後、「やり直し」を一度実行することで「元に戻す」を使用する前の状態に戻ります。
また「元に戻す」機能と同様に、やり直し回数にも制限はありません。

切り取り

Ctrl + X

選択したトラック、パート、ノート、パラメータを切り取ります。

コピー

Ctrl + C

選択したトラック、パート、ノート、パラメータをコピーします。

貼り付け

Ctrl + V

「切り取り」や「コピー」などで選択したトラック、パート、ノート、パラメータを貼り付けます。

削除

Delete

現在選択されているオブジェクトを削除します。

補足

- ノートやコントロールパラメータのデータを切り取り、またはコピーした場合、貼り付け先は現在のソングポジション（トラックエディターやミュージカルエディターウィンドウ内の水色の縦線）の位置になります。
- ノートが重なる（オーバーラップする）と、そのノートは薄く表示されて再生されません。またコントロールパラメータエリアでは、重ねて貼り付けると、貼り付けたデータに上書きされます。
- 「切り取り」「コピー」「貼り付け」「削除」は、トラックエディターウィンドウおよび ミュージカルエディターウィンドウ内で操作できます。
  矢印ツールで、ドラッグして選択した複数のオブジェクト（ハイライトした部分）を同時に編集することもできます。

すべて選択　Ctrl ＋ A

現在編集されているミュージカルエディターウィンドウ内の、すべてのノートとコントロールパラメータのデータを選択します。

すべてのイベントを選択　Ctrl ＋ Shift ＋ A

現在編集中のピアノロールエリア内、または コントロールパラメータエリア内のすべてのイベント（すべてのノートとそれに付随するノートの表情とビブラート）を選択します。

補足

ピアノロールエリア内で［Ctrl］を押しながら特定の範囲を選択すると、範囲内のすべてのイベント（ノートとそれに付随するノートの表情とビブラート）および コントロールパラメータを同時に編集できます（拡張機能による編集）。

すべてのパートを選択　Ctrl + A

編集中のトラックエディターウィンドウ内の、すべての Musical パートと WAV パートを選択します。

Musical パートをすべて選択

編集中のトラックエディターウィンドウ内の、すべての Musical パートを選択します。

WAV パートをすべて選択

編集中のトラックエディターウィンドウ内の、すべての WAV パートを選択します。

選択トラックのすべてのパートを選択　Ctrl + Shift + A

選択中のトラック内の、すべてのパートを選択します。

オートノーマライズモード

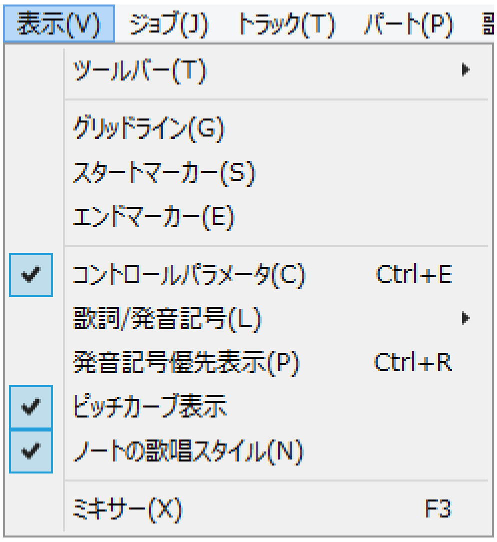
ピアノロールに入力するノートを自動的に重なった（オーバーラップした）状態で入力させないようにします。同じパート内で、既存ノートに別のノートをオーバーラップさせて入力すると、前のノートの末尾が自動的に切り捨てられます。
この機能のオン／オフはクリックするたびに切り替わります。

補足

すでにオーバーラップしているノートを補正したい場合には、“ジョブ” メニューより「ノートのノーマライズ」を実行してください。

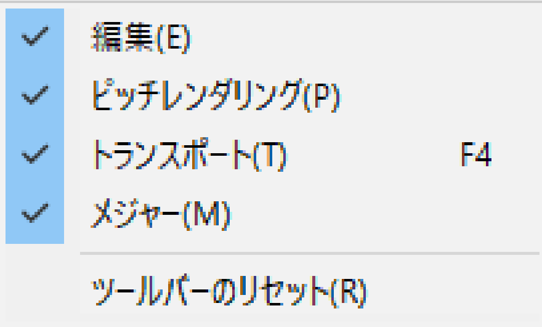
表示

表示に関するメニューを開きます。


表示(V)
ジョブ(J)
トラック(T)
パート(P)
ツールバー(T)
グリッドライン(G)
スタートマーカー(S)
エンドマーカー(E)
✓ コントロールパラメータ(C) Ctrl+E
歌詞/発音記号(L)
発音記号優先表示(P) Ctrl+R
✓ ピッチカーブ表示
✓ ノートの歌唱スタイル(N)
ミキサー(X) F3

ツールバー

クリックすると、編集バー、ピッチレンダリングバー、トランスポートバー、メジャー（小節）バーの表示／非表示を個々に切り替えるサブメニューが表示されます。

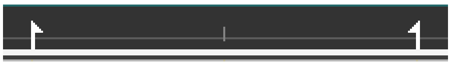

✓ 編集(E)
✓ ピッチレンダリング(P)
✓ トランスポート(T) F4
✓ メジャー(M)
ツールバーのリセット(R)

サブメニューの左側にチェックが付いていると、それぞれのバーはデフォルト状態で VOCALOID4 Editor 画面上部メニューの下に表示されます。
また、「ツールバーのリセット」をクリックすると、ツールバーの表示が初期設定に戻ります。

グリッドライン

ルーラーやピアノロールエリアへ、小節と拍のライン（縦線）に加えてクオンタイズで設定した値でライン（縦線）を表示させせます。
クリックして、グリッドラインの表示／非表示を切り替えます。グリッドラインはクオンタイズと同様に、トラックエディターとミュージカルエディターでそれぞれ個別に表示できます。グリッドラインを表示させておくと、ノートの入力や移動の際の目安となり、とても便利です。

スタートマーカー ／ エンドマーカー



メジャールーラー上の表示／非表示をそれぞれ切り替えます。
初期設定では非表示です。
スタートマーカーを開始位置、エンドマーカーを終了位置へ設定することで、繰り返し再生する範囲や、WAV ファイルのエクスポート範囲を指定できます。
メジャールーラー上に表示させたそれぞれのマーカーは、ドラッグしながら任意の時間軸（クオンタイズで設定された間隔）へスライド移動できます。
スタートマーカーは常にエンドマーカーよりも前に置かれます。

◆ “トランスポートツールバー”の を押して表示／非表示を切り替えることもできます。

補足

- メジャールーラー上で “ [Shift] ＋ クリック長押し” をすることで､エンドマーカーだけをクリックした位置に移動できます。
  長い範囲の再生区間を設定したいときに便利です。
- [Alt] キーを押しながらマウスを操作すると、一時的にクオンタイズをオフにできます。

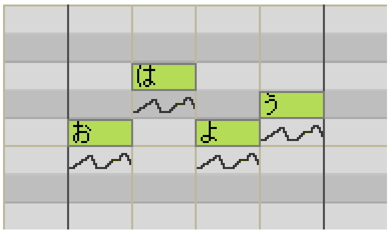
コントロールパラメータ　Ctrl ＋ E

ミュージカルエディターウィンドウ内の コントロールパラメータエリア の表示／非表示を切り替えます。初期設定では非表示です。

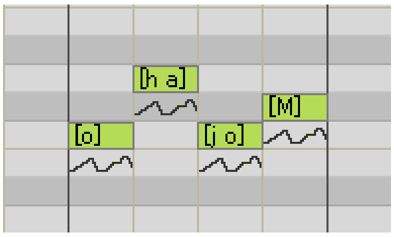
歌詞/発音記号

“歌詞/発音記号” サブメニュー内の「歌詞」と「発音記号」をクリックして、ノート上への表示/非表示を個々に切り替えます。

「歌詞」のみをオン



「発音記号」のみをオン

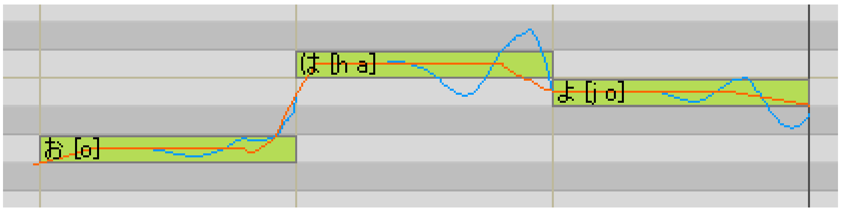


発音記号優先表示　Ctrl + R

初期値でノート内に『 歌詞　[発音記号] 』の順に設定されている表示が、
『 [発音記号] 歌詞 』の順で表示されます。
この設定でノートをダブルクリックすると、発音記号の編集ができます。

ピッチカーブ表示

ノートが滑らかにつながるように、合成エンジンが自動で付加するエクスプレッションのピッチカーブ（オレンジ色）と、ビブラートのピッチカーブ（水色）の表示／非表示を合わせて切り替えます。

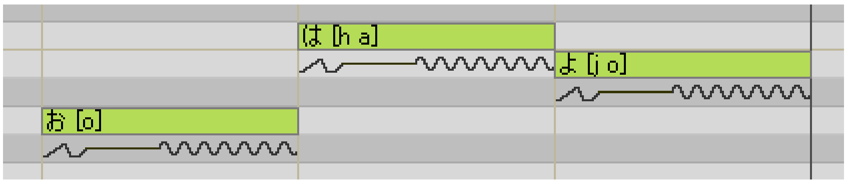


補足

ピッチカーブ表示をオンに設定しても、ピッチカーブが表示されないときは、
ピッチレンダリング機能を実施してください。

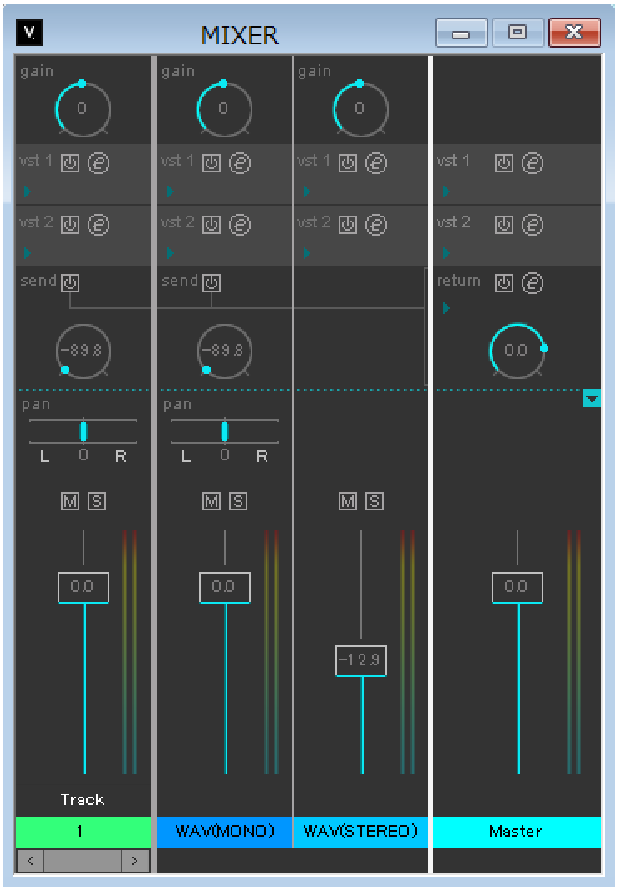
ノートの歌唱スタイル

ノートの表情 および ビブラートの表示／非表示を切り替えます。



ミキサー　F3

ミキサーウィンドウの表示／非表示を切り替えます。

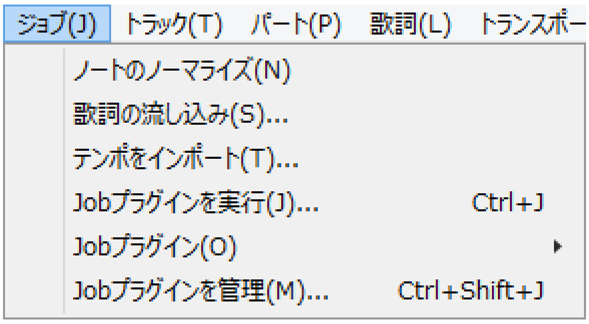

MIXER
gain
0
vst 1
vst 2
send
return
-89.8
0.0
pan
L
R
M
S
-12.9
Track
1
WAV(MONO)
WAV(STEREO)
Master

ミキサーウィンドウでは、音量フェーダー、パン（定位）スライダー、ゲインつまみ、エフェクト（VST プラグイン、センド／リターン）、ミュートスイッチ、ソロスイッチ機能を、トラックエディターウィンドウ内の各トラックへ、それぞれ個別に調節できます。

さらに マスタートラックで全体の調整もできます。

ジョブ

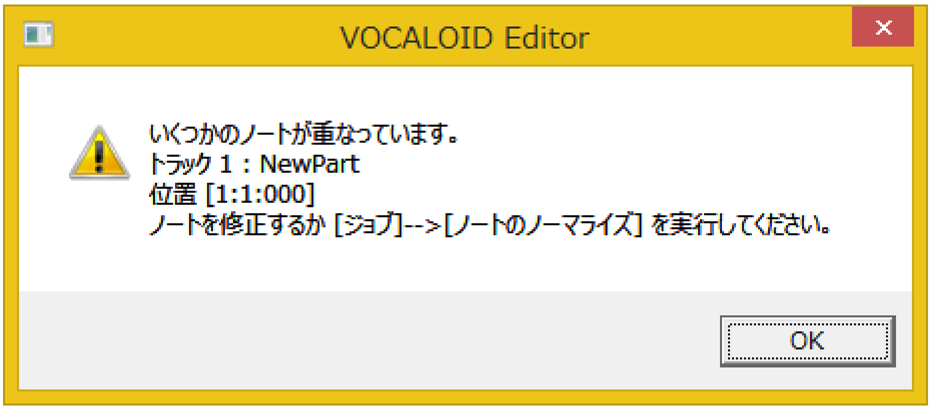
ジョブに関するメニューを開きます。


ジョブ(J)
トラック(T)
パート(P)
歌詞(L)
トランスポー
ノートのノーマライズ(N)
歌詞の流し込み(S)...
テンポをインポート(T)...
Jobプラグインを実行(J)... Ctrl+J
Jobプラグイン(O)
Jobプラグインを管理(M)... Ctrl+Shift+J

ノートのノーマライズ

ミュージカルエディターウィンドウで開いたパートに重なっている（オーバーラップしている）ノートがある場合、前側のノートを短くして重なりを解消します。

ノートをオーバーラップさせた状態で再生すると、次のエラーメッセージが表示されます。この場合、“ノートのノーマライズ” を実行するか、または、直接ノートを修正し、重なりを解消する必要があります。

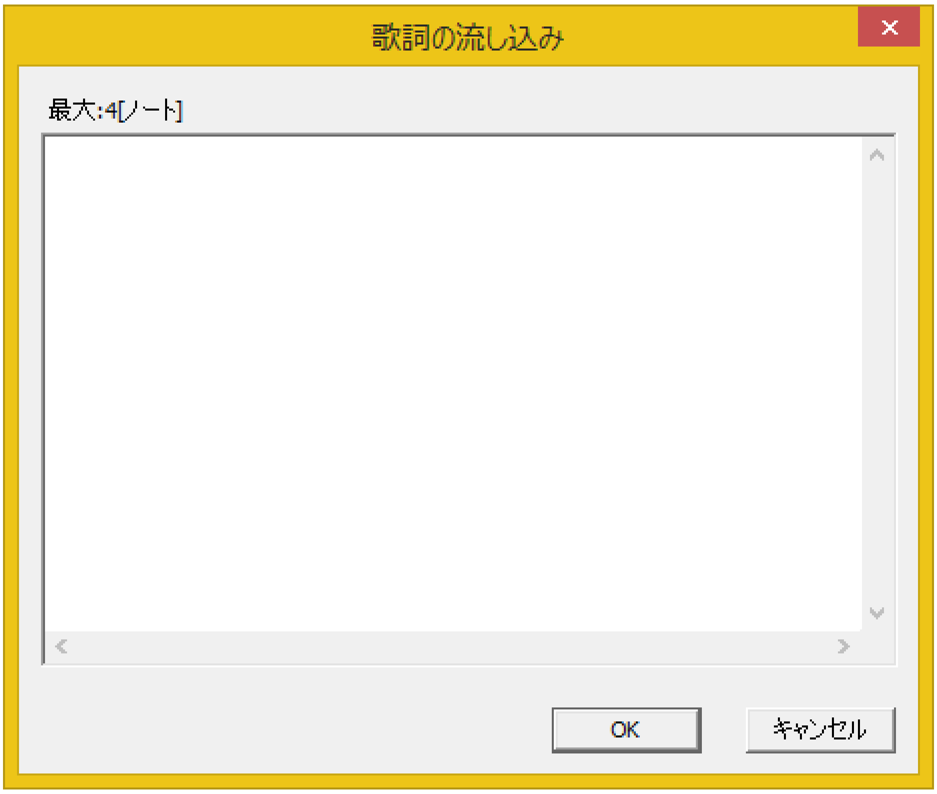

VOCALOID Editor
OK

いくつかのノートが重なっています。
トラック 1 : NewPart
位置 [1:1:000]
ノートを修正するか [ジョブ]-->[ノートのノーマライズ] を実行してください。

歌詞の流し込み

歌詞を複数のノートにまとめて入力するためのウィンドウを開きます。

流し込みの開始点となるノートを選択した状態で「歌詞の流し込み」をクリックし、“歌詞の流し込み” ウィンドウを開きます。



開いた “歌詞の流し込み” ウィンドウに、挿入したい歌詞を入力します。

入力できるノートの数（選択した開始地点のノート以降のノート数）が「最大：（数値）［ノート］」とウィンドウの左上に表示されます。

（※ 入力できるノートの数を超えた単語 または 音節は切り捨てられます。）

歌詞を入力し［OK］をクリックすると、入力した歌詞は、1 音節ずつ 1 つのノートに割り当てられます。

（※ 英語のシンガーを使用している場合、“I love you” は 3 単語で 3 つのノートが必要ですが、“inferno” は 1 単語でも音節が 3 つ（in-fer-no）あるため 3 つのノートが必要です。）

補足

- 既に歌詞が入力されているノートを選択した状態から、「歌詞の流し込み」をクリックすると、“歌詞の流し込み” ウィンドウに、現在入力されている歌詞が表示されます。歌詞全体の文章の確認や、特定箇所のみの編集に便利です。
- 歌詞の流し込み範囲内のノートにかかっている発音記号のプロテクトは、歌詞の流し込みを実行した際に、自動的に解除されます。

関連：歌詞の入力と編集

テンポをインポート

テンポ情報を VOCALOID4 Editor へ読み込みます。

VOCALOID4 ファイル（.vsqx）、VOCALOID3 ファイル（.vsqx）、VOCALOID2 ファイル（.vsq）、SMF（.mid）からテンポ設定を読み込めます。

「テンポをインポート」を選択し、表示されたダイアログから読み込みたいテンポ情報を含むファイルを選んで［開く］をクリックすると、テンポルーラーへテンポ情報が読み込まれます。

Job プラグインを実行 Ctrl + J

Job プラグインを選択、実行します。

Job プラグインの効果をかけたいノート、またはパート部分を選択した状態で、“Job プラグインを実行” ウィンドウを開きます。

選択範囲

Job プラグインを実行する範囲と、現在のソングポジションが表示されます。

実行する Job プラグインを選択してください。

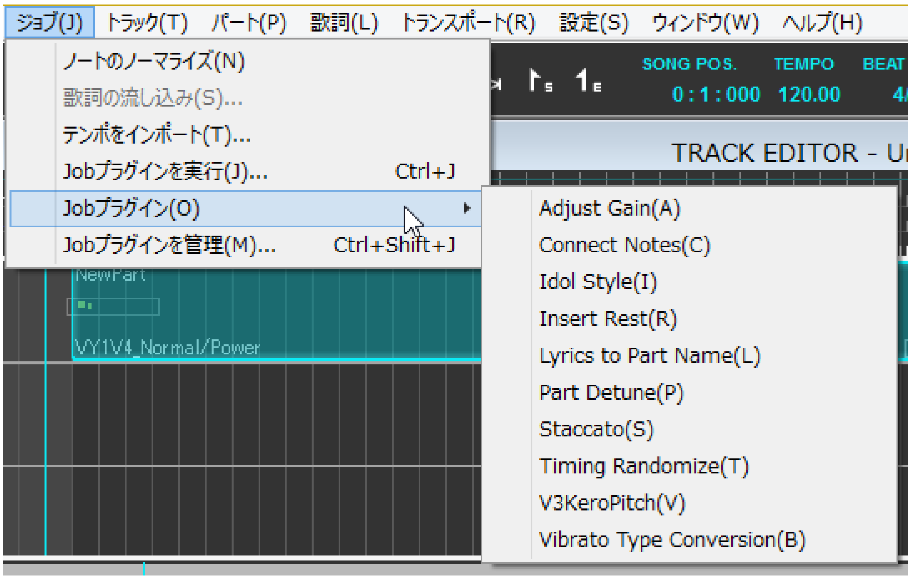
表示された Job プラグインリスト内で、使用する Job プラグインをクリックで選択し、[実行] をクリックします。

補足

各列の見出し部分をクリックすると、Job プラグインのリストをソートできます。

Job プラグイン

登録されている Job プラグインを表示されたダイアログから選択できます。


ジョブ(J)
トラック(T)
パート(P)
歌詞(L)
トランスポート(R)
設定(S)
ウィンドウ(W)
ヘルプ(H)
ノートのノーマライズ(N)
歌詞の流し込み(S)...
テンポをインポート(T)...
Jobプラグインを実行(J)... Ctrl+J
Jobプラグイン(O)
Jobプラグインを管理(M)... Ctrl+Shift+J
SONG POS.
TEMPO
BEAT
0 : 1 : 000
120.00
TRACK EDITOR - U
NewPart
VY1V4_Normal/Power
Adjust Gain(A)
Connect Notes(C)
Idol Style(I)
Insert Rest(R)
Lyrics to Part Name(L)
Part Detune(P)
Staccato(S)
Timing Randomize(T)
V3KeroPitch(V)
Vibrato Type Conversion(B)

Job プラグインを管理　Ctrl + Shift + J

Job プラグインの追加や、削除をします。

追加

追加したい Job プラグインをコンピュータ上の任意のフォルダに保存した後、“Job プラグインを実行” ウィンドウを開き、[追加] をクリックします。
表示された標準ダイアログから、任意の Job プラグインを開き、Job プラグインリストに追加します。

削除

削除したい Job プラグインを選び、 [削除] をクリックして実行します。

「Job プラグインを管理」で Job プラグインリストに追加された各 “Job プラグイン” は、前述の「Job プラグインを実行」から実行できます。

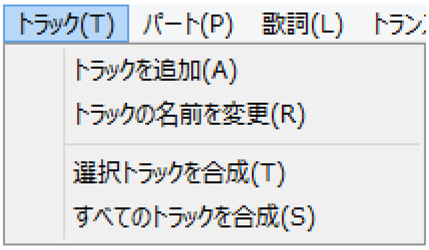
補足

マルチバイト文字（日本語など）を含む PATH に Job プラグインを置いた場合、プラグインによっては正常に動作しない場合がありますので、ASCII 文字（英数文字）の PATH のご使用をおすすめします。

【 良い例 】・ C:¥Program Files¥VOCALOID4¥JobPlugins¥
　　　　　　・ C:¥UGJobPlugins¥

トラック

VOCALOID トラックに関するメニューを開きます。


トラック(T)
パート(P)
歌詞(L)
トラン
トラックを追加(A)
トラックの名前を変更(R)
選択トラックを合成(T)
すべてのトラックを合成(S)

“トラックエディターウィンドウ” を最小化以外で表示させて操作します。

トラックを追加

空の VOCALOID トラックを、既存 VOCALOID トラックの一番下（選択状態の VOCALOID トラックがあれば、直下）へ追加します。
VOCALOID4 Editor では、最大 16 個の VOCALOID トラックを作成できます。

トラックの名前を変更

任意の VOCALOID トラック名前を変更するために、編集モードにします。

トラックエディターウィンドウ内で、選択されている VOCALOID トラックのトラック名が編集モードに変わり、任意の名前を入力できます。
また、トラック名をダブルクリックし、直接入力することもできます。

選択トラックを合成

再生時にコンピュータの CPU への負荷を軽くするために、選択トラックを前もって合成します。実行すると再生がスムーズになります。

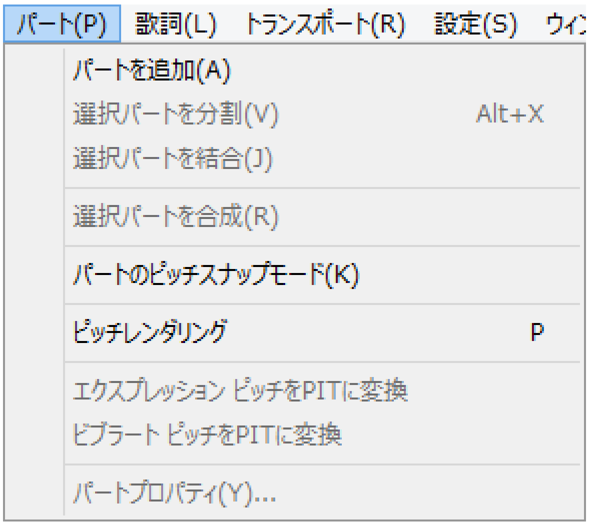
◆ 合成したいトラック名の右下に表示されるトラックレンダーコントロールボタン R をクリックしても実行できます。

すべてのトラックを合成

再生時のコンピュータの CPU への負荷をより軽くするために、すべてのトラックを前もって合成します。実行すると、さらに再生がスムーズになります。

パート

パートに関するメニューを開きます。


パート(P)
歌詞(L)
トランスポート(R)
設定(S)
ウィン
パートを追加(A)
選択パートを分割(V) Alt+X
選択パートを結合(J)
選択パートを合成(R)
パートのピッチスナップモード(K)
ピッチレンダリング P
エクスプレッション ピッチをPITに変換
ビブラート ピッチをPITに変換
パートプロパティ(Y)...

パートを追加

デフォルトの名前（New Part）の付いた空の Musical パートを追加します。

パートを追加したい VOCALOID トラックを選択して、「パートを追加」をクリックすると “Musical パートプロパティ” ウィンドウが表示されます。（ただしシンガーが複数インストールされていない場合には表示されません。）[OK] をクリックすると 32 小節の新しいパートが現在のソングポジション位置から追加されます。

関連：新しいパートの作成

選択パートを分割　Alt + X

選択した Musical パートをソングポジション（水色の縦線）位置で分割します。
実行する前に、ソングポジションをパートの分割位置へ必ず移動して下さい。

補足

- クオンタイズを設定している場合、ソングポジションはクオンタイズの設定値ごとにスナップします。
- 複数パートの同時分割はできません。
- WAV パートは分割できません。

選択パートを結合

同一トラック内のパートを結合します。
結合したいパートを 2 つ選択（［Shift］または［Ctrl］＋ クリック）します。
重なっているパートでもパートを結合できますが、パートに含まれているノートの位置などで、結合できない場合があります。

選択パートを合成

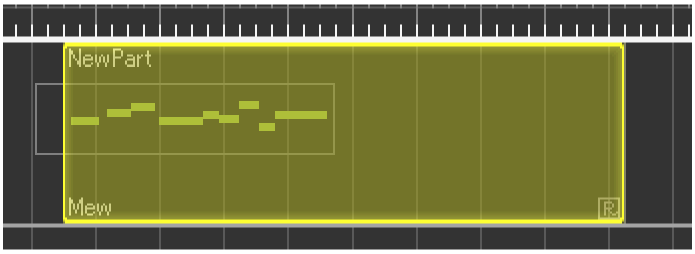
再生時のコンピュータの CPU への負荷を軽くするために、選択した Musical パートを前もって合成しておく機能です。
実行することにより、再生がスムーズになります。

◆ Musical パートの右下に表示されるレンダーコントロールボタン R をクリックしても実行できます。

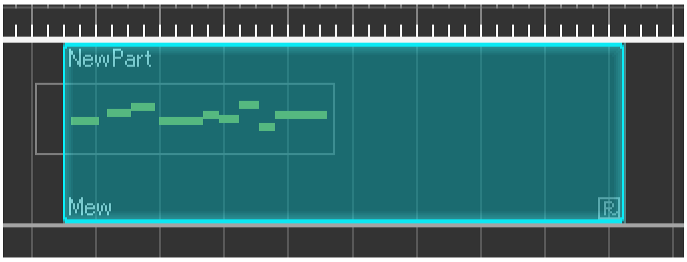
ピッチスナップモード

選択したパート全体に対して、合成エンジンが自動的に付加するエクスプレッションピッチを一時的にフラットな音程にします。

- ピッチスナップモードに設定されて（チェックが入って）いるパートは、黄色で表示されます。



- ピッチスナップモードを解除する（チェックが入っていない）とパートは水色で表示されます。

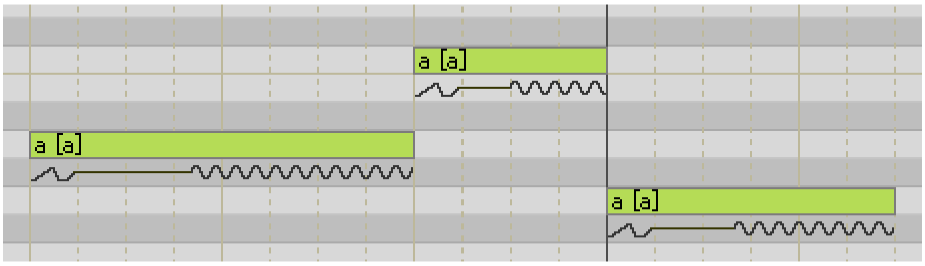


ピッチレンダリング P

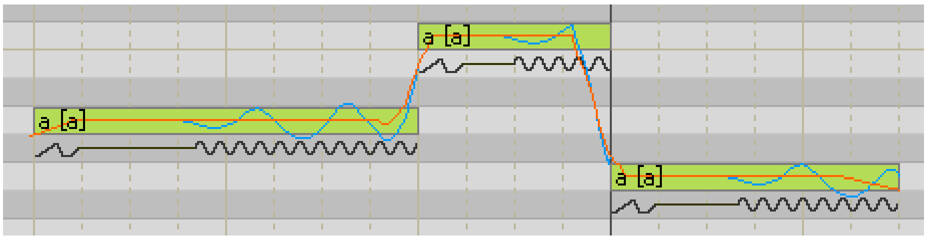
ピアノロールエリア上のノートに、合成されるピッチのカーブを表示します。

◆ ピッチレンダリングバーをクリック、または ショートカットキー [P] でも同じ操作ができます。

○ ピッチレンダリング を実行する前



- ピッチレンダリング を実行した後



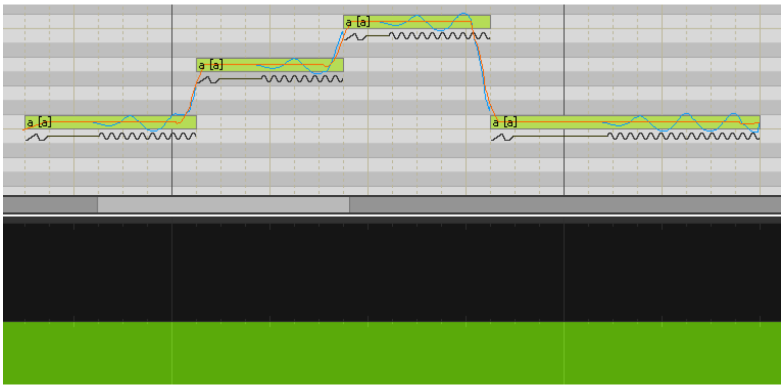
補足

- ノートの追加や移動などの編集には追随しません。あらためてピッチレンダリングを実行してください。
- ピッチレンダリング機能を実行しても、ピッチカーブが表示されない場合には、“表示”メニューより「ピッチカーブ表示」機能がオン設定になっているかを確認してください。

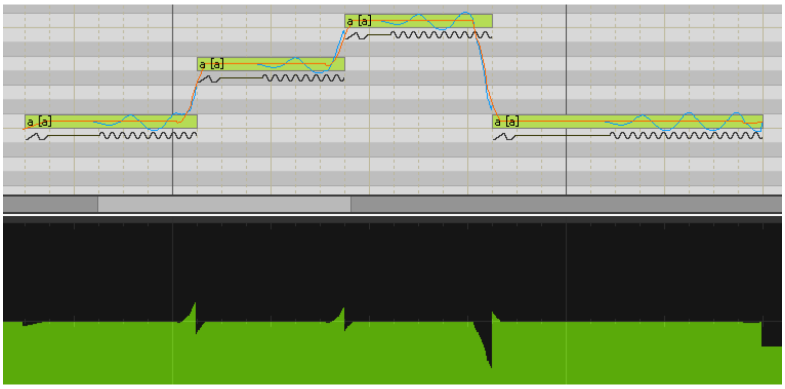
エクスプレッションピッチを PIT に変換

合成エンジンが自動的に付加するエクスプレッションピッチを、**PIT** に変換します。

○ エクスプレッションピッチを **PIT** に変換前



- エクスプレッションピッチを **PIT** に変換後



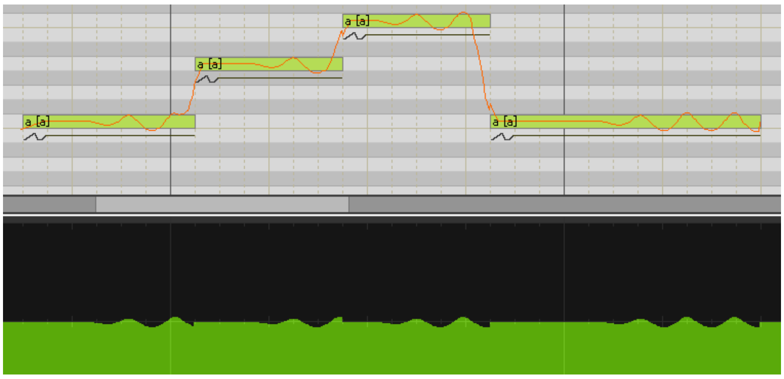
補足

- “コントロールパラメータの表示” で **PIT** を選択設定時に表示されます。
- 変換後のパートは、自動的に “ピッチスナップモード” になります。

ビブラートピッチを PIT に変換

合成エンジンが自動的に付加するビブラートピッチを、**PIT** に変換します。

- ビブラートピッチを **PIT** に変換後



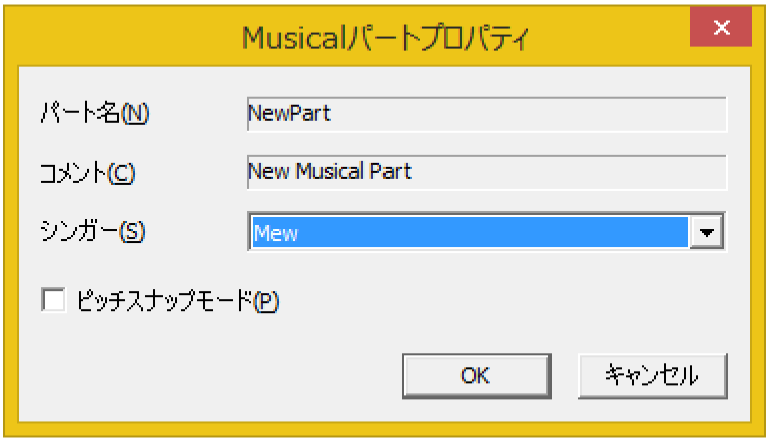
補足

“コントロールパラメータの表示” で **PIT** を選択設定時に表示されます。

パートプロパティ

VOCALOID トラック や WAV トラック上で選択されているパートの “パートプロパティ” ウィンドウが開きます。

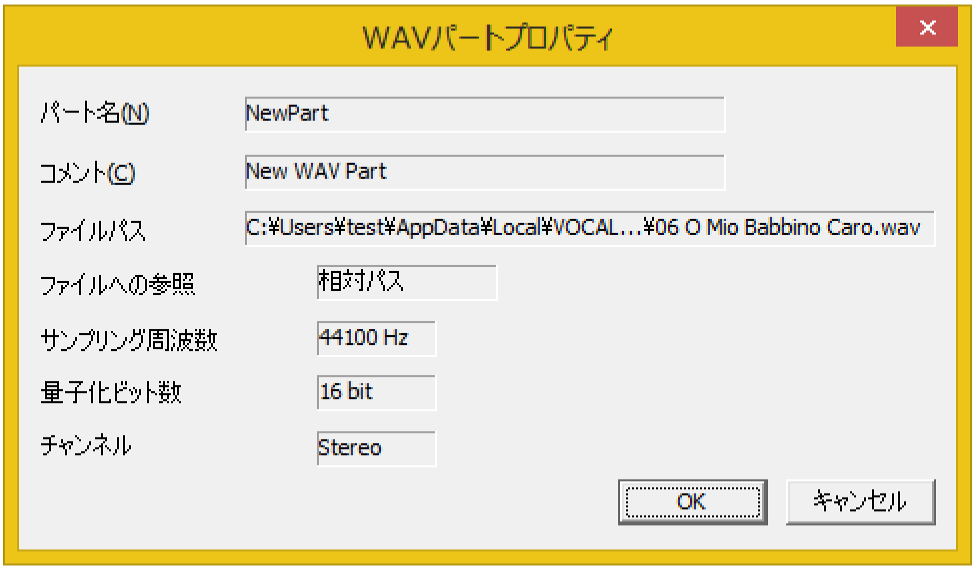
VOCALOID トラックでは、“Musical パートプロパティ” ウィンドウが開き、パート名の変更やコメントの追加、シンガーの選択ができます。


Musicalパートプロパティ

パート名(N) NewPart
コメント(C) New Musical Part
シンガー(S) Mew
☐ ピッチスナップモード(P)

また、WAV トラック上では “WAV パートプロパティ” ウィンドウが開き、

パート名の変更や、コメントの追加ができます。



パート名(N)　NewPart

コメント(C)　New WAV Part

ファイルパス　C:¥Users¥test¥AppData¥Local¥VOCAL…¥06 O Mio Babbino Caro.wav

ファイルへの参照　相対パス

サンプリング周波数　44100 Hz

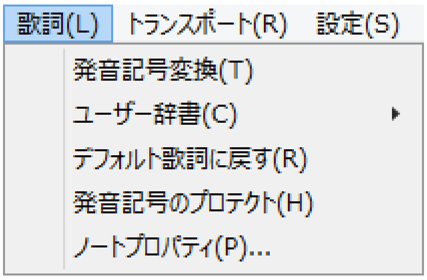
量子化ビット数　16 bit

チャンネル　Stereo

“Musical パートプロパティ” ウィンドウは、トラックエディター上のパートに表示されている “シンガー名” をダブルクリックして開くこともできます。

歌詞

歌詞に関するメニューを開きます。

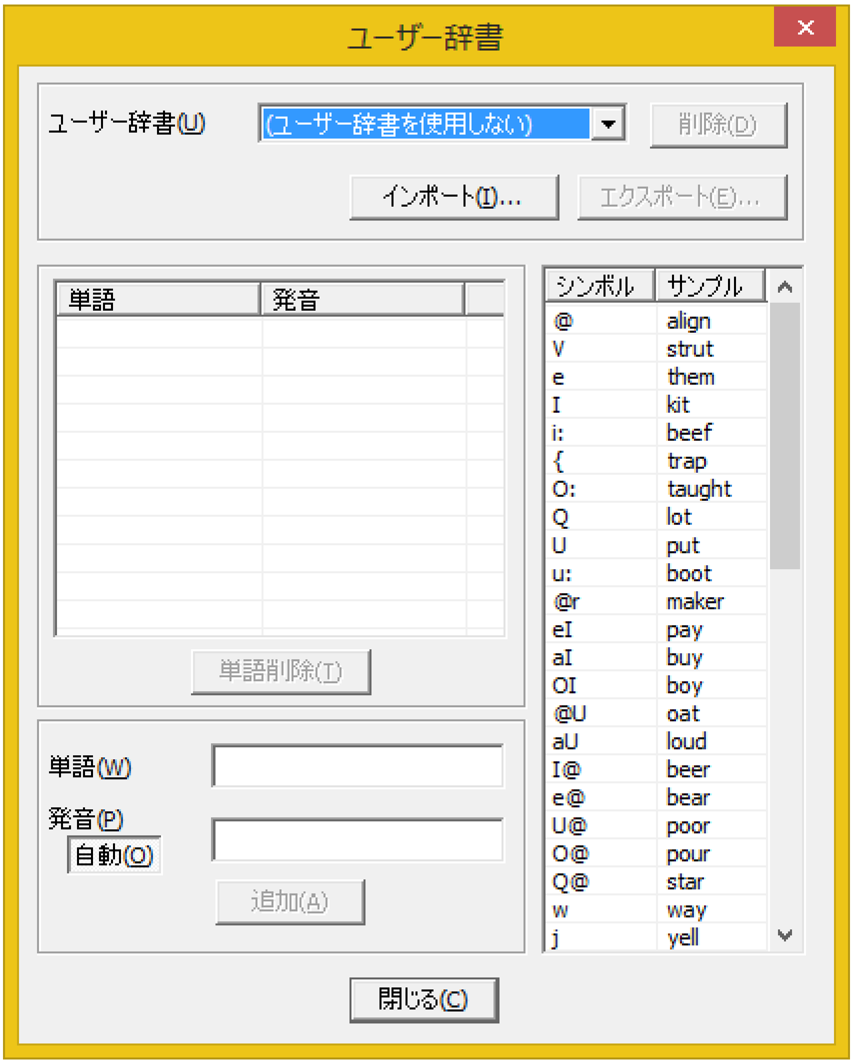

歌詞(L)
トランスポート(R)
設定(S)
発音記号変換(T)
ユーザー辞書(C)
デフォルト歌詞に戻す(R)
発音記号のプロテクト(H)
ノートプロパティ(P)...

発音記号変換

“ファイル” メニューの「インポート」を使ってインポートした MIDI ファイルの歌詞を VOCALOID4 Editor で発音できるデータに変換します。
あらかじめ VOCALOID4 Editor で歌詞を入力したときは、この機能を実行する必要はありません。

ユーザー辞書（※英語シンガーのみ）

VOCALOID4 に初期状態で用意されている辞書以外の新しい単語を、ユーザー辞書に追加／編集できます。
ユーザー辞書を使用しない場合は、“ユーザー辞書” のプルダウンリストから（ユーザー辞書を使用しない）を選択します。

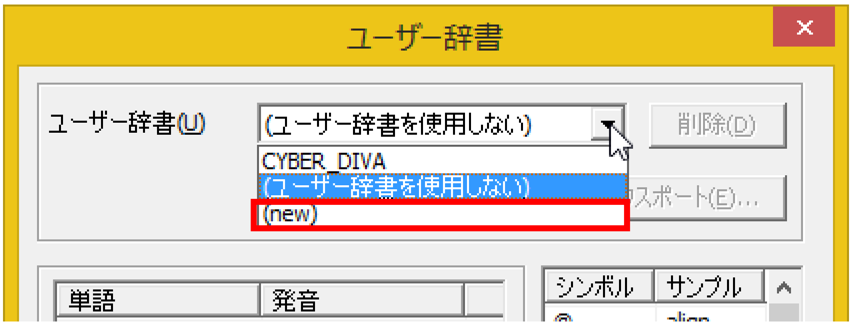

ユーザー辞書
削除(D)
インポート(I)...
エクスポート(E)...
単語
発音
単語削除(T)
単語(W)
発音(P)
自動(O)
追加(A)
閉じる(C)

ユーザー辞書(U) (ユーザー辞書を使用しない)

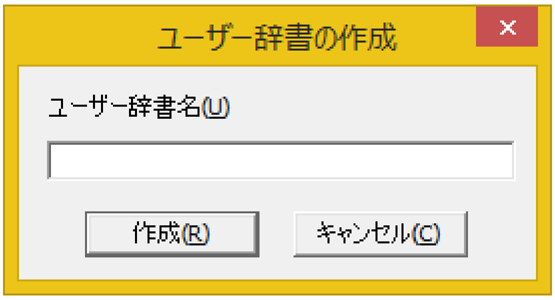
シンボル	サンプル
@	align
V	strut
e	them
I	kit
i:	beef
{	trap
O:	taught
Q	lot
U	put
u:	boot
@r	maker
eI	pay
aI	buy
OI	boy
@U	oat
aU	loud
I@	beer
e@	bear
U@	poor
O@	pour
Q@	star
w	way
j	yell

新規ユーザー辞書の作成

新規のユーザー辞書を作成する場合は、“ユーザー辞書” のプルダウンリストから一番下の（new）を選択します。


ユーザー辞書
ユーザー辞書(U)
(ユーザー辞書を使用しない)
削除(D)
CYBER_DIVA
(ユーザー辞書を使用しない)
(new)
スポート(E)...
単語
発音
シンボル
サンプル

表示された “ユーザー辞書の作成” ダイアログの “ユーザー辞書名” へ、任意の辞書名を入力し、［作成］をクリックします。


ユーザー辞書の作成
ユーザー辞書名(U)
作成(R)
キャンセル(C)

辞書のインポートとエクスポート

インポート

他の環境で使用していた辞書ファイルや、一部の歌声ライブラリに付属している辞書ファイルなど、任意の辞書ファイルを読み込みます。

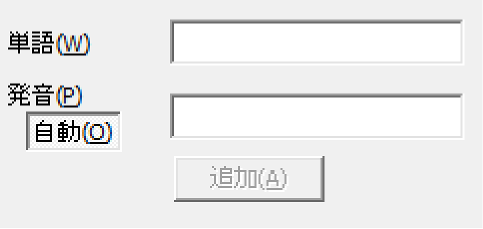
エクスポート

現在使用（選択）している辞書ファイルを出力します。

新しい単語と発音の追加

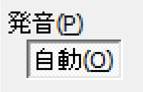
作成した新規のユーザー辞書や、以前作成したユーザー辞書を選択することで、それぞれへ新しい単語と発音の追加ができます。

“ユーザー辞書” ウィンドウ内の “単語” 欄に新しい単語を入力します。

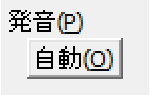


この際に、このウィンドウ内の［自動］ボタンがオンであれば、自動的に音声記号がこのウィンドウ内の “発音” 欄に入力されます。（ “ユーザー辞書” ウィンドウを開いたとき、［自動］ボタンはオンに設定されています。）

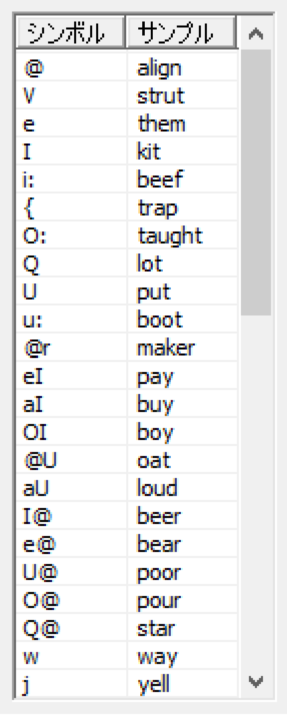
オン時



オフ時



また、発音記号を “発音” 欄へ入力することもできます。
選択可能な発音記号と発音のサンプルは、このウィンドウ内の右側に表示されます。



シンボル	サンプル
@	align
V	strut
e	them
I	kit
i:	beef
{	trap
O:	taught
Q	lot
U	put
u:	boot
@r	maker
eI	pay
aI	buy
OI	boy
@U	oat
aU	loud
I@	beer
e@	bear
U@	poor
O@	pour
Q@	star
w	way
j	yell

新しい単語と発音を入力したら、［追加］をクリックし辞書への登録を実行します。登録された単語とその単語の発音は、“ユーザー辞書” ウィンドウの上部にあるリストに表示されます。

登録済みの単語と発音の編集

既にユーザー辞書に登録されている単語や、その単語の発音を編集するには、“ユーザー辞書” ウィンドウ内の表示リストの中から、該当の単語をダブルクリックすることで、自動的に “単語” と “発音” のそれぞれの編集欄に入力されます。
任意の編集後に［追加］をクリックし、編集内容の登録を実行します。

デフォルト歌詞に戻す

選択状態のノートに入力されている歌詞をリセットします。
日本語のシンガーの場合は“あ[a]”に戻ります。
また、発音記号がプロテクトされているノートはプロテクトが解除され、デフォルト歌詞に戻ります。

◆ ピアノロール上で右クリックをして表示される“右クリックメニュー” から選択することもできます。

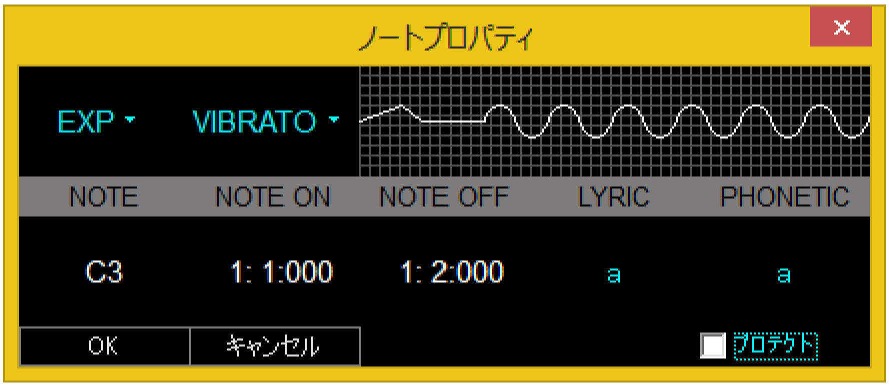
発音記号のプロテクト

発音記号のプロテクトのオン／オフを切り替えます。

◆ ピアノロール上で右クリックをして表示される“右クリックメニュー” から選択することもできます。

ノートプロパティ

ノートごとに表情コントロール設定やビブラート、歌詞、発音記号などの詳細を設定します。



NOTE	NOTE ON	NOTE OFF	LYRIC	PHONETIC
C3	1: 1:000	1: 2:000	a	a

◆ “ノートプロパティ” ウィンドウはピアノロール上の各ノートを右クリックして表示される “右クリックメニュー” から選択することもできます。

“ノートプロパティ” ウィンドウで設定できるのは以下の５つです。

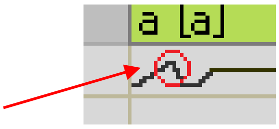
- 表情コントロールプロパティ
- ビブラートプロパティ
- 歌詞
- 発音記号
- 発音記号のプロテクト

表情コントロールプロパティ

表情に関するパラメータの調節をします。

“ノートプロパティ” ウィンドウ内左側の “EXP” をクリックして、
“表情コントロールプロパティ” ウィンドウを開きます。

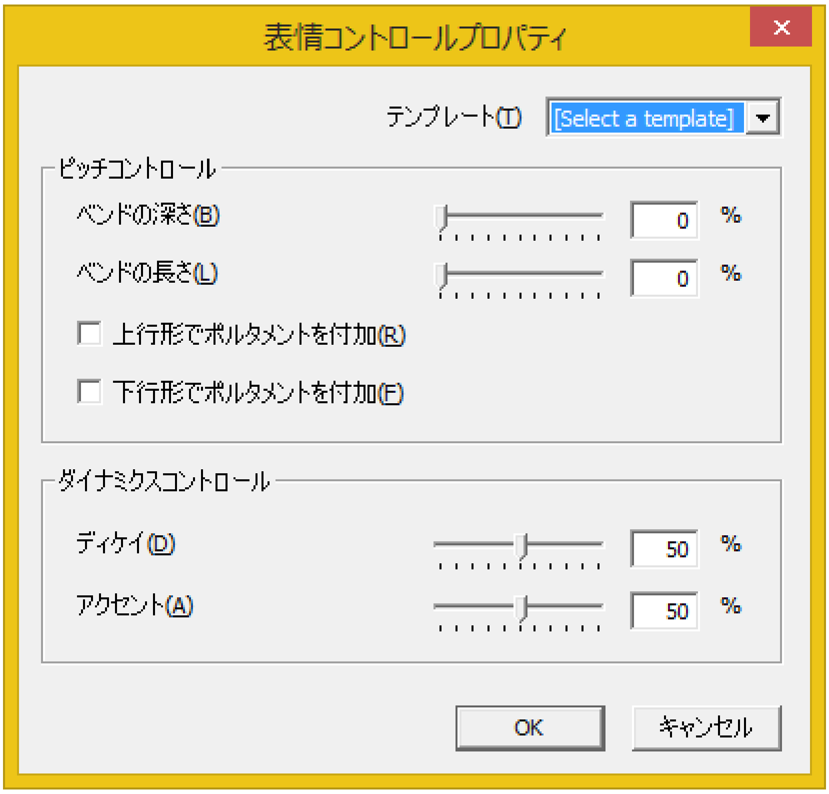
◆「アタックアイコン」部分をダブルクリックしても開きます。



アタックアイコン

補足

設定を変更した場合、後者で開いた場合は “表情コントロールプロパティ” ウィンドウ内の［OK］をクリックすることでパラメータ値の変更が実行されますが、前者で開いた場合は “表情コントロールプロパティ” ウィンドウと “ノートプロパティ” ウィンドウの両ウィンドウ内の［OK］をクリックする必要があります。



表情コントロールプロパティ

テンプレート(T) [Select a template]

ピッチコントロール

ベンドの深さ(B) 0 %

ベンドの長さ(L) 0 %

□ 上行形でポルタメントを付加(R)

□ 下行形でポルタメントを付加(F)

ダイナミクスコントロール

ディケイ(D) 50 %

アクセント(A) 50 %

テンプレート

プルダウンメニューから基本となる表情タイプを選択します。
選択された表情タイプに従って、ウィンドウ内のパラメータ値が変化します。

ピッチコントロール

ノートの始まりに発生するピッチの変化具合を調整します。

■ ベンドの深さ（0 ~ 100%）

値が大きいとより大きなピッチ間隔でピッチ変化が起こります。

■ ベンドの長さ（0 ~ 100%）

値が大きいとより長いピッチ変化を作ります。

上行形でポルタメントを付加

ノートのピッチが前のノートのピッチより高い場合、ノートの始まりになめらかな上昇方向の “ポルタメント的” ピッチスライドを生じさせます。

下行形でポルタメントを付加

ノートのピッチが前のノートのピッチより低い場合、ノートの始まりになめらかな下降方向の “ポルタメント的” ピッチスライドを生じさせます。

ダイナミクスコントロール

ノートのはじめの振幅の “シェイプ（形）” を設定します。

■ ディケイ（0 ~ 100%）

振幅の減衰度合いを増減させます。

■ アクセント（0 ~ 100%）

振幅の大きさを増減させます。

ビブラートプロパティ

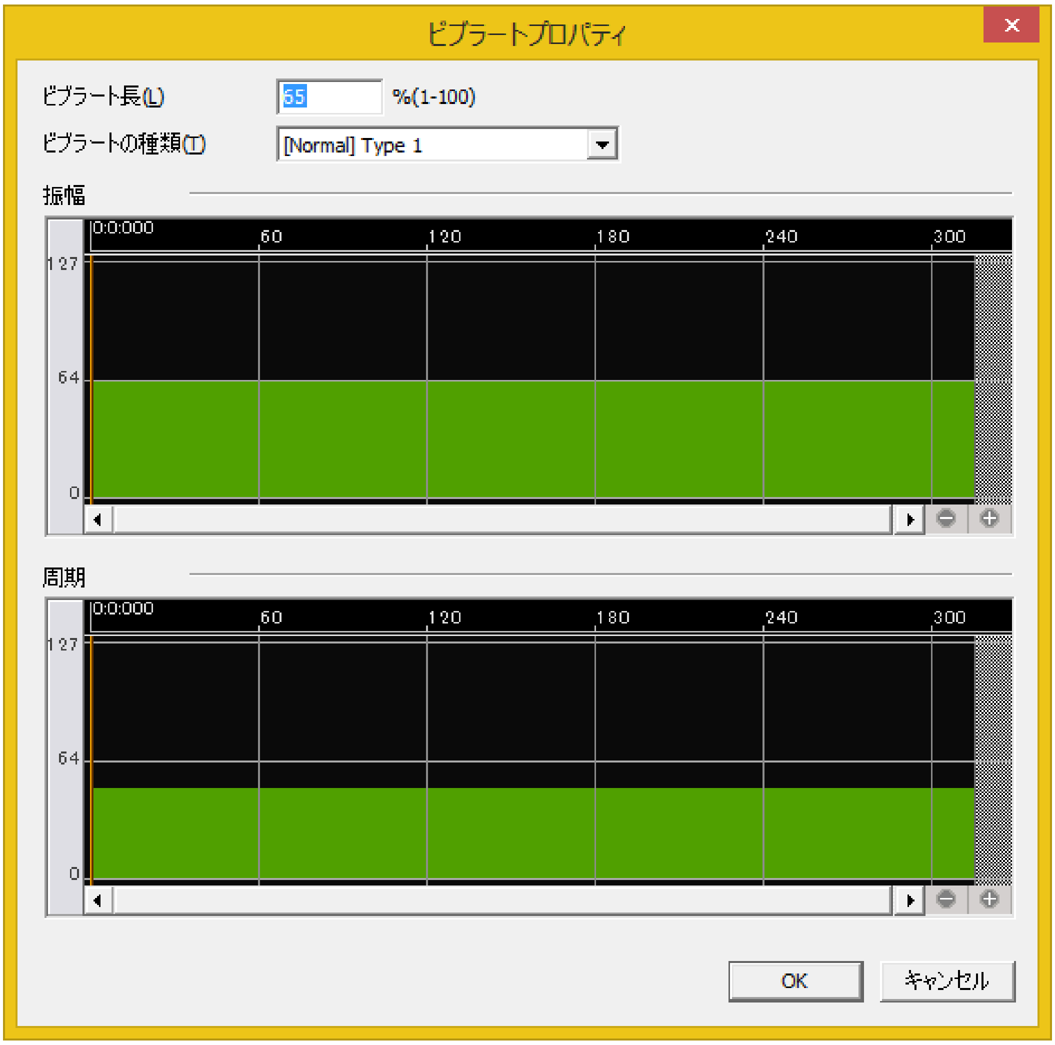
ビブラートに関するパラメータの調節をします。

“ノートプロパティ” ウィンドウ内の “VIBRATO” をクリックして、
“ビブラートプロパティ” ウィンドウを開きます。

◆「ビブラートアイコン」部分をダブルクリックしても開きます。

補足

設定を変更した場合、後者で開いた場合は “ビブラートプロパティ” ウィンドウ内の［OK］をクリックすることでパラメータ値の変更が実行されますが、前者で開いた場合は “ビブラートプロパティ” ウィンドウと “ノートプロパティ” ウィンドウの両ウィンドウ内の［OK］をクリックする必要があります。



ビブラートプロパティ

ビブラート長(L) 65 %(1-100)

ビブラートの種類(T) [Normal] Type 1

振幅
0:0:000
60
120
180
240
300
127
64
0
周期
0:0:000
60
120
180
240
300
127
64
0
OK
キャンセル

ビブラート長

ビブラートの長さを設定します。

値を 100%に設定した場合は、ノートのすべて（全長）にビブラートが掛かり、
値を 30%に設定した場合は、ノートの終端より 30%の長さから掛かり始めます。

ビブラートの種類

“ビブラートの種類” の基本的なビブラートタイプの１つを選びます。

プルダウンメニューから選んだタイプのビブラートの振幅と周期が、ウィンドウ内の

それぞれのパラメータに表示されます。
「Non Vibrato」を選択すると、ビブラート効果を掛けない設定になります。

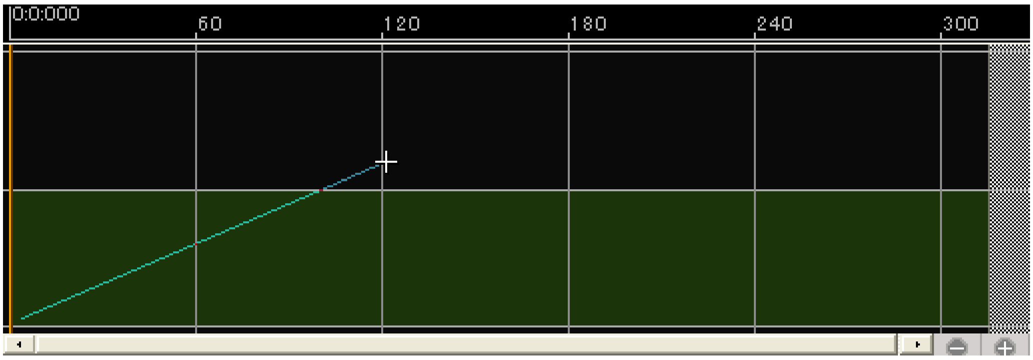
補足

「Non Vibrato」を選択した場合、ビブラートの編集はできません。

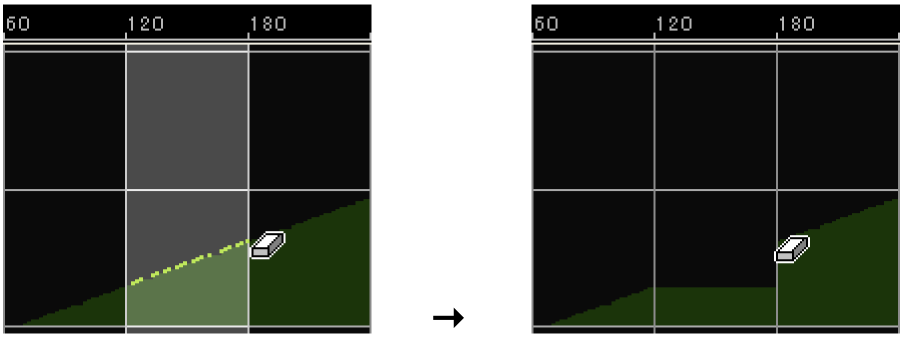
ビブラートの振幅と周期

ノートの長さの範囲内で振幅や、周期（スピード）を設定します。

緑色の部分が現在設定されているビブラートのパラメータ値を示しています。左端がビブラートの始まり、右端がビブラートの終わりを表します。
マウスカーソルをグラフ上に置くと「＋」でカーソル表示され、クリックしながら移動して線を描くことで、値を入力できます。
（ 設定範囲： 0 ～ 64（中央値）～ 127 ）



グラフ上で右クリックして開くコンテキストメニューから、その他のツールや編集機能を選択できます。消しゴムツールを選択して、グラフ上を左から右にドラッグすると、ドラッグ開始地点からフラット（水平）に同じ値で入力できます。



矢印ツールは、領域を選択することに使い、横方向にクリックしながら移動して領域を選択した後、キーボードの［Delete］キーを押すと、消しゴムツールで行ったときと同様に、ドラッグ開始地点（矢印ツールで選択した範囲の左端の値）からフラット（水平）に同じ値で入力できます。

関連：ビブラート

歌詞の編集

歌詞を編集モードにします。

“ノートプロパティ” ウィンドウ内の “LYRIC” 欄に表示された歌詞をクリックして編集モードにし、変更したい歌詞を入力します。
入力が完了したら、キーボードの［Enter］キーを押して変更を確定します。
ノートに反映させるためには、“ノートプロパティ” ウィンドウ内の［OK］をクリックするか、再度キーボードの［Enter］キーを押します。

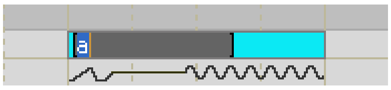
関連：歌詞の入力と編集

発音記号の編集

発音記号を編集モードにします。

“ノートプロパティ” ウィンドウ内の「PHONETIC」欄に表示された発音記号をクリックして編集モードにし、変更したい発音記号を入力します。
複数の発音記号を必要とする場合は、各発音記号の間を［Space］キーによって開けて分割して下さい。
入力が完了したら、キーボードの［Enter］キーを押して変更を確定します。
ノートに反映させるためには、“ノートプロパティ” ウィンドウ内の［OK］をクリックするか、再度キーボードの［Enter］キーを押します。

また、[Alt] キーを押しながらノートをダブルクリックすることでも、発音記号を編集できます。ただし、この操作は、[発音記号優先表示] 状態では、通常のダブルクリック動作と入れ替わります。



補足

「発音記号と発音サンプルの一覧表」を、本マニュアルの付録に掲載しています。

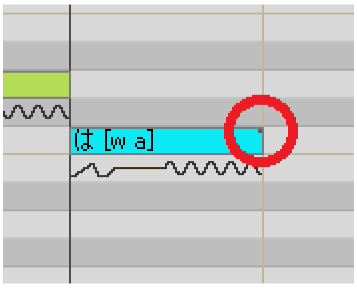
関連：発音記号の編集

発音記号のプロテクト

発音記号のプロテクトを設定できます。

“ノートプロパティ” ウィンドウ内右下の “プロテクト” チェックボックスにチェックを入れることで、編集した発音記号が、歌詞入力に影響を受けて

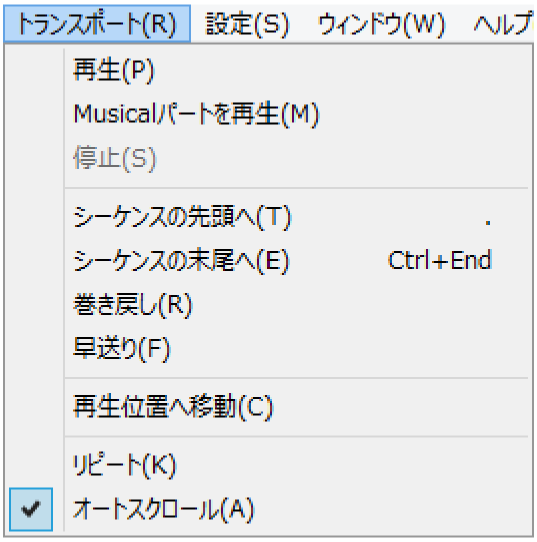
デフォルトの発音記号に戻るのを防ぎます。
また、歌詞にデフォルトで設定されている発音記号を変更した場合、自動的に“プロテクト” チェックボックスへチェックが入ります。
設定をノートに反映させるためには、“ノートプロパティ” ウィンドウ内の［OK］をクリックするか、キーボードの［Enter］キーを押します。
発音記号がプロテクトされると、ノートの右上に四角い灰色の印が表示されます。



◆ “歌詞”メニューの「発音記号のプロテクト」や、ピアノロール上で右クリックをして表示される“右クリックメニュー” から選択することもできます。

トランスポート

トランスポートに関するメニューを開きます。


トランスポート(R)
設定(S)
ウィンドウ(W)
ヘルプ
再生(P)
Musicalパートを再生(M)
停止(S)
シーケンスの先頭へ(T)
シーケンスの末尾へ(E) Ctrl+End
巻き戻し(R)
早送り(F)
再生位置へ移動(C)
リピート(K)
✓ オートスクロール(A)

再生や巻き戻しなど、ツールバーやショートカットキーでも操作できる機能が含まれています。

再生

再生を開始します。

リピート設定がされていない場合は選択されているトラックの終わりで再生を自動的に停止します。

◆ ショートカットキー：[Enter]，[Space]

Musical パートを再生

現在選択されている Musical パートのみを再生し、そのパートの終わりで自動的に停止します。

停止

再生を停止します。

◆ ショートカットキー：[Enter] , [Space]

シーケンスの先頭へ

トラックの先頭位置に直接ジャンプします。

スタートマーカー が設定されている場合は、その地点まで直接ジャンプします。

◆ ショートカットキー：ピリオド［. ］

シーケンスの末尾へ

トラックの末尾へ直接ジャンプします。

巻き戻し

1 クリックごとに 1 小節前へ戻ります。

ソングポジションが小節の先頭以外にある場合は、 1 度目のクリックで小節の先頭へ戻り、その後 1 クリックごとに 1 小節前に戻ります。

早送り

1 クリックごとに 1 小節次へ進みます。

ソングポジションが小節の先頭以外にある場合は、１度目のクリックで次の小節の先頭へ移り、その後１クリックごとに１小節次へ進みます。

再生位置へ移動

ソングポジションが画面内に表示されるようにスクロールします。

リピート

スタートマーカーとエンドマーカーの間を繰り返し再生します。
（マーカーはトランスポートツールバーで設定します。）
再生を止めるには、“トランスポート”メニューの「停止」をクリックするか、トランスポートツールバーの停止ボタンを押します。
◆ ショートカットキー：停止［Enter］

オートスクロール

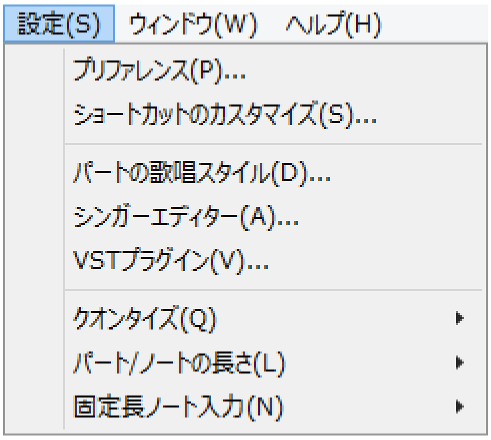
オートスクロールのオン／オフを切り替えます。

■ オートスクロールがオンの場合：
ソングポジションにエディター画面が追従していくため、常に再生位置を確認できます。

■ オートスクロールがオフの場合：
再生時に右へ移動していくソングポジションに画面が追従しません。
画面端から先のソングポジションの動きは見えなくなります。

設定

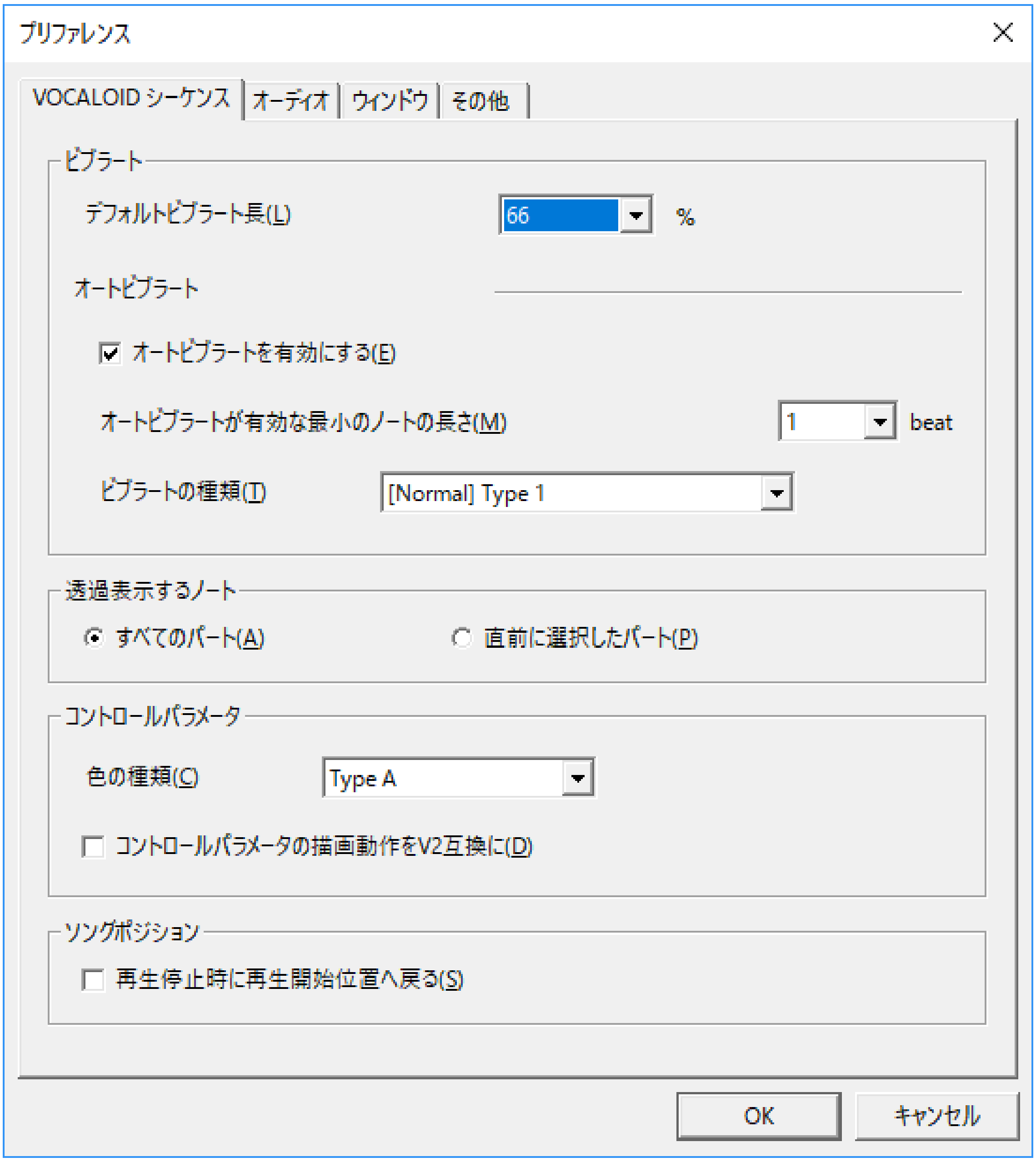
設定に関するメニューを開きます。


設定(S)
ウィンドウ(W)
ヘルプ(H)
プリファレンス(P)...
ショートカットのカスタマイズ(S)...
パートの歌唱スタイル(D)...
シンガーエディター(A)...
VSTプラグイン(V)...
クオンタイズ(Q)
パート/ノートの長さ(L)
固定長ノート入力(N)

プリファレンス

“プリファレンス” ウィンドウでは、4 つ（VOCALOID シーケンス、オーディオ、ウィンドウ、その他）のタブがあり、それぞれ関連項目の設定ができます。

“VOCALOID シーケンス” タブ



プリファレンス

ビブラート

デフォルトビブラート長(L)　66　%

オートビブラート

☑ オートビブラートを有効にする(E)

オートビブラートが有効な最小のノートの長さ(M)　1　beat

ビブラートの種類(T)　[Normal] Type 1

透過表示するノート

● すべてのパート(A)　○ 直前に選択したパート(P)

コントロールパラメータ

色の種類(C)　Type A

☐ コントロールパラメータの描画動作をV2互換に(D)

ソングポジション

☐ 再生停止時に再生開始位置へ戻る(S)

ビブラート

- デフォルトビブラート長：

  ノートに付けるビブラートの長さをノートの長さに対する割合で指定します。

  プルダウンメニュー（50、66、75、100）から選択します。（初期値：66）

■ オートビブラートを有効にする：

ビブラートの自動付与に関する設定です。オンに設定すると、入力したノートにビブラートが自動的に付加されます。

■ オートビブラートが有効な最小のノートの長さ：

ビブラートを自動付与する最短のノートを拍子単位で指定できます。

■ ビブラートの種類：

プルダウンメニューからビブラートのタイプを選択できます。

透過表示するノート

■ すべてのパート：（初期設定で選択されています。）

表示中のパート以外のすべてのパートを細い線で表示します。

■ 直前に選択したパート：

直前に選択していた１パートのみを表示します。

複数パートを透過表示させたい場合は、［Ctrl］キーを押しながらクリックで透過させたいパートを選択状態にし、編集するパートを開き直します。

コントロールパラメータ

■ 色の種類：

VEL、DYN 等のコントロールパラメータの表示色を４種類の中から選びます。

■ コントロールパラメータの描画動作を V2 互換に：

コントロールパラメータをペンやラインで描画した際に、描画した範囲外の値を変更しないようにブレークポイントを自動的に追加します。

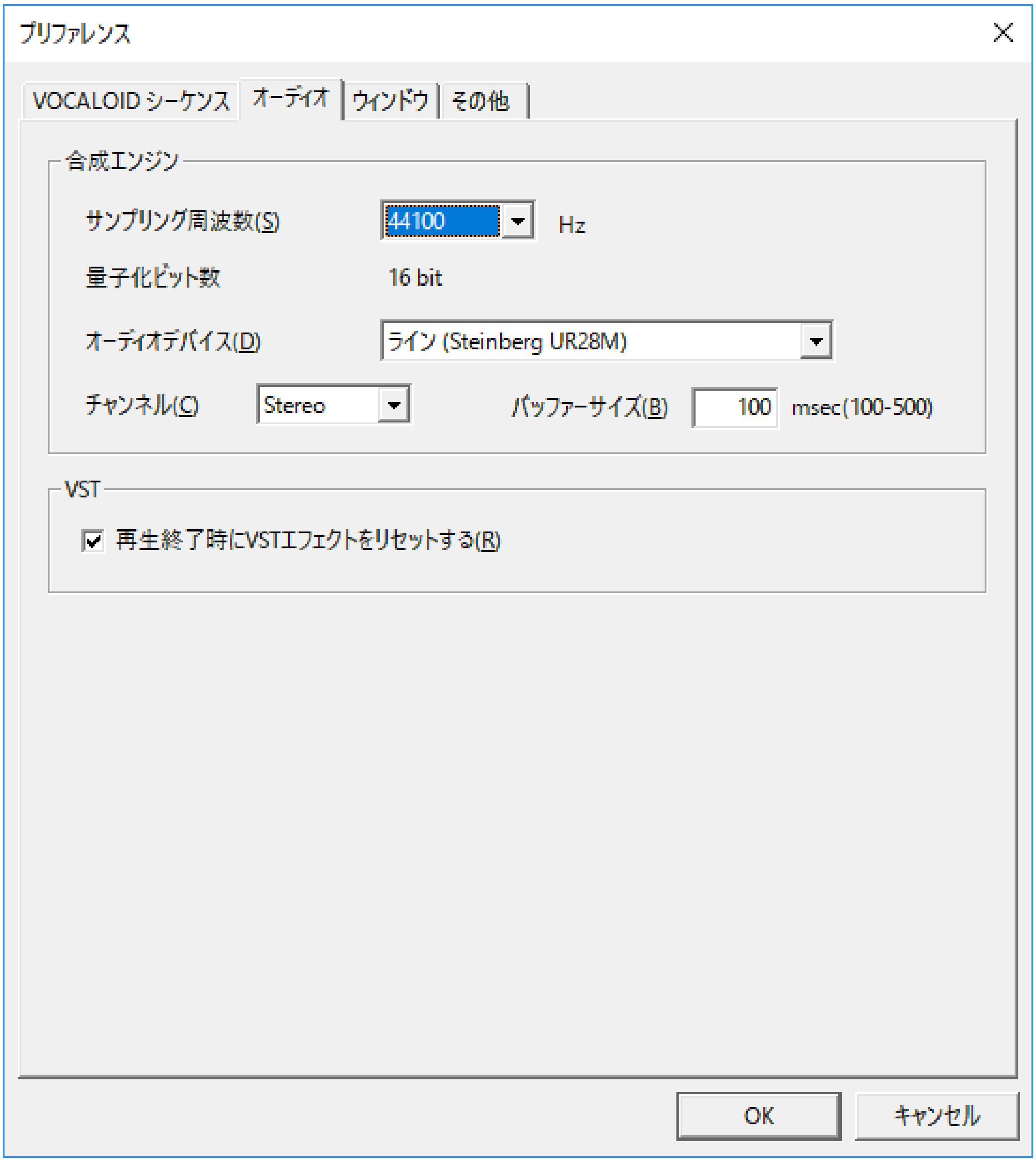
初期設定ではオフに設定されています。

ソングポジション

■ 再生停止時に再生開始位置へ戻る：

再生を停止した際にソングポジションが再生開始位置に戻ります。

“オーディオ” タブ


プリファレンス
VOCALOID シーケンス
オーディオ
ウィンドウ
その他
OK
キャンセル

合成エンジン

サンプリング周波数(S) 44100 Hz

量子化ビット数 16 bit

オーディオデバイス(D) ライン (Steinberg UR28M)

チャンネル(C) Stereo

バッファーサイズ(B) 100 msec(100-500)

VST

☑ 再生終了時にVSTエフェクトをリセットする(R)

合成エンジン

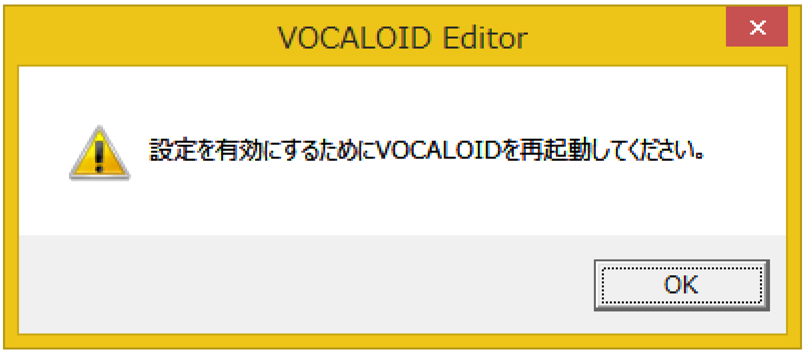
■ サンプリング周波数：44100、48000、96000 のいずれかを選択

ご使用のオーディオデバイスによって異なり、設定されたサンプリング周波数によっては正しく音が鳴らない場合があります。（初期値：44100 Hz）

- 量子化ビット数：16 bit 固定です。
- オーディオデバイス：
  複数のオーディオデバイスをお持ちの場合は、VOCALOID4 Editor の出力先をプルダウンメニューから１つ選択します。

補足

設定を変更すると、接続を正しく認識させるために VOCALOID4 Editor の再起動を促すメッセージが表示されます。（VOCALOID4 Editor 起動時の設定の際には、再起動は促がされません。）



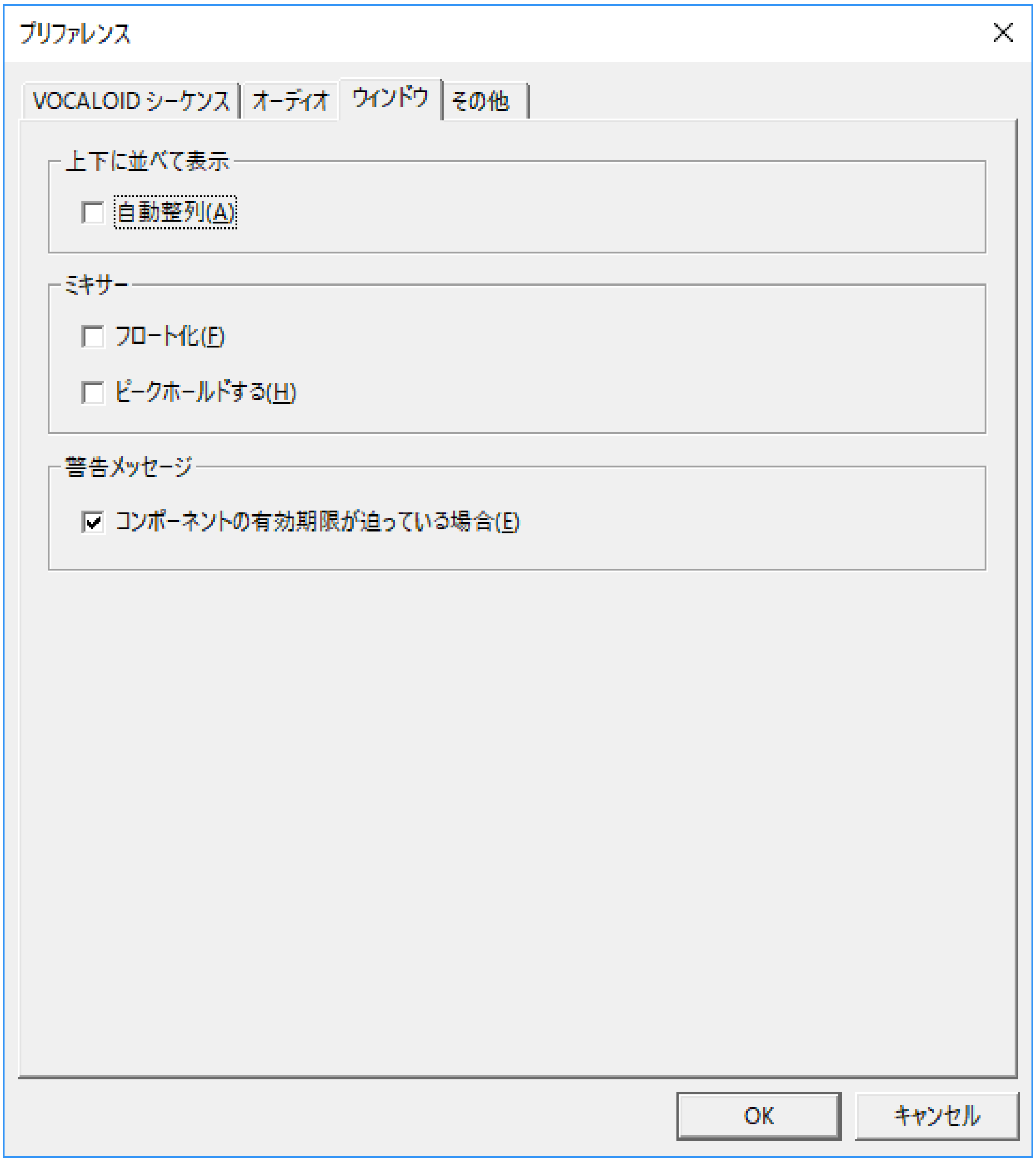
設定を有効にするためにVOCALOIDを再起動してください。

- チャンネル：
  ステレオ出力（Stereo）とモノラル出力（Mono）を切り替えます。
- バッファーサイズ：
  オーディオ出力バッファーを、ご使用のコンピュータとオーディオデバイスによって設定を変更できます。

VST

- 再生終了時に VST エフェクトをリセットする：現在使用中のすべての VST エフェクトを、シーケンスの再生を停止したときにリセットします。

“ウィンドウ” タブ


プリファレンス
VOCALOID シーケンス
オーディオ
ウィンドウ
その他
OK
キャンセル

上下に並べて表示

☐ 自動整列(A)

ミキサー

☐ フロート化(F)

☐ ピークホールドする(H)

警告メッセージ

☑ コンポーネントの有効期限が迫っている場合(E)

上下に並べて表示

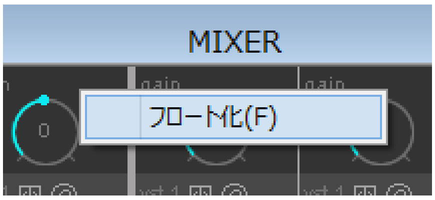
- 自動整列：
  オンに設定すると、メインウィンドウをリサイズしたときに、そのサイズに追従して各ウィンドウを自動的に最適化表示します。

ミキサー

- フロート化 ：

  オンに設定すると、ミキサーウィンドウが VOCALOID4 Editor のメインウィンドウとは別のウィンドウとして表示されます。

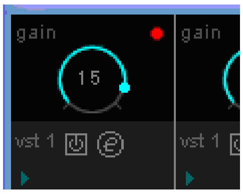
  ミキサーウィンドウ上で右クリックして表示させたメニューからも設定できます。

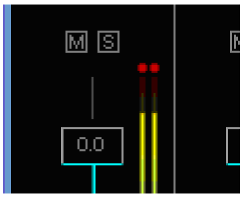


※ 初期設定ではオフに設定されています。

- ピークホールドする：

  オンに設定すると、過大なオーディオ信号が発生し、クリップした場合に赤く表示されるピークインジケーター（下図）が点灯したままの状態（ホールド状態）になります。ホールド状態を解除するには、赤くなっているピークインジケーターをクリックします。





※ 初期設定ではオフに設定されています。

警告メッセージ

- コンポーネントの有効期限が迫っている場合：

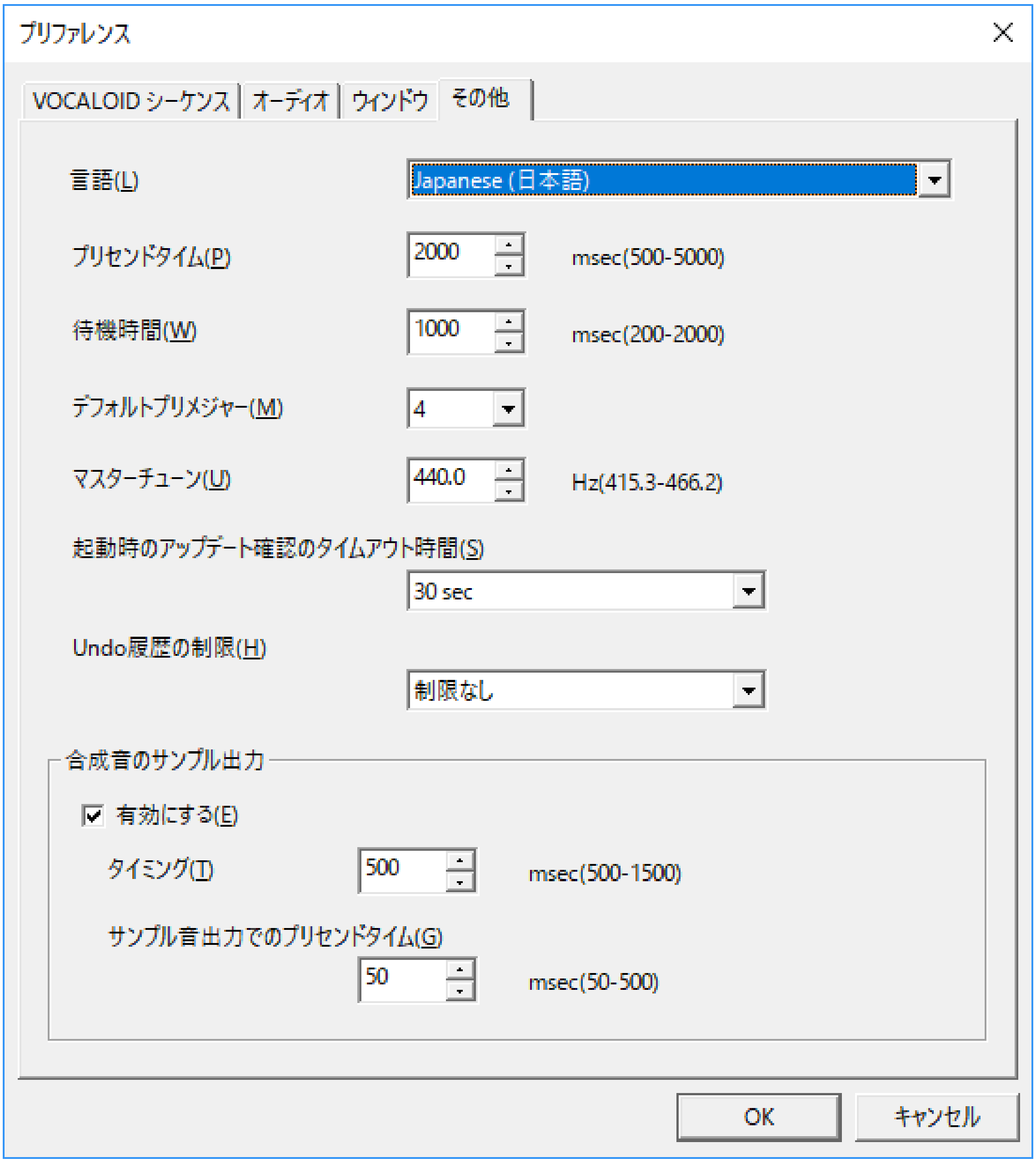
  VOCALOID4 Editor を有効期限付きシリアルコードでご使用の場合に、有効期限が切れる 2 週間前に以下の警告メッセージを通知します。

  初期設定では ON に設定されています。

  警告メッセージが VOCALOID4 Editor 起動時に表示された場合は、“ヘルプ” メニューより「VOCLAOID4 Editor について」で表示される “アクティベーション状

況”をご確認いただくことをおすすめいたします。

“その他”タブ


プリファレンス
VOCALOID シーケンス
オーディオ
ウィンドウ
その他
OK
キャンセル

言語(L) Japanese (日本語)

プリセンドタイム(P) 2000 msec(500-5000)

待機時間(W) 1000 msec(200-2000)

デフォルトプリメジャー(M) 4

マスターチューン(U) 440.0 Hz(415.3-466.2)

起動時のアップデート確認のタイムアウト時間(S) 30 sec

Undo履歴の制限(H) 制限なし

合成音のサンプル出力

☑ 有効にする(E)

タイミング(T) 500 msec(500-1500)

サンプル音出力でのプリセンドタイム(G) 50 msec(50-500)

言語

VOCALOID4 Editor 画面で使用したい言語をプルダウンメニューから選択します。

プリセンドタイム

ノートを発音させるための情報をどのくらい早めに送るかを設定します。
（初期値：2000 msec）

補足

人間が実際に歌う場合、子音部分の発音はノートオンのタイミングより前に始まることが一般的です。VOCALOID の歌声合成システムでも、この人間の歌唱をシミュレートするために、ノートオンよりも前の時刻から子音部分の合成を開始します。

「プリセンドタイム」が短すぎると、子音の合成が追い付かず不明瞭な発音になる場合がありますので、その際には設定値を大きくしてください。

待機時間

再生を開始してから、実際に発音されるまでの待ち時間を設定します。
（初期値：1000 msec）

補足

「待機時間」の値は「プリセンドタイム」に対して十分な長さに設定されている必要があります。短すぎると、ご使用のコンピュータによっては合成処理が間に合わない場合がありますので、その際には設定値を大きくしてください。

デフォルトプリメジャー

ピアノロールの１小節目以前に “プリメジャー（マイナス小節）”を設定します。
プリメジャーは、メジャールーラー上で小節数の前にマイナス表示され、
ピアノロール上では暗い色で表示されます。（初期値：４）

マスターチューン

基準 A3＝440.0 Hz（初期値）を変更できます。（設定可能値：415.3 ～ 466.2）
数値を高く設定すると、基準ピッチが高くなります。

起動時のアップデート確認のタイムアウト時間

VOCALOID4 Editor 起動時に新しいアップデータがリリースされているかをインターネット回線を通じてチェックする待ち時間の最大値を設定します。
「チェックしない」を選択した場合は、アップデート確認を行いません。
（初期設定：30 sec）

Undo 履歴の制限

VOCALOID4 Editor の Undo 操作回数の上限を「50 回」「100 回」「200 回」「制限なし」から設定できます。（初期設定：制限なし）

補足

下記内容に該当する場合は、「制限無し」以外に設定することにより、使用メモリ量を抑えられる可能性があります。

- ご使用のコンピュータに搭載されている物理メモリの量が 2GB よりも少ない場合
- トラック数の多い楽曲を制作されている場合
- コントロールパラメータの調節を細かく行う場合
- 編集作業中に VOCALOID4 Editor の動作が意図しないほど重く感じられる場合や長時間連続して編集作業を行う場合

合成音のサンプル出力

ピアノロールエリアで左側に表示される鍵盤をクリック、または ノートをクリック＆ホールドしたときに出力するサンプル音に関する設定です。

■ 有効にする：

オンに設定すると、現在開いているパートに設定されているシンガーで、
デフォルト音（日本語なら「あ」）を出力します。
オフに設定すると出力されません。

・ タイミング：
サンプル音を出力するために鍵盤やノートをクリック＆ホールドする必要のある時間の長さを設定します。

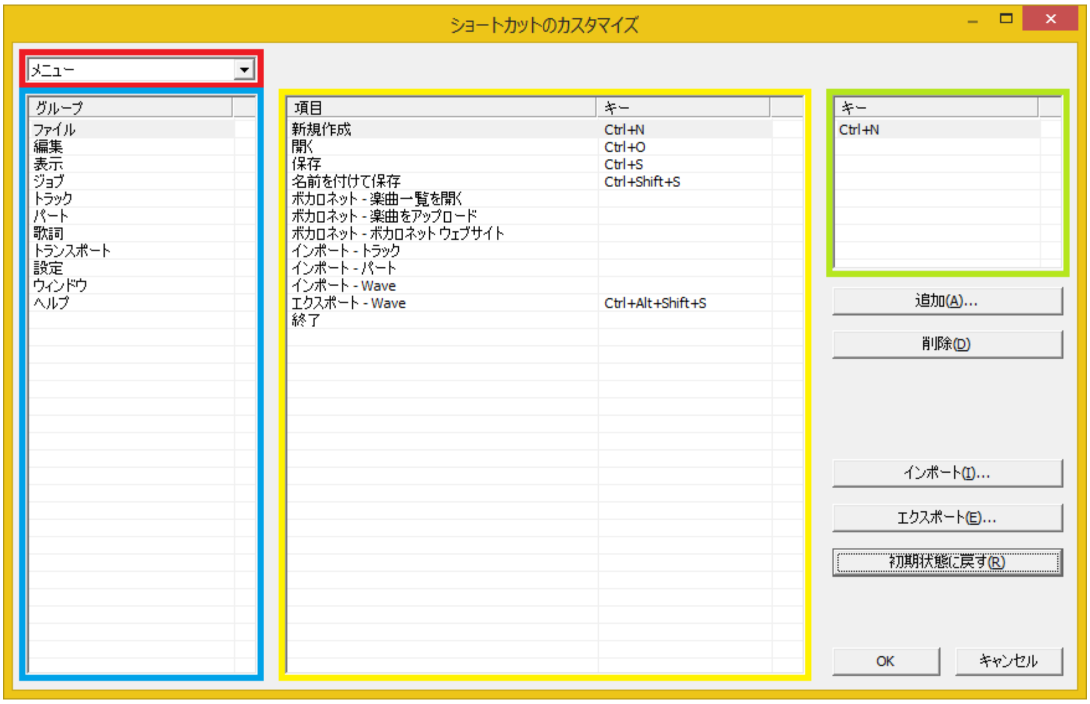
・ サンプル音出力でのプリセンドタイム：
サンプル音のはじめの子音の最大の長さを決めます。

補足

“有効にする” にチェックを入れても サンプル音が出力されない場合は、
ミキサーの音量や、トラックのミュート設定を確認してください。

ショートカットのカスタマイズ

ショートカットキーの設定を編集できます。


ショートカットのカスタマイズ
メニュー
追加(A)...
削除(D)
インポート(I)...
エクスポート(E)...
初期状態に戻す(R)
OK
キャンセル

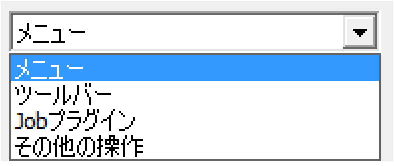
グループ
ファイル
編集
表示
ジョブ
トラック
パート
歌詞
トランスポート
設定
ウィンドウ
ヘルプ

項目	キー
新規作成	Ctrl+N
開く	Ctrl+O
保存	Ctrl+S
名前を付けて保存	Ctrl+Shift+S
ボカロネット - 楽曲一覧を開く	
ボカロネット - 楽曲をアップロード	
ボカロネット - ボカロネット ウェブサイト	
インポート - トラック	
インポート - パート	
インポート - Wave	
エクスポート - Wave	Ctrl+Alt+Shift+S
終了	

キー
Ctrl+N

カテゴリ

選択できる項目は以下の 4 種類です。


メニュー
メニュー
ツールバー
Jobプラグイン
その他の操作

- メニュー

  VOCALOID4 Editor のメニューバーに含まれる機能

- ツールバー

VOCALOID4 Editor の編集ツールバー および トランスポートツールバーの機能

- Job プラグイン

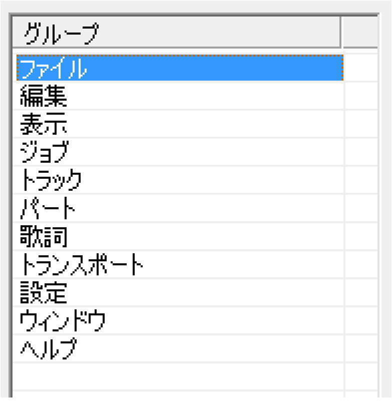
  VOCALOID4 Editor にインストール済みの Job プラグイン

- その他の操作

  コンテキストメニュー表示やズーム 等、メニューやアイコンにない機能

グループ

上述の “カテゴリ” を選択すると、該当カテゴリに属するグループの一覧が表示されます。



グループ

ファイル

編集

表示

ジョブ

トラック

パート

歌詞

トランスポート

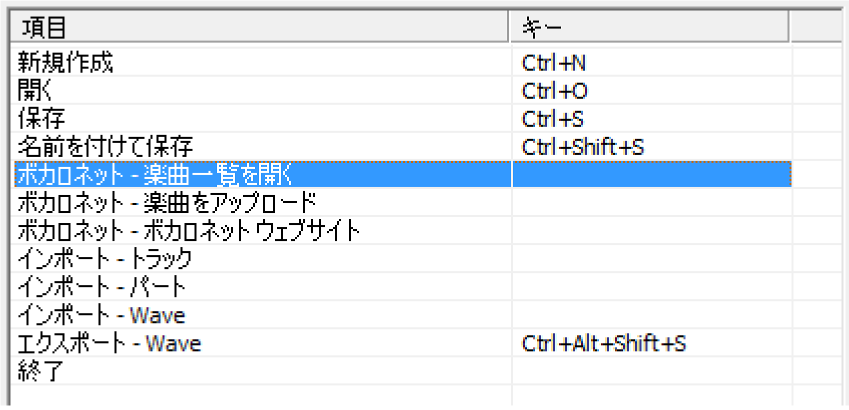
設定

ウィンドウ

ヘルプ

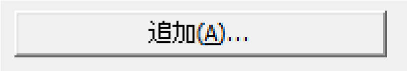
項目

上述の “グループ” を選択すると、“項目” のリストに 該当グループに属する項目の一覧が表示されます。この項目に表示された機能へショートカットキーを割り当てられます。

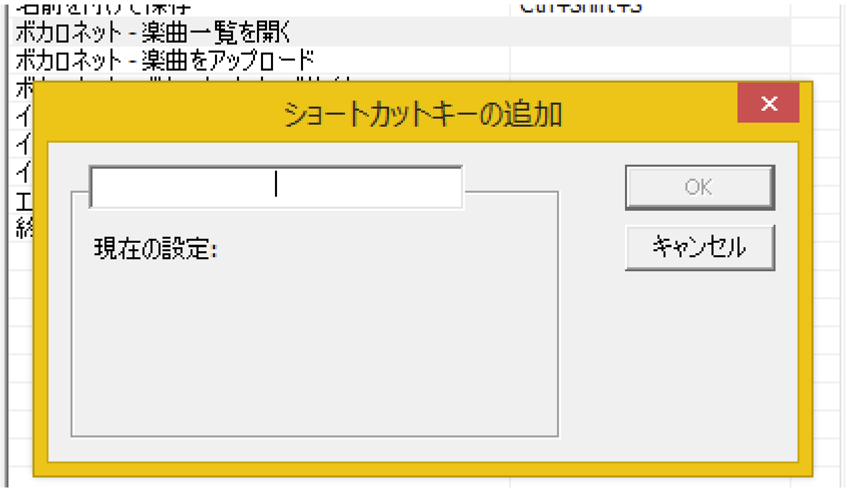


項目	キー
新規作成	Ctrl+N
開く	Ctrl+O
保存	Ctrl+S
名前を付けて保存	Ctrl+Shift+S
ボカロネット - 楽曲一覧を開く	
ボカロネット - 楽曲をアップロード	
ボカロネット - ボカロネット ウェブサイト	
インポート - トラック	
インポート - パート	
インポート - Wave	
エクスポート - Wave	Ctrl+Alt+Shift+S
終了	

□ 追加

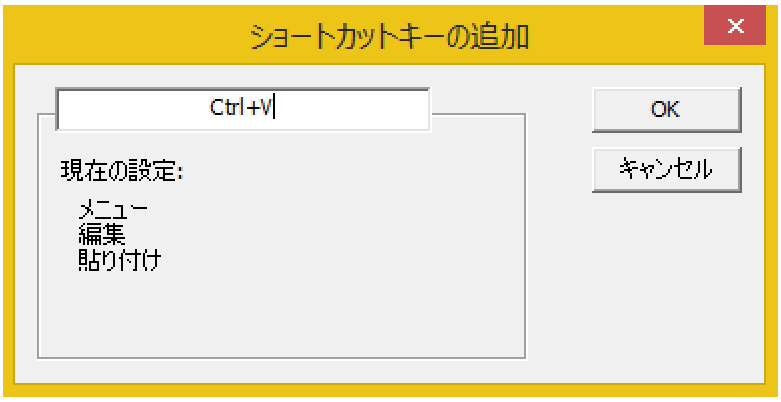


ショートカットキーを割り当てたい項目をダブルクリックするか、項目を選択して [追加] ボタンをクリックすると、以下の “ショートカットキーの追加” ウィンドウが表示されます。



割り当てたいキーを押下すると、押下されたキーの組み合わせが表示されます。

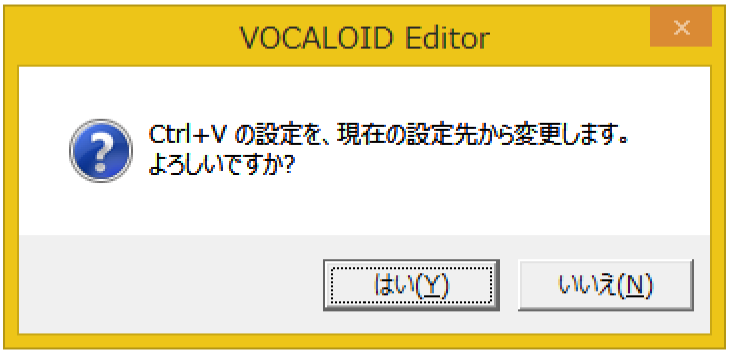
以下は、[Ctrl] キーと [V] キーを同時に押下した例です。


ショートカットキーの追加
OK
キャンセル

Ctrl+V

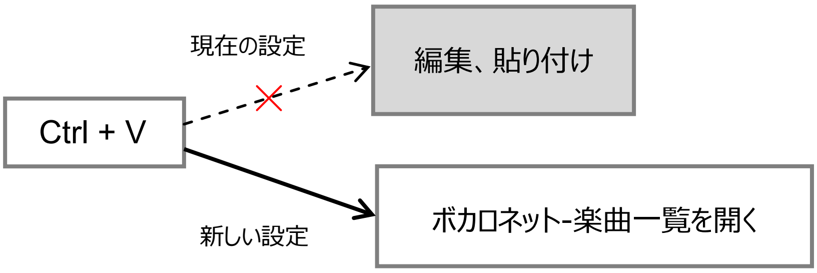
現在の設定:
メニュー
編集
貼り付け

入力されたキーに対して既に割り当てられている機能が存在する場合は、
以下の確認メッセージが表示されます。


VOCALOID Editor
はい(Y)
いいえ(N)

Ctrl+V の設定を、現在の設定先から変更します。
よろしいですか?

「現在の設定」から「新しい設定」に変更しても良い場合は［はい］をクリックします。この場合、「現在の設定」で割り当てられていた機能へのショートカットは使えなくなりますのでご注意ください。


現在の設定
編集、貼り付け
Ctrl + V
新しい設定
ボカロネット-楽曲一覧を開く

「現在の設定」を変更したくない場合は［いいえ］をクリックします。

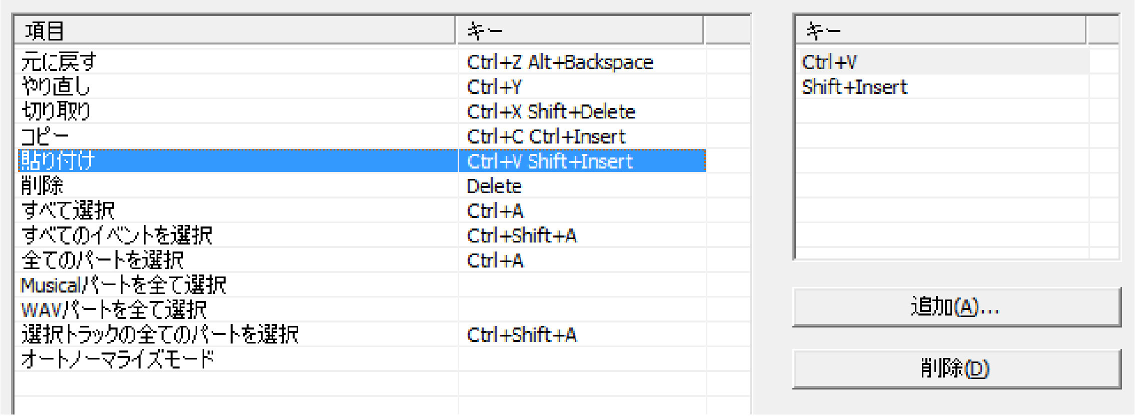
再度 “ショートカットキーの追加” ウィンドウ が表示され、その他のキーを選択し直せます。

□ 削除

不要なショートカットキーの設定を、既に機能が割り当てられているショートカットキーのリストから削除できます。

既に機能が割り当てられているショートカットキーのリスト

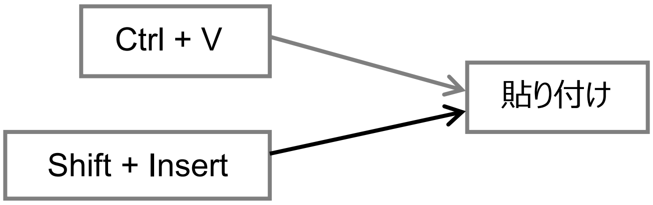
選択した“項目”に対応するすべてのショートカットキーの一覧が表示されます。



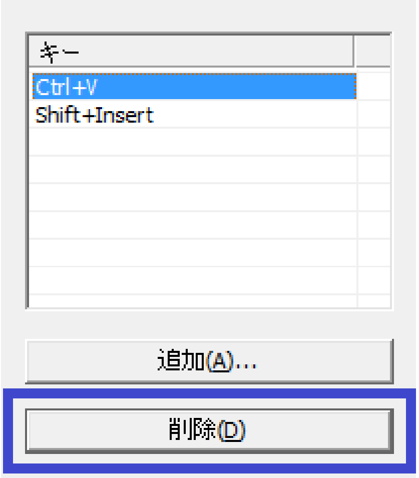
項目	キー
元に戻す	Ctrl+Z Alt+Backspace
やり直し	Ctrl+Y
切り取り	Ctrl+X Shift+Delete
コピー	Ctrl+C Ctrl+Insert
貼り付け	Ctrl+V Shift+Insert
削除	Delete
すべて選択	Ctrl+A
すべてのイベントを選択	Ctrl+Shift+A
全てのパートを選択	Ctrl+A
Musicalパートを全て選択	
WAVパートを全て選択	
選択トラックの全てのパートを選択	Ctrl+Shift+A
オートノーマライズモード	

キー
Ctrl+V
Shift+Insert

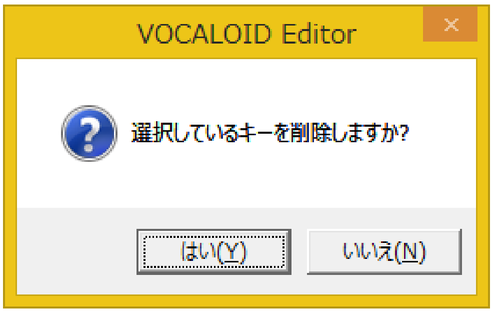
“貼り付け”機能には２つのショートカットキーが割り当てられています。



リストから削除するショートカットキーを選択し、
[削除] ボタンをクリックします。


キー
Ctrl+V
Shift+Insert
追加(A)...
削除(D)

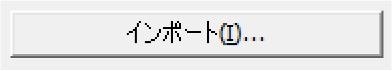
本当に削除しても良いかを確認する旨のメッセージが表示されますので、
削除しても良い場合は [はい] を選択します。


VOCALOID Editor

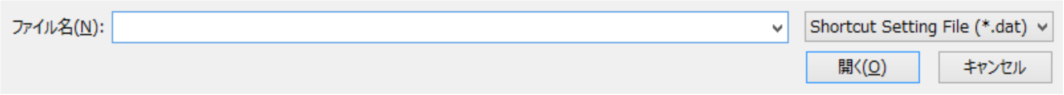
選択しているキーを削除しますか?

はい(Y)
いいえ(N)

□ インポート

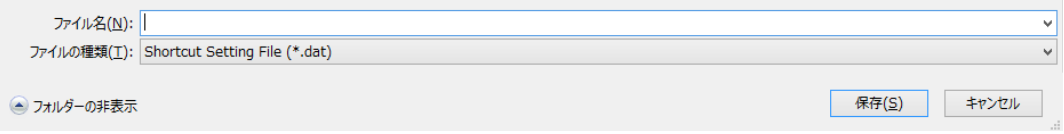


表示されたダイアログから 保存済みのショートカット設定ファイル（*.dat ファイル）を開くと、設定を読み込めます。

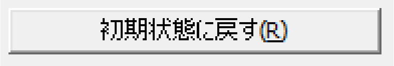

ファイル名(N):
Shortcut Setting File (*.dat)
開く(O)
キャンセル

□ エクスポート

表示されたダイアログから 任意のファイル名を入力して保存すると、設定をファイル（*.dat ファイル）に保存できます。

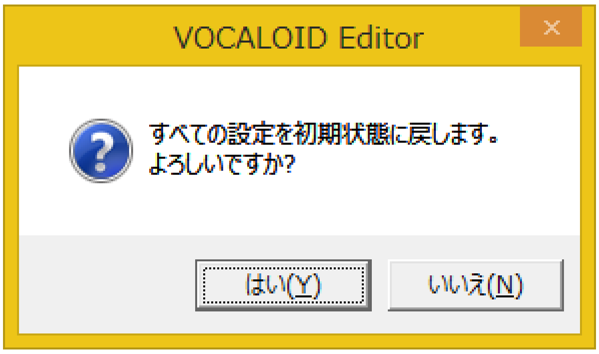

ファイル名(N):
ファイルの種類(T):
Shortcut Setting File (*.dat)
フォルダーの非表示
保存(S)
キャンセル

□ 初期状態に戻す



すべてのショートカットキー設定を VOCALOID4 Editor をインストールした直後の状態に戻せます。

[初期状態に戻す] をクリックすると、本当に初期状態に戻しても良いかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。

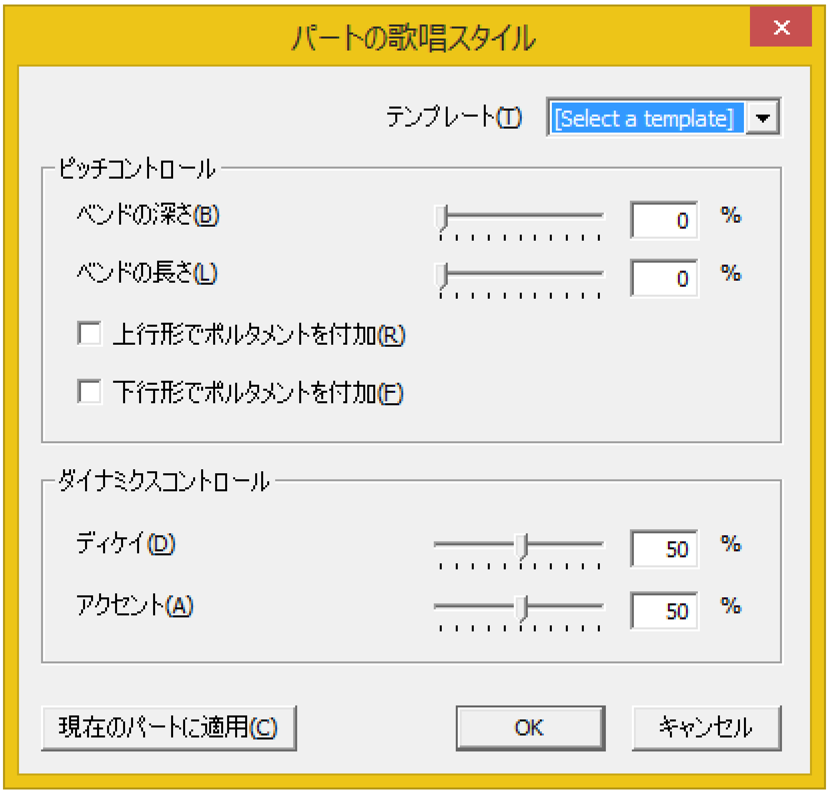

VOCALOID Editor

すべての設定を初期状態に戻します。
よろしいですか?

[はい] をクリックすると設定が初期状態に戻ります。

パートの歌唱スタイル

ピアノロールに入力したノートに付ける表情のデフォルト状態を設定します。



パートの歌唱スタイル

テンプレート(T) [Select a template]

ピッチコントロール

ベンドの深さ(B) 0 %

ベンドの長さ(L) 0 %

☐ 上行形でポルタメントを付加(R)

☐ 下行形でポルタメントを付加(F)

ダイナミクスコントロール

ディケイ(D) 50 %

アクセント(A) 50 %

下記のパラメータを入力し［OK］をクリックすると、その内容が初期値として登録されます。

テンプレート

プルダウンメニューから基本となる表情タイプを選択します。
選択された表情タイプに従って、ウィンドウ内のパラメータ値が変化します。

ピッチコントロール

ノートの始まりに発生するピッチの変化具合を調整します。

■ ベンドの深さ（0 ~ 100%）

値が大きいとより大きなピッチ間隔でピッチ変化が起こります。

■ ベンドの長さ（0 ~ 100%）

値が大きいとより長いピッチ変化を作ります。

上行形でポルタメントを付加

ノートのピッチが前のノートのピッチより高い場合、ノートの始まりになめらかな上昇方向の “ポルタメント的” ピッチスライドが生じます。

下行形でポルタメントを付加

ノートのピッチが前のノートのピッチより低い場合、ノートの始まりになめらかな下降方向の “ポルタメント的” ピッチスライドが生じます。

ダイナミクスコントロール

ノートのはじめの振幅の “シェイプ（形）” を設定します。

■ ディケイ（0 ~ 100%）

振幅の減衰度合いを増減させます。

■ アクセント（0 ~ 100%）

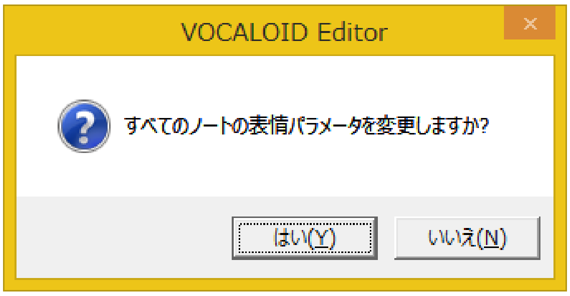
振幅の大きさを増減させます。

［現在のパートに適用］をクリックすると、『すべてのノートの表情パラ

メータを変更しますか？』と確認のダイアログが開きます。

編集中のパートのノートすべてにその設定を適用する場合は［はい］を、

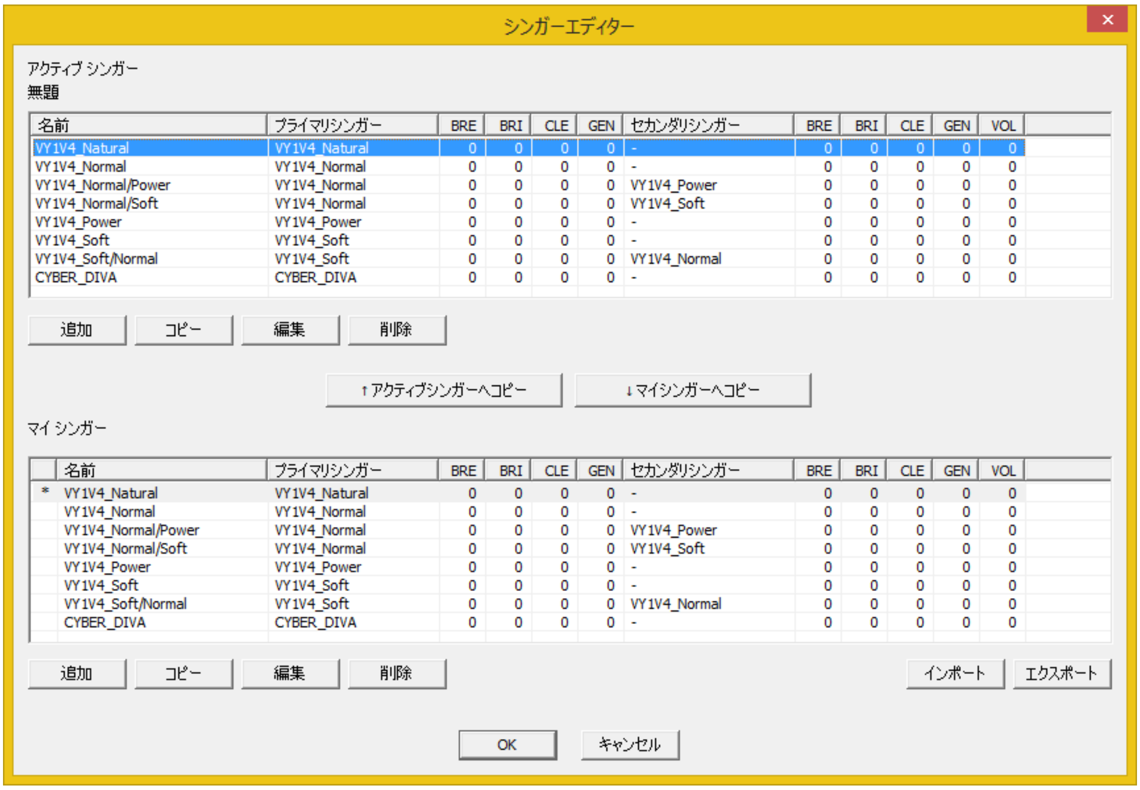
キャンセルする場合には［いいえ］をクリックします。



すべてのノートの表情パラメータを変更しますか?

シンガーエディター

アクティブシンガーとマイシンガーを設定するウィンドウを開きます。



アクティブ シンガー

無題

名前	プライマリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	セカンダリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	VOL
VY1V4_Natural	VY1V4_Natural	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Normal	VY1V4_Normal	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Normal/Power	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Power	0	0	0	0	0
VY1V4_Normal/Soft	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Soft	0	0	0	0	0
VY1V4_Power	VY1V4_Power	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Soft	VY1V4_Soft	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Soft/Normal	VY1V4_Soft	0	0	0	0	VY1V4_Normal	0	0	0	0	0
CYBER_DIVA	CYBER_DIVA	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0

マイ シンガー

	名前	プライマリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	セカンダリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	VOL
*	VY1V4_Natural	VY1V4_Natural	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Normal	VY1V4_Normal	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Normal/Power	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Power	0	0	0	0	0
	VY1V4_Normal/Soft	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Soft	0	0	0	0	0
	VY1V4_Power	VY1V4_Power	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Soft	VY1V4_Soft	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Soft/Normal	VY1V4_Soft	0	0	0	0	VY1V4_Normal	0	0	0	0	0
	CYBER_DIVA	CYBER_DIVA	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0

アクティブシンガー

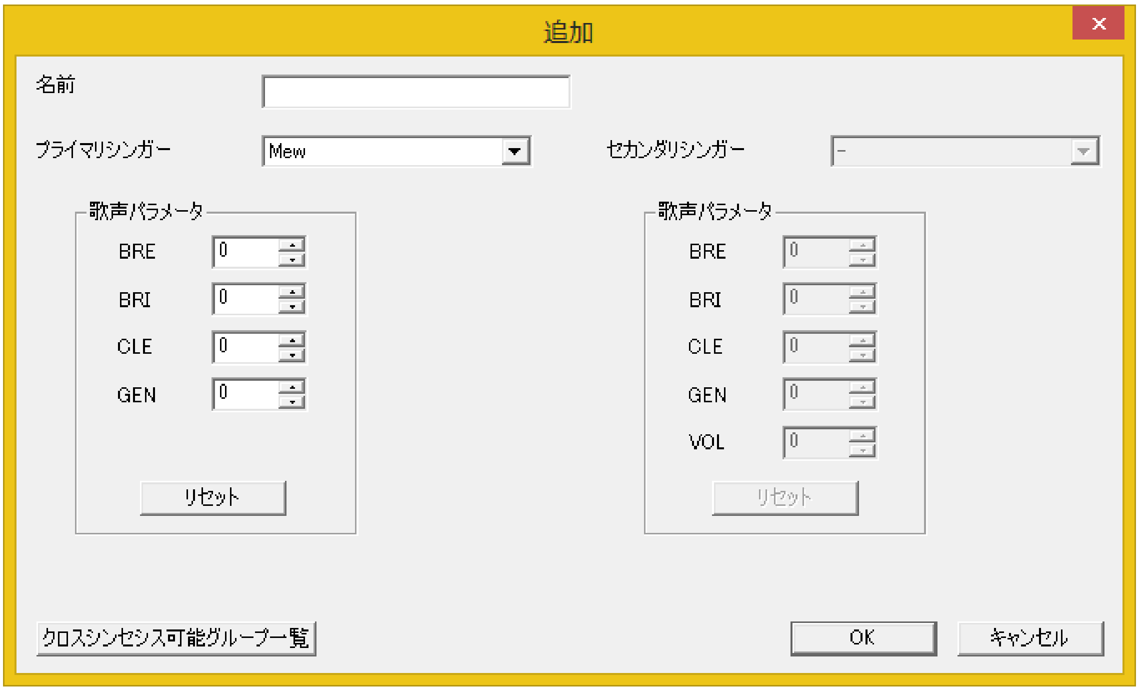
現在開かれているシーケンスファイルで使用されているシンガーの設定が表示されます。アクティブシンガーに保存された設定は、現在のシーケンスのみに適用されます。

設定方法は以下の４つです。

□ 追加

新しくシンガーを追加できます。

［追加］をクリックすると“追加”ウィンドウが表示されます。


追加
×
リセット
リセット
クロスシンセシス可能グループ一覧
OK
キャンセル

名前

プライマリシンガー Mew

セカンダリシンガー -

歌声パラメータ

BRE 0
BRI 0
CLE 0
GEN 0

歌声パラメータ

BRE 0
BRI 0
CLE 0
GEN 0
VOL 0

名前

シンガー名を入力します。

プライマリシンガー

オリジナルのシンガーが複数存在する場合には、プルダウンメニューから選択できます。

歌声パラメータ

以下のパラメータの値を設定します。（ ）内は設定範囲です。

- BRE : ブレシネス（ -127 ～ 127 ）

  値が高くするとより息が加えられた感じの声になります。

- BRI : ブライトネス（ -127 ～ 127 ）

  値を高くすると明るくきらびやかな音になり、低くすると落ち着いた穏やかな音になります。優しくささやくようなフレーズには、値を低く抑えると効果的です。

- CLE : クリアネス（ -127 ～ 127 ）

  値を高くするとシャープで澄んだ音になり、低くするとこもった重たい音になります。

- GEN : ジェンダーファクター（ -127 ～ 127 ）

  値を高くするほど深く男性的な声になり、低くするほど女性的な声になります。

  設定によりアニメのキャラクターや動物の鳴き声のような甲高い声に変えることもできます。

- VOL : ボリューム（ -127 ～ 127 ）

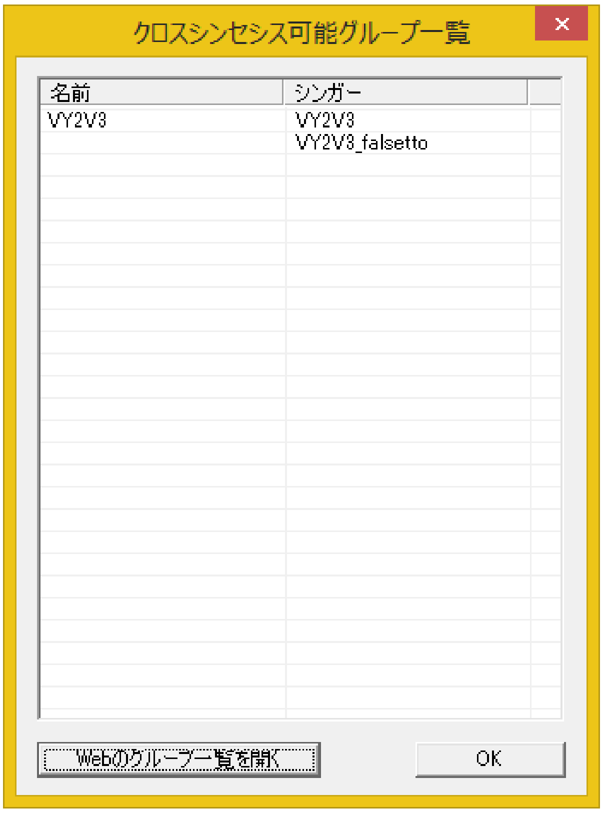
  セカンダリシンガーのボリュームを調節します。

セカンダリシンガー

コントロールパラメータエリアの表示で、Edit 欄に「 XSY（クロスシンセシス）」を設定した場合に使用できるシンガーです。クロスシンセシス可能なシンガーが複数存在する場合には、プルダウンメニューから選択できます。

クロスシンセシス可能グループ一覧

クロスシンセシス可能なシンガーについては、［クロスシンセシス可能グループ一覧］をクリックして、表示された一覧を確認できます。


クロスシンセシス可能グループ一覧
Webのグループ一覧を開く
OK

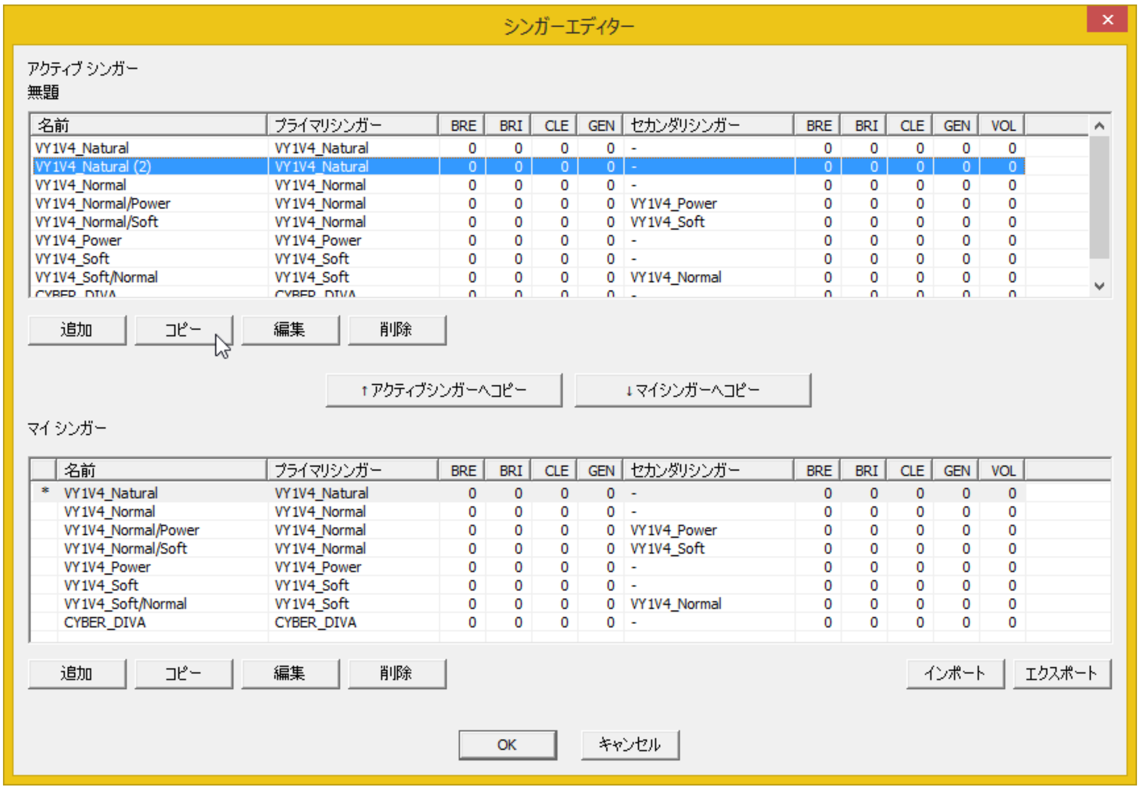
名前	シンガー
VY2V3	VY2V3 VY2V3_falsetto

□ コピー

既に存在するシンガーをコピーします。

コピーしたいシンガーをクリックして選択状態にします。

［コピー］をクリックすると、選択したシンガーのすぐ下の欄に名前の末尾に(2)が付いたシンガーが追加されます。



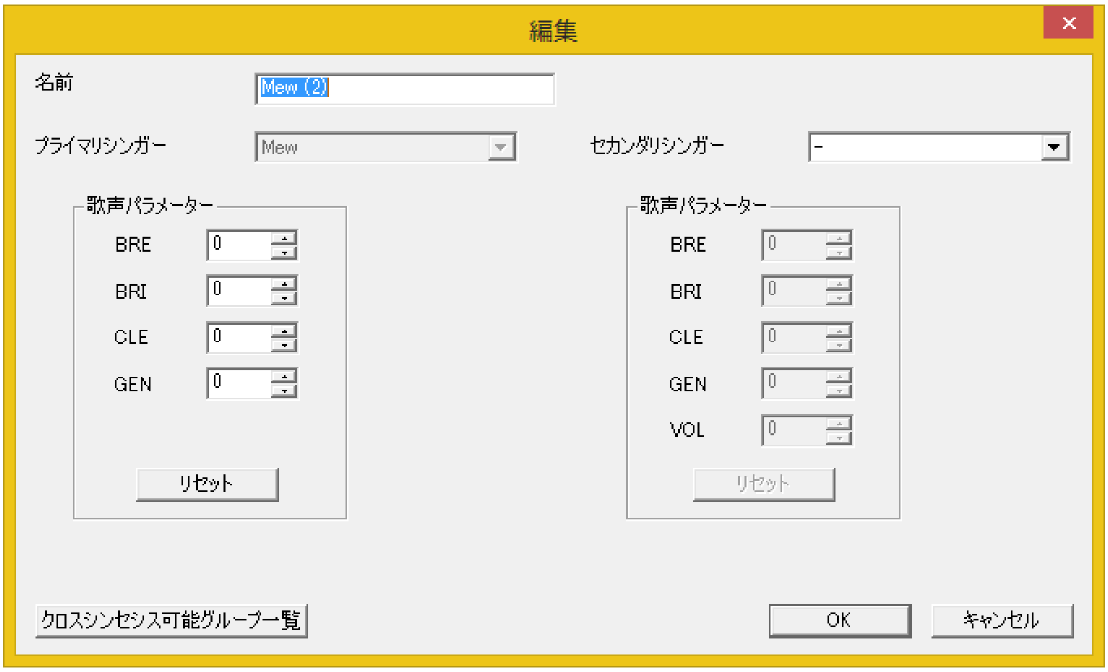
名前	プライマリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	セカンダリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	VOL
VY1V4_Natural	VY1V4_Natural	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Natural (2)	VY1V4_Natural	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Normal	VY1V4_Normal	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Normal/Power	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Power	0	0	0	0	0
VY1V4_Normal/Soft	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Soft	0	0	0	0	0
VY1V4_Power	VY1V4_Power	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Soft	VY1V4_Soft	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
VY1V4_Soft/Normal	VY1V4_Soft	0	0	0	0	VY1V4_Normal	0	0	0	0	0
CYBER_DIVA	CYBER_DIVA	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0

	名前	プライマリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	セカンダリシンガー	BRE	BRI	CLE	GEN	VOL
*	VY1V4_Natural	VY1V4_Natural	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Normal	VY1V4_Normal	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Normal/Power	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Power	0	0	0	0	0
	VY1V4_Normal/Soft	VY1V4_Normal	0	0	0	0	VY1V4_Soft	0	0	0	0	0
	VY1V4_Power	VY1V4_Power	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Soft	VY1V4_Soft	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0
	VY1V4_Soft/Normal	VY1V4_Soft	0	0	0	0	VY1V4_Normal	0	0	0	0	0
	CYBER_DIVA	CYBER_DIVA	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0

□ 編集

既に存在するシンガーを編集します。

編集したいシンガーをクリックで選択状態にした後［編集］をクリックするか、またはダブルクリックすると、“編集” ウィンドウが開きます。



編集

名前: Mew (2)

プライマリシンガー: Mew

セカンダリシンガー: -

歌声パラメーター
BRE: 0
BRI: 0
CLE: 0
GEN: 0

歌声パラメーター
BRE: 0
BRI: 0
CLE: 0
GEN: 0
VOL: 0

リセット
リセット
クロスシンセシス可能グループ一覧
OK
キャンセル

上述の「追加」と同様に、設定を入力して［OK］をクリックします。

□ 削除

既に存在するシンガーを削除します。

削除したいシンガーをクリックして選択状態にします。

［削除］をクリックします。

マイシンガー

コンピュータにインストールされたシンガーを、様々なパラメータによって編集しカスタマイズします。
マイシンガーに保存された設定は、現在開かれているシーケンスだけでなく、VOCALOID4 Editor シーケンスでいつでも選択できます。

> マイシンガーの左側にある「＊」は、デフォルトとして優先的に使用するシンガーを表しています。これを変更したい場合は、変更したいシンガーの左側をダブルクリックすることで変更できます。

追加、コピー、編集、削除 の設定方法は、上述の “アクティブシンガー” と同様です。

アクティブシンガーで設定したシンガーをマイシンガーで使用する場合は、該当のシンガーをクリックで選択状態にし、［↓マイシンガーへコピー］をクリックします。

↓マイシンガーへコピー

すると、アクティブシンガーに設定されていたシンガーが、マイシンガーの一番下の欄に追加されます。

また、マイシンガーに設定されているシンガーを、アクティブシンガーに設定したい場合は、［↑アクティブシンガーへコピー］をクリックします。

↑アクティブシンガーへコピー

設定が完了した場合は [OK] をクリックし、“シンガーエディター” 画面を閉じます。

□ インポート

表示されたダイアログから 保存済みのマイシンガー設定ファイル（*.dat ファイル）を開くと、マイシンガーの設定を読み込めます。

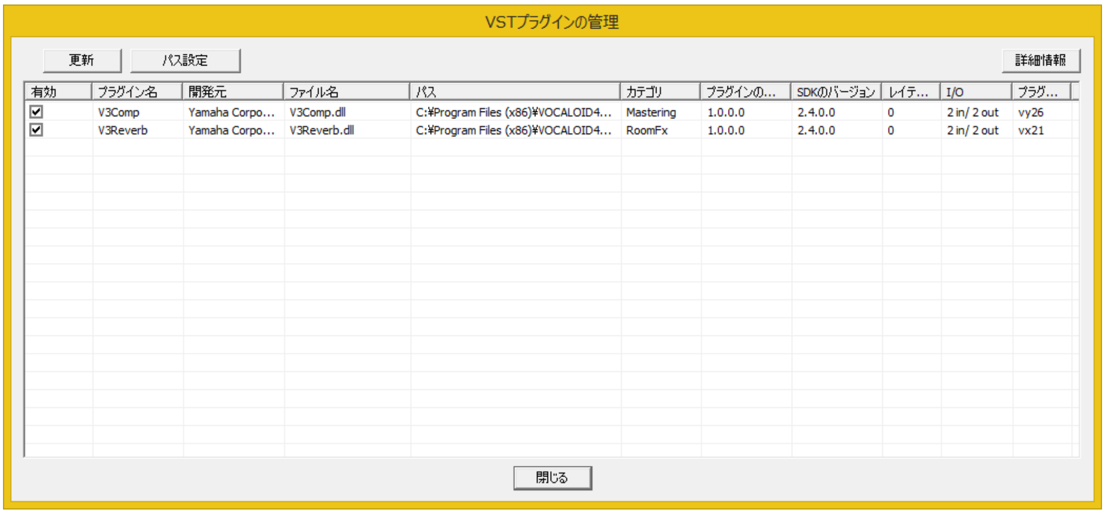
□ エクスポート

表示されたダイアログから 任意のファイル名を入力して保存すると、マイシンガーの設定をファイル（*.dat ファイル）に保存できます。

VST プラグイン

VST プラグインを追加できます。

追加したい VST プラグインをコンピュータ上の VOCALOID フォルダの VST プラグインフォルダの中に置くと、“VST プラグインの管理” ウィンドウに表示されます。



有効	プラグイン名	開発元	ファイル名	パス	カテゴリ	プラグインの...	SDKのバージョン	レイテ...	I/O	プラグ...
☑	V3Comp	Yamaha Corpo...	V3Comp.dll	C:¥Program Files (x86)¥VOCALOID4...	Mastering	1.0.0.0	2.4.0.0	0	2 in/ 2 out	vy26
☑	V3Reverb	Yamaha Corpo...	V3Reverb.dll	C:¥Program Files (x86)¥VOCALOID4...	RoomFx	1.0.0.0	2.4.0.0	0	2 in/ 2 out	vx21

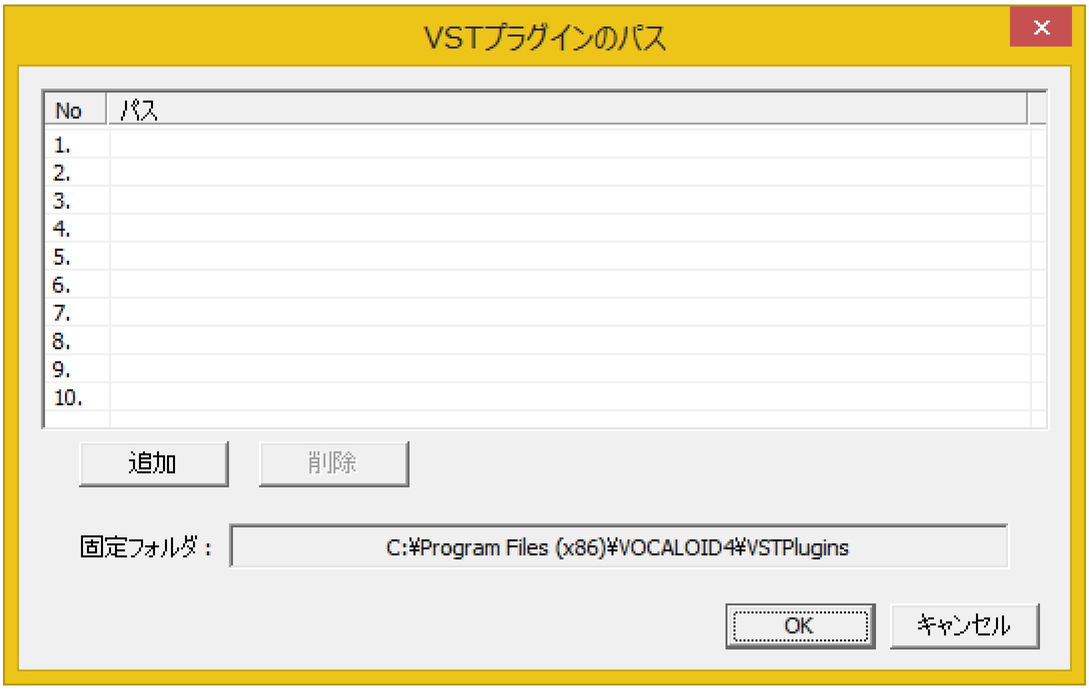
使用したい VST プラグインの「有効」欄にチェックを入れると、使用できるようになり、チェックを外すと使用できなくなります。
それぞれの VST プラグインが正確にインストールされ「有効」に設定すると、ミキサーウィンドウより各 VOCALOID トラック および WAV トラックにエフェクトをインサートできます。

補足

初期設定で管理されている VST プラグインは “V3Comp” と “V3Reberb” で、VOCALOID4 フォルダ内に含まれる “VSTplugins” フォルダ内に置かれています。

32bit OS の場合 ⇒ C:¥Program Files¥VOCALOID4¥Editor¥VSTPlugins
64bit OS の場合 ⇒ C:¥Program Files (x86)¥VOCALOID4¥Editor¥VSTPlugins

追加したい VST プラグインがコンピュータ上の VOCALOID4 フォルダ以外の場所にある場合は、[パス設定] クリックし、“VST プラグインのパス” ウィンドウ上の [追加] をクリックします。

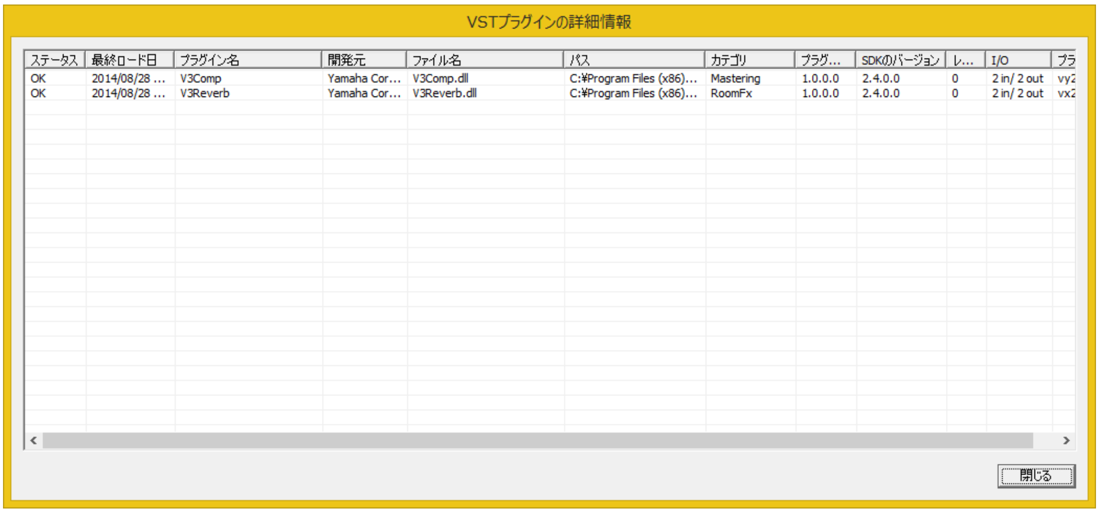

VSTプラグインのパス
No
パス
1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.
10.
追加
削除
OK
キャンセル

固定フォルダ： C:¥Program Files (x86)¥VOCALOID4¥VSTPlugins

該当のフォルダを選択して［OK］をクリックし、VST プラグインの追加を実行します。次いで “VST プラグインの管理” 左上の [更新] をクリックして、プラグインリストの更新をします。

補足

“VST プラグインの管理” ウィンドウ内の [更新] をクリックしてもリストに VST プラグインが追加されない場合は、 [詳細情報] をクリックして、以下の “VST プラグインの詳細情報” ウィンドウを表示し、VST プラグインの読み込み状況をご確認ください。



ステータス	最終ロード日	プラグイン名	開発元	ファイル名	パス	カテゴリ	プラグ…	SDKのバージョン	レ…	I/O	プラ
OK	2014/08/28 …	V3Comp	Yamaha Cor…	V3Comp.dll	C:¥Program Files (x86)…	Mastering	1.0.0.0	2.4.0.0	0	2 in/ 2 out	vy
OK	2014/08/28 …	V3Reverb	Yamaha Cor…	V3Reverb.dll	C:¥Program Files (x86)…	RoomFx	1.0.0.0	2.4.0.0	0	2 in/ 2 out	vx

使用できない VST プラグインの例

- 信号入力が 1ch 未満、または 3ch 以上
- 信号出力が 1ch 未満、または 3ch 以上
- 信号入力が 2ch かつ信号出力が 1ch
- プラグインのロード時(*1)にプラグインがハングアップ（ロード処理が中断）する。（※ この場合、最終ロード日に「中断」と表示されます）
- VST SDK のバージョンナンバーが 1.x 系または 3.x 系(*2)
- VSTi (VST Instrument)(*3)

(*1) VOCALOID4 Editor の起動時 または “VST プラグインの管理画面”ウィンドウ左上の ［更新］ ボタンを押下した際にプラグインのロード処理が実行されます。

(*2) VOCALOID4 Editor では、2.x 系のみ利用可能です。

(*3) VOCALOID4 Editor では、VST Effect のみ利用可能です。

クオンタイズ

設定した値（オフ以外）にノート入力位置のタイミングを自動補正します。
入力 および 移動したノートの先頭が設定値の整列位置になります。
設定値は全音符から64分音符まで選択でき、すべてのノートに対して3連符を設定（3連符のオン／オフをクリックごとに切り替え）できます。
クオンタイズをオフに設定すると、最大クロック分解能（4分音符で480クロック）でノートを入力できます。また、クオンタイズはトラックエディター上のMusicalパートの入力や長さ調節にも適用でき、各エディター（トラックエディター、ミュージカルエディター）でそれぞれ設定できます。
表示メニューからグリッドラインにチェックを入れると、トラックエディターウィンドウやミュージカルエディターウィンドウ（ピアノロールエリア）上で設定したクオンタイズ値によって、それぞれグリッドラインが表示されます。

◆ クオンタイズは、VOCALOID4 Editor画面上部の“メジャーツールバー”のQUANTIZE（クオンタイズ）からも設定できます。

関連：ノートを移動する

パート/ノートの長さ

クオンタイズがノートの先頭の位置を決めるのに対し、パート/ノートの長さではノートの末尾の位置を設定します。ノートを伸ばすと、パート/ノートの長さで指定した長さになります。値の選択肢はクオンタイズと同じです。
また、パート/ノートの長さはトラックエディター上のMusicalパートの入力や長さ調節にも適用でき、各エディター（トラックエディター、ミュージカルエディター）でそれぞれ設定できます。

「<<」に設定すると、パート/ノートの長さがクオンタイズ設定値に連動します。

（例：QUANTIZE =「**1/4**」/ LENGTH =「**<<**」 ⇒ LENGTH =「**1/4**」）

◆ パート/ノートの長さは、VOCALOID4 Editor 画面上部の “メジャーツールバー” の LENGTH（パート／ノートの長さ）からも設定できます。

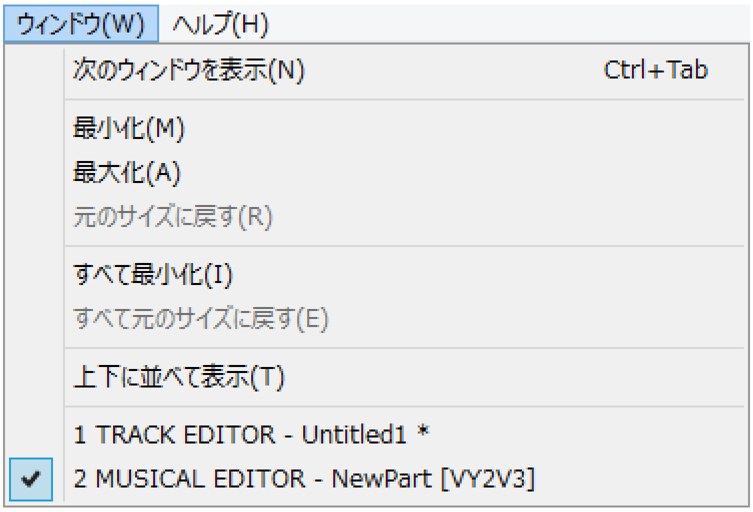
固定長ノート入力

入力するノートの長さを、あらかじめ設定します。
ピアノロール上で鉛筆ツールを使って入力するノートは、すべて自動的に “固定長ノート” 機能で設定したノートの長さになります。選択肢は、クオンタイズ や パート/ノートの長さ と同じく全音符から 64 分音符です。
クオンタイズがオフの場合、実際に入力されるそれぞれの固定長ノートの始まりは、鉛筆ツールでクリックされる場所です。また、“固定長ノート” メニューからノートを選び、3 連符 または 付点を設定（クリックごとにオン／オフを切り替え）できます。

関連：ノートをリサイズする

ウィンドウ

ウィンドウに関するメニューを開きます。


ウィンドウ(W)
ヘルプ(H)
次のウィンドウを表示(N) Ctrl+Tab
最小化(M)
最大化(A)
元のサイズに戻す(R)
すべて最小化(I)
すべて元のサイズに戻す(E)
上下に並べて表示(T)
1 TRACK EDITOR - Untitled1 *
✓ 2 MUSICAL EDITOR - NewPart [VY2V3]

次のウィンドウを表示

VOCALOID4 Editor 画面上に表示されている各ウィンドウを、順番にアクティブ（最前面表示）にします。トラックエディターウィンドウ、ミュージカルエディターウィンドウ（ピアノロールエリアとコントロールパラメータエリア）、ミキサーウィンドウのすべてが画面上に開いている場合、クリックするごとに、

トラックエディターウィンドウ → ミュージカルエディターウィンドウ → ミキサーウィンドウ の後、トラックエディターウィンドウ へ戻る

この繰り返しで、各ウィンドウがアクティブになります。

◆ ショートカットキー： [Ctrl] + [Tab]

最小化

アクティブウィンドウを、VOCALOID4 Editor 画面の左下に最小化します。

最大化

アクティブウィンドウを、VOCALOID4 Editor 画面上に最大限に開きます。

元のサイズに戻す

「最小化」または「最大化」されたウィンドウを、元の通常の画面サイズに戻します。

すべて最小化

VOCALOID4 Editor 画面上のすべてのウィンドウを、画面左下に最小化します。

すべて元のサイズに戻す

「最小化」または「最大化」されているすべてのウィンドウを、それぞれ元のサイズに戻します。

上下に並べて表示

VOCALOID4 Editor 画面上、ミュージカルエディターウィンドウの、ピアノロール部分の上にトラックエディターウィンドウが重ならないように、相互が上下に表示されます。編集作業時などに便利です。

ウィンドウリスト

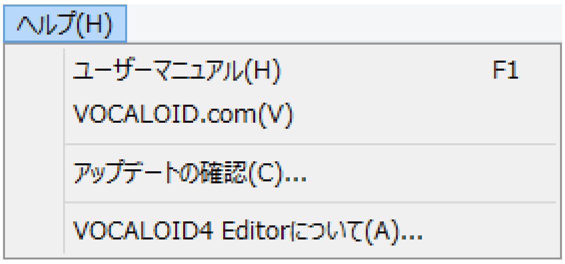
VOCALOID4 Editor 画面上で開かれているウィンドウのリストが表示されます。リストの左端にチェックが入っているウィンドウがアクティブウィンドウです。ウィンドウ名をクリックすると、アクティブウィンドウは切り替わります。

補足

ミキサー画面を “フロート化” に設定している場合は、リストに表示されません。

ヘルプ

ヘルプに関するメニューを開きます。


ヘルプ(H)
ユーザーマニュアル(H) F1
VOCALOID.com(V)
アップデートの確認(C)...
VOCALOID4 Editorについて(A)...

ユーザーマニュアル

VOCALOID4 Editor のユーザーマニュアルを開きます。

補足

ユーザーマニュアルは PDF ファイルです。
ご利用には、別途 PDF ファイルの閲覧が可能なソフトウェアがインストールされている必要があります。

VOCALOID.com

Web ブラウザより「VOCALOID™ / ボーカロイド 公式サイト」を開きます。

補足

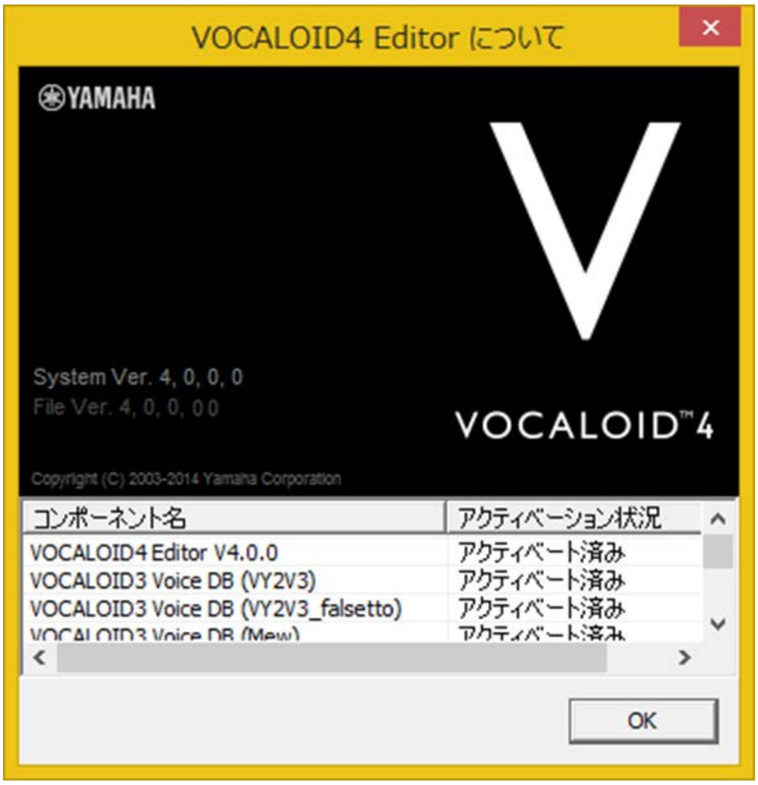
インターネット上の Web ページから VOCALOID に関する最新情報を参照できます。
ご利用には、インターネットに接続可能な環境で、Web ブラウザがインストールされている必要があります。

アップデートの確認

ご使用の VOCALOID4 Editor よりも、新しいバージョンのアップデータがリリースされているかをチェックします。
インターネットに接続されている必要があります。

VOCALOID4 Editor について

VOCALOID4 Editor のシステムバージョンと、インストール済み製品（コンポーネント）のアクティベーション状況リストが表示されます。



System Ver. 4, 0, 0, 0
File Ver. 4, 0, 0, 00

Copyright (C) 2003-2014 Yamaha Corporation

コンポーネント名	アクティベーション状況
VOCALOID4 Editor V4.0.0	アクティベート済み
VOCALOID3 Voice DB (VY2V3)	アクティベート済み
VOCALOID3 Voice DB (VY2V3_falsetto)	アクティベート済み
VOCALOID3 Voice DB (Mew)	アクティベート済み

アクティベーション状況については以下の表を参照ください。

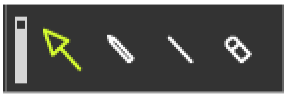
アクティベーション状況	説明
未アクティベート(試用期限日:yyyy-mm-dd)	コンポーネントが試用期間中であることを示します。試用期限日の yyyy-mm-dd まで使用できます。
試用期限切れ(要アクティベート)	コンポーネントの試用期限が切れており、使用できない状態です。再度使用可能にするためには、コンポーネントをアクティベートして頂く必要があります。
アクティベート済み	コンポーネントが有効期間無期限のシリアルコードを用いてアクティベート済みであることを示します。コンポーネントは期間の制限無く使用できます。
アクティベート済み(有効期限日:yyyy-mm-dd)	コンポーネントが有効期限付きのシリアルコードを用いてアクティベート済みであることを示します。有効期限日の yyyy-mm-dd まで使用できます。
有効期限切れ(有効期限日:yyyy-mm-dd)	有効期限付きのシリアルコードを用いてアクティベートされたコンポーネントの有効期限が切れており、使用できない状態です。再度使用可能にするためには、コンポーネントをアクティベートしていただく必要があります。

ツールバー

VOCALOID4 Editor には、4 のツールバーが存在します。

各ツールバーの左端に付いているハンドルをドラッグし、置き換えや、ツールバーエリア外への移動が自在に行えます。
移動したツールバーは、各ハンドルを再度ドラッグし、ツールバーエリア内へ戻せます。また、ツールバー上部をダブルクリックし、元の場所へ戻すこともできます。

編集ツールバー



選択、入力、編集などの操作に使用するツールを切り替えます。
右クリック（または［Shift］＋［F10］）メニューや、ショートカットキーで操作できる機能もあります。

矢印ツール

主に選択／編集の操作をします。
コンピュータのキーボード上の［Ctrl］キーや［Shift］キーとの組み合わせ（押しながらクリック）で、複数選択もできます。

補足

矢印ツールを選択している状態でも、[Shift] を押している間は鉛筆ツールに切り替わります。

鉛筆ツール

新しくパートやノートの入力 および ビブラートやコントロールパラメータの編集など、主に入力／編集の操作をします。

補足

鉛筆ツールは、メジャールーラーやメニューバー、ツールバーに移動すると、自動的に矢印ツールに切り替わります。

ラインツール

直線を使用して入力します。

コントロールパラメータエリア内を任意の地点からドラッグして線を引き、クリックを離すと直線が入力されます。

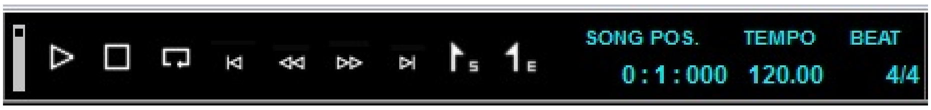
ピアノロールエリアでは、鉛筆ツールと同様にノートを入力します。

消しゴムツール

オブジェクトを削除します。

削除したいパートや、ノートなどのイベントをクリック または ドラッグで範囲指定をして削除します。

トランスポートツールバー



再生、停止など、“トランスポート” メニューや　ショートカットキーでも操作できる機能が含まれています。

◆ ショートカットキー：トランスポートツールバー表示／非表示切り替え［F4］

▷ 再生

再生を開始します。リピートボタン ↻ が押されていない場合（押されてないとリピートボタンは白表示）、トラックの終わりで再生を自動的に停止します。

◆ ショートカットキー：[Enter] , [Space]

□ 停止

再生を停止します。

◆ ショートカットキー： [Enter] , [Space]

↻ リピート

トラック内のスタートマーカー とエンドマーカー の間を繰り返し再生します。再生を止めるには、停止 □ を押します。

先頭へ

トラックの先頭位置に直接ジャンプします。

スタートマーカー が設定されている場合は、その地点まで直接ジャンプします。

◆ ショートカットキー：［Ctrl］＋［End］

巻き戻し

押し続けると素早く巻き戻され、1 クリックごとに 1 小節前へ戻ります。

ソングポジションが小節の先頭以外にある場合は、 1 度目のクリックで小節の先頭へ戻り、その後 1 クリックごとに 1 小節前に戻ります。

早送り

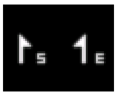
押し続けると素早く早送りし、1 クリックごとに 1 小節次へ進みます。

ソングポジションが小節の先頭以外にある場合は、 1 度目のクリックで次の小節の先頭へ移り、その後 1 クリックごとに 1 小節次へ進みます。

末尾へ

トラックの末尾へ直接ジャンプします。

◆ ショートカットキー：ピリオド［. ］



スタートマーカー ／ エンドマーカー

詳細は、“表示”メニューの スタートマーカー／エンドマーカー をご参照ください。

スタートマーカーを開始位置、エンドマーカーを終了位置へ設定することで、繰り返し再生する範囲や、WAV ファイルのエクスポート範囲を指定できます。

補足

メジャールーラー上で “[Shift] ＋ クリック長押し” をすることで、エンドマーカーだけをクリックした位置に移動できます。
長い範囲の再生区間を設定したいときに便利です。

SONG POS.
0:1:000

SONG POS（ソングポジションインジケーター）

ソングポジションの位置を示します。
数値は左から『 小節 ： 拍 ： クロック 』の順に表示されています。

小　節 ： 現在の小節の位置
拍 ： ビートルーラーで設定された拍子に対応した現在の拍の位置
クロック ： 拍の中の現在のクロック位置（4 分音符は 480 クロック分）

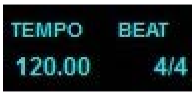
補足

- 小節：拍：クロック部分をダブルクリックすると、ソングポジション位置を数値入力で移動できます。入力の際の書式は「小節:拍:クロック」です。

このとき、「:」の代わりに「.」を使用することもできます。また、ホイールマウスをご使用の場合は、ソングポジション上でホイールを回転することで、ソングポジションを移動できます。ホイール操作での移動幅は、8 小節です。

- 右クリックメニューの “ソングポジションをここに移動” をクリック（またはショートカットキー［Ctrl］＋［G］）するとマウスカーソルの位置にソングポジションを移動できます。
  現在表示している場所から、すぐに再生したいときに便利な機能です。

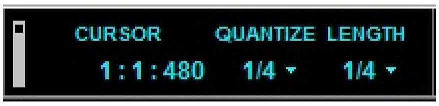
- [Alt] キーを押しながらマウスを操作すると、一時的にクオンタイズをオフにできます。


TEMPO 120.00
BEAT 4/4

TEMPO , BEAT（テンポ , ビートインジケーター）

現在設定されているシーケンスのテンポとビート（拍子）を表示します。
値の入力や変更は、テンポルーラーとビート (拍子) ルーラー内で設定します。
数値をダブルクリックして、直接入力することはできません。

メジャーツールバー


CURSOR 1 : 1 : 480
QUANTIZE 1/4
LENGTH 1/4

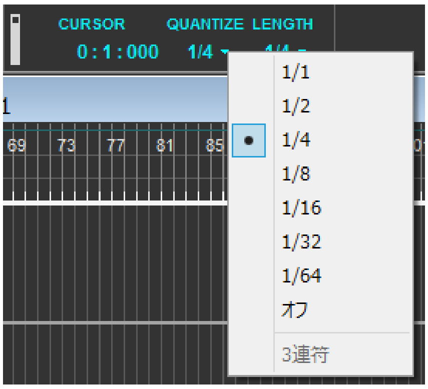
CURSOR (カーソルインジケーター)

VOCALOID4 Edito 上に存在するカーソルの正確な位置を示します。
この値は、トラックエディターまたは ミュージカルエディターのどちらか選択されたエディター上でのカーソル位置を追従します。

数値は左から『 小節 ： 拍 ： クロック 』の順に表示されています。

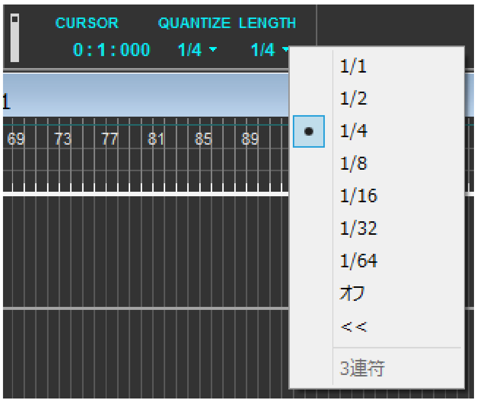
小　節 ： 現在の小節の位置
拍 ： ビートルーラーで設定された拍子に対応した現在の拍の位置
クロック ： 拍の中の現在のクロック位置（4 分音符は 480 クロック分）

QUANTIZE (クオンタイズ)


CURSOR
QUANTIZE
LENGTH
0:1:000
1/4
1
69
73
77
81
85
1/1
1/2
●
1/4
1/8
1/16
1/32
1/64
オフ
3連符

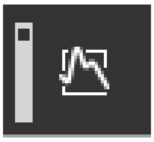
詳細は、“設定” メニューの クオンタイズ をご参照ください。

LENGTH (パート/ノートの長さ)


CURSOR
QUANTIZE
LENGTH
0:1:000
1/4
1/4
1
69
73
77
81
85
89
1/1
1/2
●
1/4
1/8
1/16
1/32
1/64
オフ
<<
3連符

詳細は、“設定” メニューの パート/ノートの長さ をご参照ください。

ピッチレンダリングツールバー



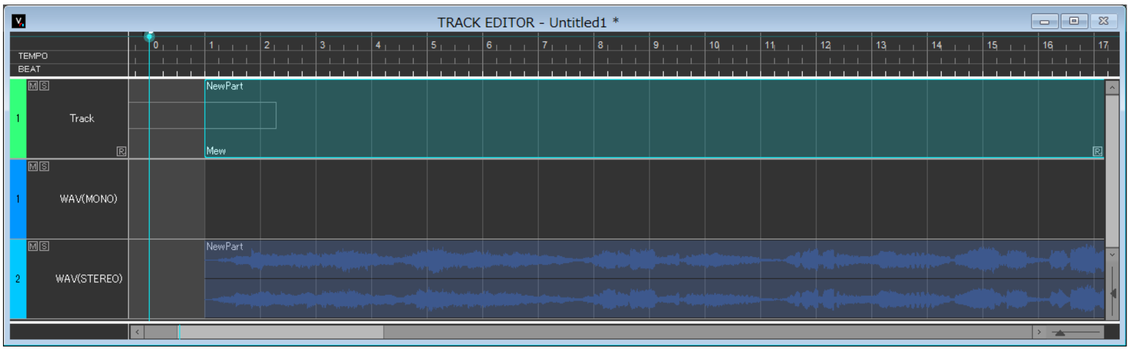
ピアノロールエリア上のノートに、合成されるピッチの軌道を表示します。クリックすると実行できます。

- “パート”メニューの「ピッチレンダリング」や、キーボードの［P］キーでもピッチレンダリングを実行できます。

詳細は、“パート” メニューの ピッチレンダリング をご参照ください。

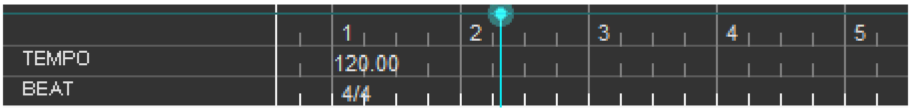
トラックエディターウィンドウ

トラックエディターウィンドウでは、初期設定で 3 種類の “ルーラー” と、
3 種類の “トラック” が表示され、それぞれの操作ができます。


TRACK EDITOR - Untitled1 *
TEMPO
BEAT
Track
WAV(MONO)
WAV(STEREO)
NewPart
Mew
NewPart

トラックエディターウィンドウ内の操作をする場合は、
トラックエディターウィンドウを最小化以外で表示します。
表示方法は、“ウィンドウ” メニューをご参照ください。

ルーラー


TEMPO
BEAT
1
2
3
4
5
120.00
4/4

トラックエディターウィンドウの上部にある 3 本のルーラーは、上から順に
メジャー（小節）ルーラー、テンポルーラー、ビート（拍子）ルーラーです。
それぞれの編集ウィンドウの位置に沿った設定ができます。

メジャー（小節）ルーラー

メジャールーラーで設定できるのは以下の 2 つです。

- ソングポジションの表示と移動

  ソングポジション（水色の縦線）は、停止中は再生開始位置を示し、再生中は再生位置を追って移動します。ソングポジションの移動は、メジャールーラー上で任意の位置をクリック、または “トランスポートツールバー”で任意のコントロールボタン ⏮ ⏪ ⏩ ⏭ をクリックします。

- スタートマーカー／エンドマーカーの表示と移動

詳細は、“表示” メニューの スタートマーカー／エンドマーカー をご参照ください。

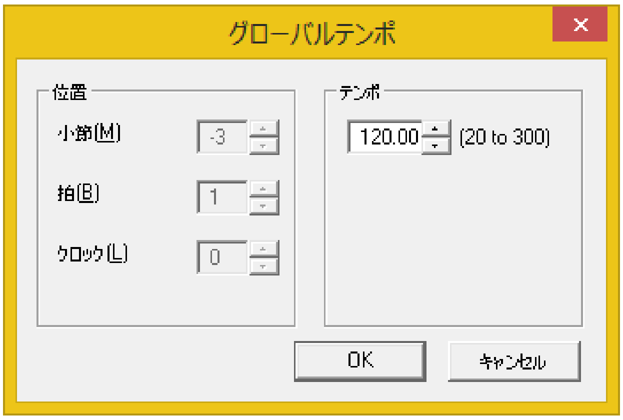
補足

グリッドラインを表示設定にすると、メジャールーラーにも表示されます。

テンポルーラー

曲の始めや途中のテンポを入力／編集できます。

シーケンスの最初のテンポを編集する場合は、左端までスクロールし表示されているテンポ値をダブルクリックし、“グローバルテンポ” ウィンドウを開きます。



位置
小節(M) -3
拍(B) 1
ｸﾛｯｸ(L) 0

ﾃﾝﾎﾟ
120.00 (20 to 300)

位置

テンポチェンジ開始位置（小節 ： 拍 ： クロック）を入力します。

テンポ

変更後のテンポを入力します。（ 初期値：120.00 ）

入力後、［OK］をクリックするとテンポルーラー上の数値が更新され、［キャンセル］をクリックすると変更は中止されます。

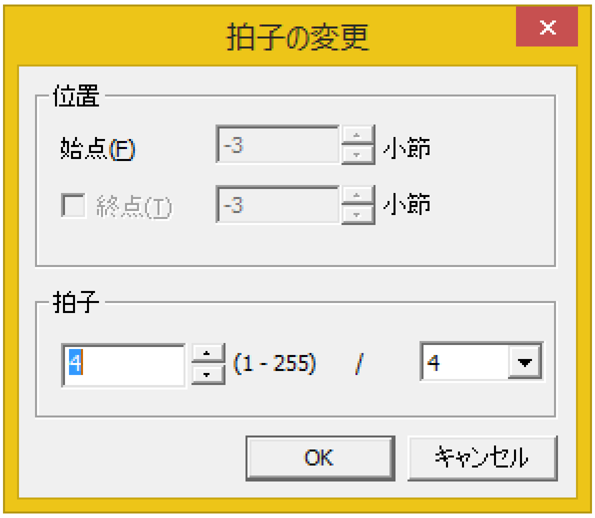
補足

テンポルーラー上で、テンポチェンジさせたい位置を鉛筆ツールでクリックし “グローバルテンポ” ウィンドウを開くと、クリックした位置（小節 ： 拍 ： クロック）の値が「位置」パラメータに表示されます。

ビート（拍子）ルーラー

曲の始めや途中の拍子を入力／編集できます。
シーケンスの最初の拍子を編集する場合は、左端までスクロールし

表示されているビート（拍子）値をダブルクリックし、“拍子の変更” ウィンドウを開きます。


拍子の変更
×
位置
始点(F)
-3
小節
☐ 終点(T)
-3
小節
拍子
4
(1 - 255)
/
4
OK
キャンセル

位置

拍子の変更開始位置（始点、終点）を入力します。

拍子

変更後の拍子を入力します。（ 初期値：4/4 ）

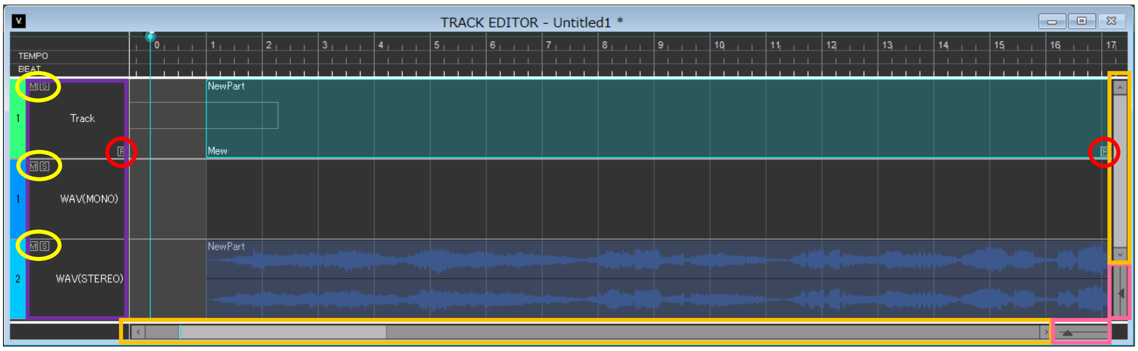
入力後、［OK］をクリックするとビートルーラー上の数値が更新され、［キャンセル］をクリックすると変更は中止されます。

補足

ビートルーラー上で、拍子を変更したい位置を鉛筆ツールでクリックし、“拍子の変更” ウィンドウを開くと、クリックした位置（始点）の値が「位置」パラメータに表示されます。

トラック

トラックエディターには、初期設定で 3 種類のトラックが表示されます。


TRACK EDITOR - Untitled1 *
TEMPO
BEAT
0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
M S
Track
R
NewPart
Mew
WAV(MONO)
WAV(STEREO)

□ … トラックヘッダー
○ … レンダーコントロールボタン
○ … ミュートボタン ／ ソロボタン
□ … スクロールバー
□ … ズームスライダー

□ トラックヘッダー

トラックヘッダーをクリックすると、トラックが選択状態になります。

選択されたトラックはハイライト表示されます。

トラックヘッダーには、トラック名、レンダーコントロールボタン（未合成時）、ミュートボタン／ソロボタンが表示されます。

トラック名を変更したい場合は、トラック名をダブルクリックすると、編集モードになります。

レンダーコントロールボタン

トラックレンダーコントロールボタン

ボタンをクリックしたトラックを合成します。

合成が完了するとボタンは非表示になります。

機能は “トラック” メニューの「選択トラックを合成」と同じです。

パートレンダーコントロールボタン

ボタンをクリックしたパートを合成します。

合成が完了するとボタンは非表示になります。

機能は “パート” メニューの「選択パートを合成」と同じです。

ミュートボタン

任意のトラックからの出力をミュート（遮断）します。

各トラックヘッダー左上にある M ボタンをクリックするとミュート、ハイライトされた M ボタンを再度クリックすると、ミュート解除になります。

この機能はミキサーウィンドウ内にあるミュートボタンと連動しています。

ソロボタン

任意のトラックのみを出力させます。

複数のトラックがある場合、モニターしたいトラックのソロボタン S をクリックすると、他のトラックは自動的にミュートされます。ソロが設定されているトラックはソロボタン S がハイライトされ、それ以外のトラックはミュート

ボタン M がハイライトされます。ソロ設定を解除するには、ハイライトされているソロボタン S を再度クリックします。

この機能は、ミキサーウィンドウ内にあるソロボタンと連動しています。

スクロールバー

矢印をクリック または スクロールハンドルをドラッグすることで、トラックを上下／左右にスクロールして表示できます。

補足

チルトホイール対応マウスをご使用場合、チルトホイール操作で横方向にスクロールさせることもできます。

※ マウスによってはこの機能が動作しない場合や、別途マウスの設定が必要な場合があります。ご使用のマウスのマニュアル等をご参照下さい。

ズームスライダー

横方向のスライダー

トラック表示の横幅を調節できます。

- 右にドラッグ：ズームインでき、パート部分が見やすくなります。
- 左にドラッグ：ズームアウトでき、トラック全体を見やすくなります。

縦方向のスライダー

トラック表示の縦幅を調節できます。

- 上にドラッグ：縦幅が広くなり、パート部分が見やすくなります。
- 下にドラッグ:縦幅が狭くなり、トラック数が多い場合に全体を見やすくなります。

VOCALOID トラック

VOCALOID シーケンストラックです。

VOCALOID4 Editor 上で、最大 **16** トラックまで作成できます。

トラックを追加、名前の変更、切り取り、コピー、削除などの操作ができます。

「 トラックを追加、名前の変更 」などの詳細は、“トラック” メニューを
「 切り取り、コピー、削除 」などの詳細は、“編集” メニューをご参照ください。

補足

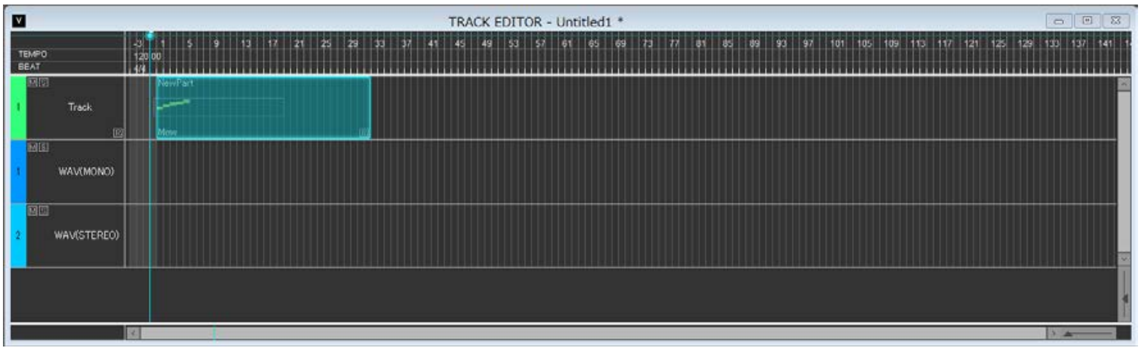
ノートや歌詞、各イベントの入力 および 編集は、“ミュージカルエディターウィンドウ” 内で操作します。

パート

各トラック内にVOCALOIDシーケンスのデータを含む “パート” を作成します。

“パート” は、必要に応じてトラックエディターウィンドウ内で編集できます。

VOCALOID4 Editor を立ち上げた初期状態では、VOCALOID トラックへ自動的に 32 小節のパートが 1 つ作成されます。


TRACK EDITOR - Untitled1 *
TEMPO
BEAT
Track
WAV(MONO)
WAV(STEREO)
NewPart

新しいパートを作成する

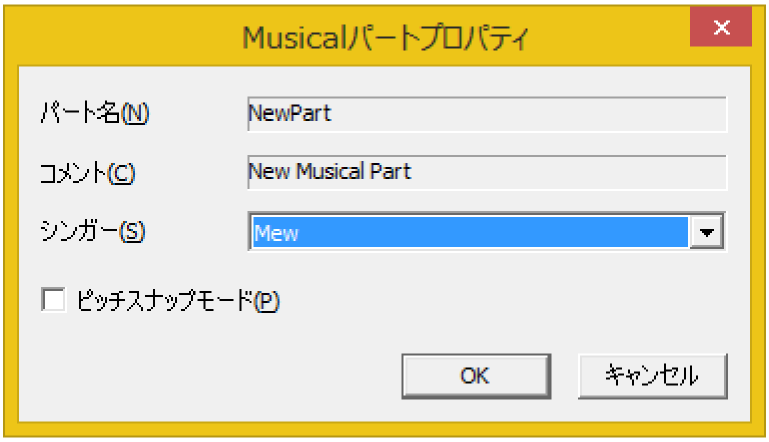
新しいパートを作成するには 2 つの操作方法があります。

■　現在のソングポジション位置から 32 小節のパートを作成

詳細は、“パート” メニューの パートを追加 をご参照ください。

■　任意位置から特定の長さのパートを作成

鉛筆ツールを使って、新しいパートを作成したいトラック上で、任意の位置から、特定のパートの長さをドラッグして範囲指定すると、“Musical パートプロパティ” ウィンドウが表示されます。
（ただし、シンガーが複数インストールされていない場合には表示されません。）


Musicalパートプロパティ

パート名(N)　NewPart
コメント(C)　New Musical Part
シンガー(S)　Mew
☐ ピッチスナップモード(P)

[OK] をクリックすると指定した長さの新しいパートが追加されます。

補足

選択されたシンガー名は、作成したパートの左下に表示されます。

関連：シンガー

編集するパートを選択する

矢印ツール、鉛筆ツール、ラインツールのいずれか１つを使って、編集したいパートを選択します。
コンピュータのカーソルをトラックエディター上の各パート部分に移動させると、カーソルからポイント表示のハンドカーソルに変わります。
選択状態のパートはハイライト表示になります。

パートの選択方法は以下の３つです。

■ １つのパートを選択

任意のパートをクリックします。

■ 同じトラック内で複数のパートを範囲選択

選択したい範囲の先頭と末尾のパートを［Shift］＋ クリック します。
また、矢印ツールを使って任意の範囲をクリック＆ドラッグし、範囲内のパートを選択することもできます。

■ 指定したパートのみ複数選択

選択したいパートを［Ctrl］＋ クリックします。
同じトラック内で連続していないパートの選択や、他のトラックのパートを同時に選択できます。

パート内にノートやコントロールパラメータを入力したい場合は、編集したいパートを１つだけダブルクリックし、ミュージカルエディターウィンドウ内の任意のエリアで編集します。

補足

ミュージカルエディターウィンドウ内に表示できるパートは１つのみです。
選択されていないパート内のノートが、ピアノロールエリア内に細く水平線状に表示されますが、編集できるのは通常表示されている選択パート内のイベントのみです。

関連：編集するノートを選択する

パートを移動する

任意のパートをクリック＆ドラッグして移動します。
移動させたいパートの選択方法は、上述の「編集するパートの選択」と同様です。

補足

- 現在の “クオンタイズ” 設定により、移動させたパートの先頭位置がクオンタイズの拍子位置に自動的にスナップします。
- 複数のパートを同じトラック上でオーバーラップさせると、再生できません。

パートをコピー／貼り付けする

任意のパートをコピー／貼り付けします。
コピーするパートの選択方法は、上述の「編集するパートを選択する」と同様です。

コピー方法は以下の３つです。

■ 編集メニューから操作

コピーしたいパートを選択し、“編集” メニューから「コピー」を選択します。ソングポジションを、コピーしたパートを貼り付けたい位置（パートの先頭になる位置）へ移動させます。貼り付けたいトラックが選択されていることを確認し、“編集” メニューから「貼り付け」を選択します。

■ ショートカットキーで操作

コピーしたいパートを選択し、キーボードから [Ctrl] + [C] を押します。
[Ctrl] + [V] を押してコピー／貼り付けを実行できます。

■ [Ctrl] キーを押しながらクリック＆ドラッグで操作

[Ctrl] キーを押しながらコピーするパートをクリック＆ドラッグして、
コピーしたパートを貼り付けたい位置に移動させます。

補足

- 現在の“クオンタイズ” 設定により、貼り付けたパートの先頭位置がクオンタイズの拍子位置に自動的にスナップします。
- 複数のパートを同じトラック上でオーバーラップさせせると、再生できません。

パートをリサイズ（長さ調節）する

任意のパートをリサイズ（長さ調節）します。
リサイズするパートの選択方法は、上述の「編集するパートを選択する」と同様です。
パートの左端や右端に、矢印ツールや鉛筆ツールを移動させると赤色のストレッチ（両方向矢印）マークが表示されます。任意のパートの長さへクリック＆

ドラッグで調節ができます。パートの右端は左右方向にパートを長さ調節でき、パートの左端は左方向にのみパートを長く調節できます。

また、パートの右端をダブルクリックすると、パート内のノートを考慮してパートが最適な長さに自動調節されます。

補足

消しゴムツールが選択されている場合は、この赤いストレッチマークは表示されません。

関連：ノートをリサイズする

パートを削除する

任意のパートを削除します。

削除するパートの選択方法は、上述の「編集するパートを選択する」と同様です。

削除方法は以下の３つです。

■ 編集メニューから操作

削除するパートを選択し、“編集”メニューから「削除」を選択します。

■ [Delete] キーで操作

削除するパートを選択し、キーボードの [Delete] キーを押します。

■ 消しゴムツールで操作

消しゴムツールで、削除するパートをクリックします。

WAV（MONO）トラック

モノラルのWaveファイル用のトラックです。

モノラルのWaveファイルは、“ファイル” メニューの「インポート」より、読み込みます。

WAV（MONO）トラックは、ボーカルの息使い（ブレス）や声の短いクリップ音など、エフェクト効果音を読み込む場合に最適です。

WAV（STEREO）トラック

ステレオのWaveファイルのトラックです。

ステレオのWaveファイルは、“ファイル” メニューの「インポート」より、読み込みます。

WAV（STEREO)トラックは、シンガーの伴奏やカラオケを読み込む場合に最適です。

右クリック表示メニュー（トラック）

トラック上で 右クリック または キーボードキーの [Shift] + [F10] を押すと、コンテキストメニューが開きます。

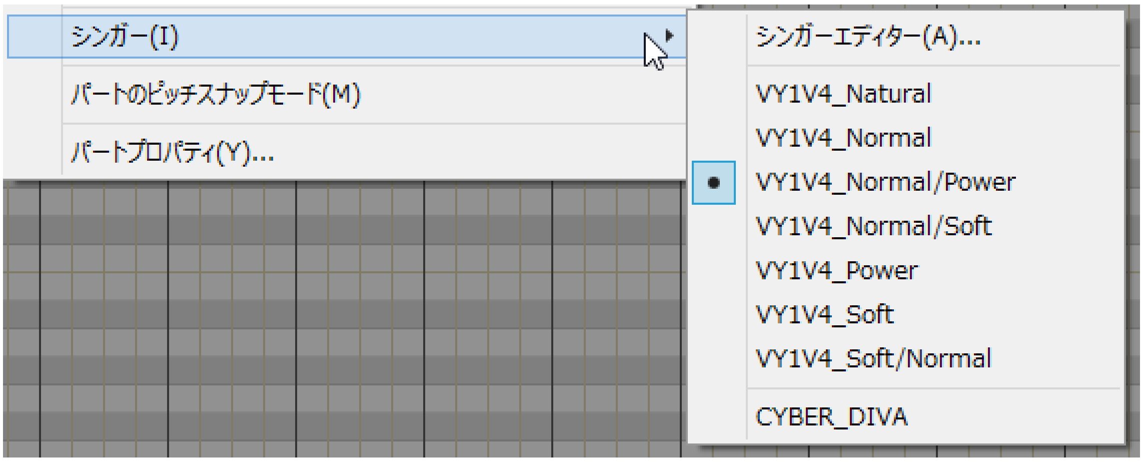
詳細は、本マニュアル “付録” より「右クリックメニュー」をご参照ください。

シンガー

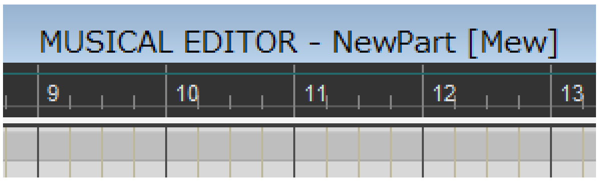
シンガーとは、VOCALOID Editor で作成したシーケンスを歌わせる（発音させる）VOCALOID “歌声ライブラリ” のことです。
歌声ライブラリによって、男性の声や女性の声、対応する言語などが異なります。別途、対象 VOCALOID 歌声ライブラリ（別売）を追加することもできます。
詳しくは、「VOCALOID™ / ボーカロイド 公式サイト」をご覧ください。
http://www.vocaloid.com/

シンガーの選択

新しい VOCALOID4 シーケンスファイルを作成すると、トラックエディターの初期状態のパートに自動的にデフォルト（初期状態）のシンガーが設定されます。現在選択されているシンガーを他の使用可能なシンガーに変更する場合は、トラックエディターウィンドウ または ミュージカルエディターウィンドウ内で右クリック（または［Shift］＋［F10］）より「シンガー」をクリックし、表示された使用可能なシンガーのリストから設定します。


シンガー(I)
パートのピッチスナップモード(M)
パートプロパティ(Y)...
シンガーエディター(A)...
VY1V4_Natural
VY1V4_Normal
● VY1V4_Normal/Power
VY1V4_Normal/Soft
VY1V4_Power
VY1V4_Soft
VY1V4_Soft/Normal
CYBER_DIVA

使用したいシンガーを設定（クリック）すると、設定されたシンガー名がトラックエディターウィンドウ内の現在選択されているパートの左下と、ミュージカルエディターウィンドウ上部のタイトルバー内に表示されます。


MUSICAL EDITOR - NewPart [Mew]
9
10
11
12
13

＜例＞
パート名［シンガー］：NewPart［Mew］

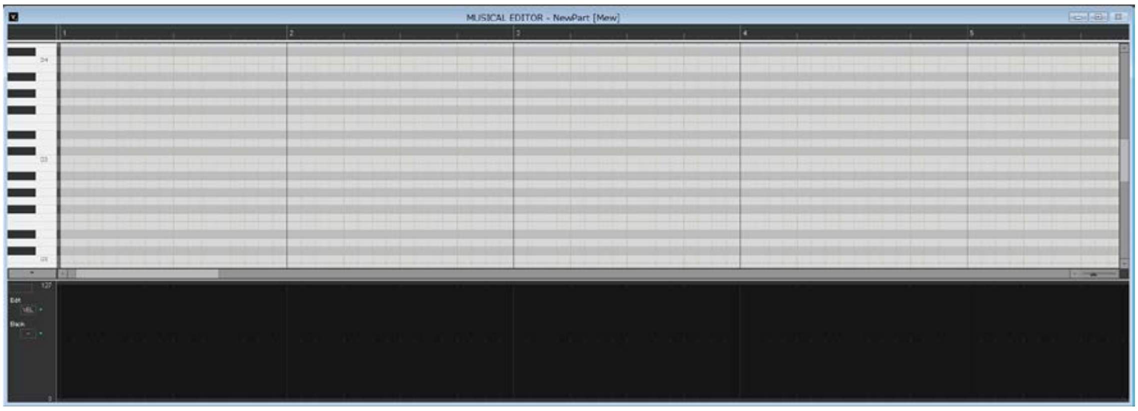
シンガーのカスタマイズ

シンガーを自由にカスタマイズします。
“設定” メニューから「シンガーエディター」を選択すると “シンガーエディター” ウィンドウが表示されます。

詳細は、“設定” メニューの「シンガーエディター」をご参照ください。

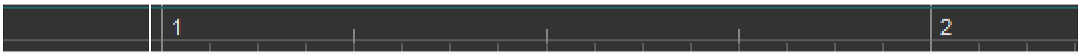
ミュージカルエディターウィンドウ

ミュージカルエディターウィンドウでは､初期設定で 1 種類の “ルーラー” と、ピアノロールエリア、コントロールパラメータエリアが存在します。



ミュージカルエディターウィンドウ内の操作をする場合は、
ミュージカルエディターウィンドウを最小化以外で表示します。
表示方法は、“ウィンドウ” メニューをご参照ください。

ルーラー



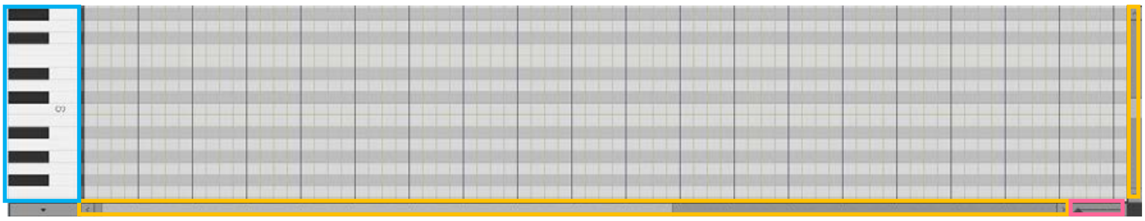
ミュージカルエディターウィンドウの上部にあるルーラーは、メジャー（小節）ルーラーです。任意の位置をクリックして、ソングポジション（水色の縦線）の表示と移動の操作ができます。

補足

ミュージカルエディターウィンドウを閉じる場合は、右上の閉じるボタン [×] をクリックします。あらためて表示させる場合は、トラックエディターウィンドウ内の Musical パートをダブルクリックします。

ピアノロールエリア

ノートや歌詞の入力／編集を行うエリアです。



□ 鍵盤

ノートの音高を把握できます。表示される鍵盤の範囲は、C-2～G8 です。
また、鍵盤を ［Ctrl］ を押しながらクリックすると、クリックした音高のノートをすべて選択できます。

□ スクロールバー

矢印をクリック または スクロールハンドルをドラッグすることで、ピアノロールエリアを上下／左右にスクロールして表示できます。

補足

チルトホイール対応マウスをご使用場合、チルトホイール操作で横方向にスクロールさせることもできます。

※ マウスによってはこの機能が動作しない場合や、別途マウスの設定が必要な場合があります。ご使用のマウスのマニュアル等をご参照下さい。

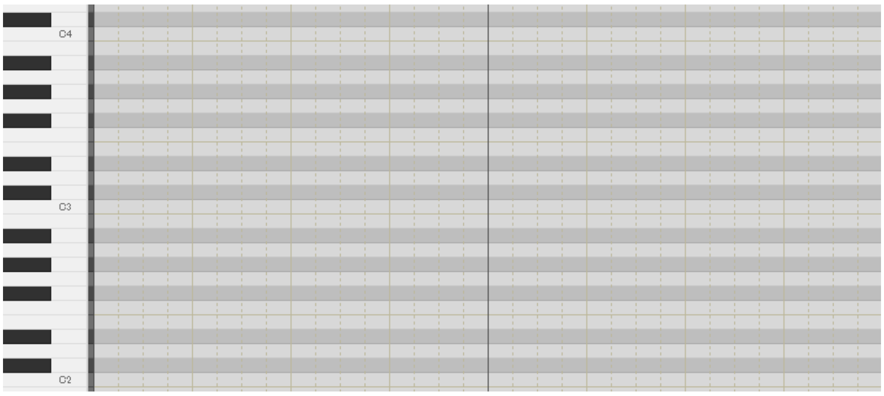
ズームスライダー

ピアノロールエリア表示の横幅を調整できます。

- 右にドラッグ：ズームインでき、パート部分が見やすくなります。
- 左にドラッグ：ズームアウトでき、トラック全体を見やすくなります。

ピアノロール

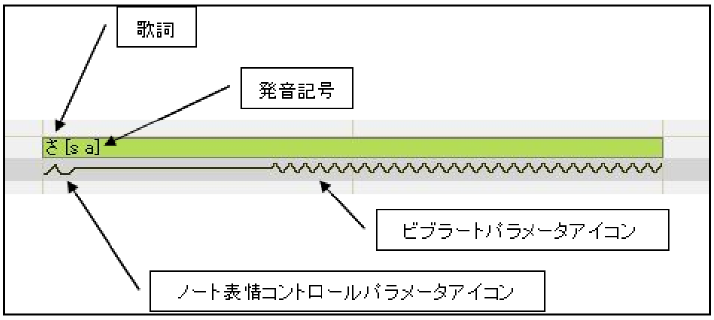
ノートと歌詞を入力する画面です。



ノート（音符）

ピアノロールエリアに入力されたノートには、音高や位置の他に、次のような情報が含まれます。

- 歌詞
- 発音記号
- 発音記号のプロテクト
- 表情コントロールパラメータ
- ビブラートパラメータ


歌詞
発音記号
さ [s a]
ビブラートパラメータアイコン
ノート表情コントロールパラメータアイコン

補足

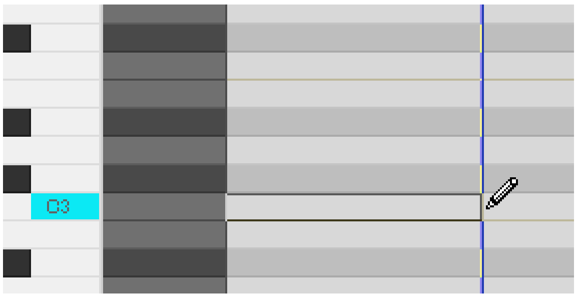
「ノートプロパティ」で編集できます。

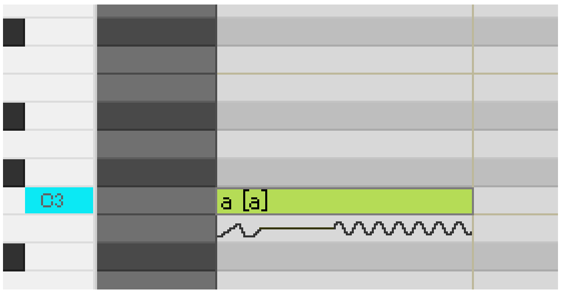
編集（矢印、鉛筆、ライン）ツールで既に入力したノートをドラッグすると、ノートの位置を調節できます。ノートの先頭または末尾をドラッグすると、ノートの長さを調節できます。
ノートをダブルクリックすることで、歌詞の編集状態に移行します。
歌詞編集中に [Alt] + [Up] を押下することで、発音記号の編集状態に移行できます。

ノートを入力／編集する

鉛筆ツールを使って、ピアノロールエリア内でノートを入力／編集します。
“設定” メニューより「クオンタイズ」、「パート/ノートの長さ」、「固定長ノート入力」を “オフ” に設定しておくと、ピアノロール上でマウスをドラッグさせた長さ分のノートを入力できます。
ノートの長さはピアノロールの上にあるメジャールーラーで確認できますが、“表示”メニューより「グリッドライン」をオンに設定すると、「クオンタイズ」の設定に準じてグリッドラインが表示され、より正確にノートを入力しやすく

なります。マウスカーソルの現在位置（小節 ： 拍 ： クロック）は、ピアノロールの上にあるメジャーツールバー内のカーソルインジケーターへ表示されます。また、“設定” メニューより “プリファレンス” ウィンドウの “その他” タブ内にて「合成音のサンプル出力」を “有効にする” に設定しておくと、ピアノロールエリアで左側に表示される鍵盤をクリック、またはノートをクリック＆ホールドしたときにサンプル音が出力され、音高の確認ができます。





補足

休符は、ノート間に任意のスペースを開けることによって設定されます。

トラックエディターウィンドウ内で選択されたパートの長さ以外の範囲では、ピアノロールが暗く表示されます。その場合、続けてノートを入力することはできますが、トラックエディターウィンドウ内に表示にされるのは、ハイライトされた（パートの長さの範囲内の）ピアノロール内に入力されたノートのみです。

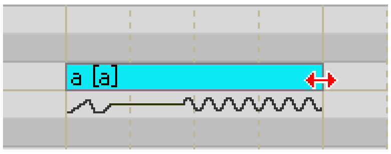
また、シーケンス再生時に発音されるのも、パートの範囲内に入力されたノートのみです。パートの範囲外にノートを入力した場合は、トラックエディターウィンドウ内で、パートの長さを調節してください。

編集するノートを選択する

複数のノートを選択する方法は、
編集するパートを選択する操作と同様です。
複数のノートを同時にリサイズ、移動、コピー、貼り付けなどの編集ができます。

ノートをリサイズ（長さ調節）する

任意のノートをリサイズ（長さ調節）します。
調節方法はパートをリサイズする操作と同様です。
マウスカーソルをノートの端に移動すると、赤い矢印の “ストレッチマーク ⇔” が現れます。ストレッチマークをクリック＆ドラッグすると、任意ノート長に調節できます。

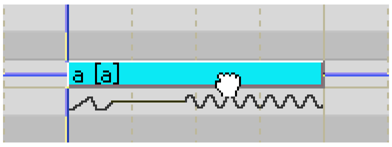


補足

“ノートの長さ” および “固定長ノート入力” が設定されている場合、ノートを伸ばした際に、設定に従ってノートの末尾が自動調節されます。

ノートを移動する

マウスカーソルをノートの上に移動すると、手の形をした “ハンドカーソル” が現れます。そのままマウスをドラッグさせ、ノートの位置や音高を移動できます。



補足

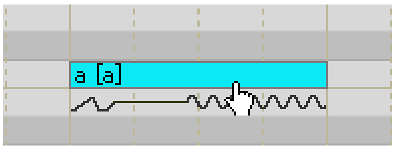
・カーソルキーを使って、ピアノロール上のノートを上下に移動できます。

カーソル上：選択されたノートを半音上げる
カーソル下：選択されたノートを半音下げる
カーソル右：ひとつ右のノートを選択
カーソル左：ひとつ左のノートを選択
[Shift]+カーソル上：選択されたノートを１オクターブ上げる
[Shift]+カーソル下：選択されたノートを１オクターブ下げる
[Shift]+カーソル右：選択範囲を右にひとつ拡げる
[Shift]+カーソル左：選択範囲を左にひとつ拡げる

・“クオンタイズ” が設定されている場合、ノートを移動させた際に、ノートの先頭が設定に従って自動的にスナップします。

ノートをコピー／貼り付ける

手の形をした “ハンドカーソル” の状態で、キーボードの [Ctrl] キーを押しながらノートをドラッグさせせると、1 つまたは 選択した複数のノートを任意の場所（位置、音高）へコピーできます。上述のノートを移動する場合と同様に、“クオンタイズ” が設定されている場合、コピー／貼り付けを実行した際に、ノートの先頭が設定に従って自動的にスナップします。



◆ “編集” メニューの「切り取り」「コピー」「貼り付け」でも、それぞれの操作ができます。その場合、貼り付け先はソングポジションの位置になります。

ノートを削除する

入力したノートは、消しゴムツールでクリックするか、その他のツールでクリックしてハイライトさせてからキーボードの [Delete] キーを押すことで削除できます。また複数のノートをまとめて削除したいときは、消しゴムツールでドラッグするか、または矢印ツールでて削除したいノートがある範囲をドラッグして指定した後に [Delete] キーを押します。

◆ “編集” メニューの「削除」からも、同じ操作ができます。

ビブラート

ビブラートの編集方法は以下の２通りです。

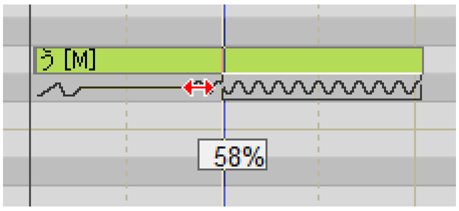
■ ビブラートプロパティで設定する

詳細は、“ビブラートプロパティ” をご参照ください。

■ ノート下部のビブラートをドラッグして調節する

補足

ノート下部のビブラートを［Alt］キーを押しながらドラッグすると、ビブラート長の微調節が可能です。

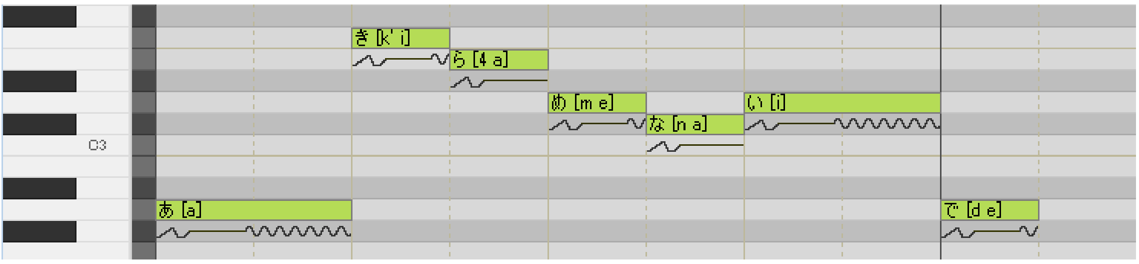


歌詞／発音記号

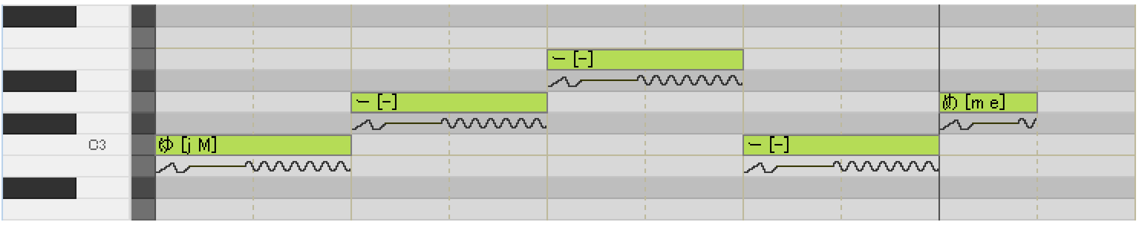
歌詞と発音記号の入力／編集をします。

歌詞の入力と編集

ノート入力をすると、自動的にデフォルトの歌詞（例えば英語の場合は『 Ooh 』、日本語の場合は『 a 』）も合わせて入力／表示されます。
デフォルトの歌詞はダブルクリックすると編集状態になり、好きな歌詞に編集できます。現在編集中のノートに歌詞を入力後 [Tab] キーを押すと、次のノートが編集状態になります。
日本語のシンガーを選択した場合は、日本語の歌詞をローマ字、ひらがな、カタカナで入力できます。ローマ字で入力した歌詞は、カタカナの発音で歌われます。
“ジョブ” メニューより「歌詞の流し込み」機能を使うと、ノートに１つずつ歌詞を入力するだけでなく、複数のノート全体の歌詞を一度に自動挿入できます。ローマ字で入力するときは、文字間に空白を入れる必要があります。



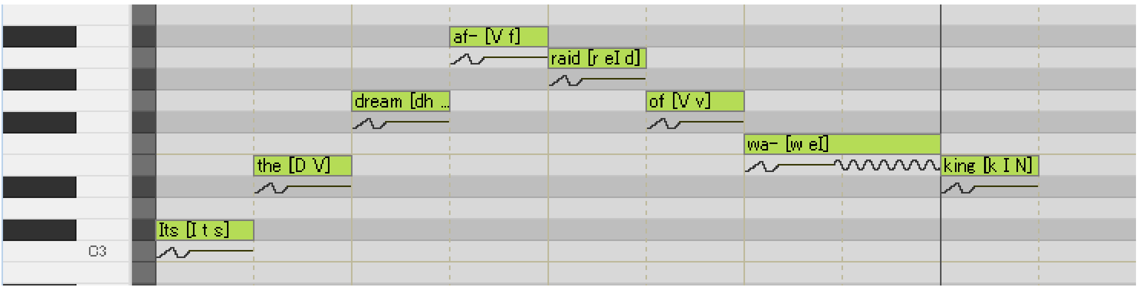
また、１つのノートにハイフン『 - 』のみを入力した場合は、前のノートの発音を引き継ぎます。


C3
ゆ [j M]
ー [-]
ー [-]
ー [-]
め [m e]

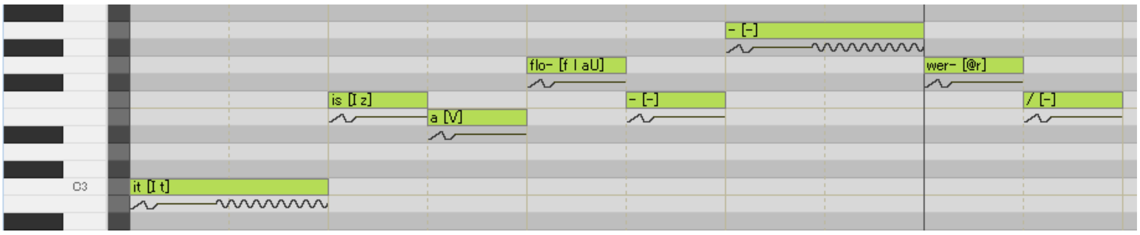
英語のシンガーで入力する際など、１つのノートに１つの単語が入る場合もありますが、多くの場合は１つのノートに入るのは１音節ずつで、１つの単語が複数のノートに割り振られます。

次の音節に続けたい場合は、音節の後にハイフン『 - 』を入力します。

例えば、下図のように『afraid』や『waking』を『af-raid』や『wa-king』のように２つのノートにまたがせて入力します。


C3
Its [I t s]
the [D V]
dream [dh ...
af- [V f]
raid [r eI d]
of [V v]
wa- [w eI]
king [k I N]

日本語同様に、次の音節に続けたい場合は、音節の後にハイフン『 - 』を入力し、さらに単語の語尾を複数のノートにまたがせたい場合は、末尾のノートに『 / 』を入力します。


C3
it [I t]
is [I z]
a [V]
flo- [f l aU]
- [-]
- [-]
wer- [@r]
/ [-]

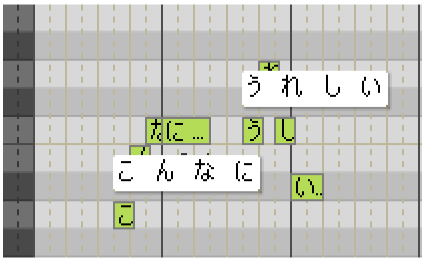
発音記号の編集

“歌詞” メニューの「ノートプロパティ」より 発音記号の編集 ができます。

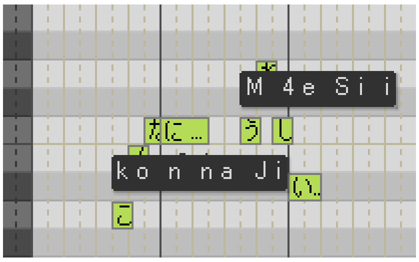
フレーズ歌詞/発音記号表示

フレーズごとに歌詞／発音記号を表示できます。

- フレーズ歌詞表示： [Ctrl] + [L] をクリックします。


うれしい
なに…
う
し
こんなに
い..
こ

- フレーズ発音記号表示： [Ctrl] + [Shift] + [L] をクリックします。


M 4e Si i
なに…
う
し
ko n na Ji
い..
こ

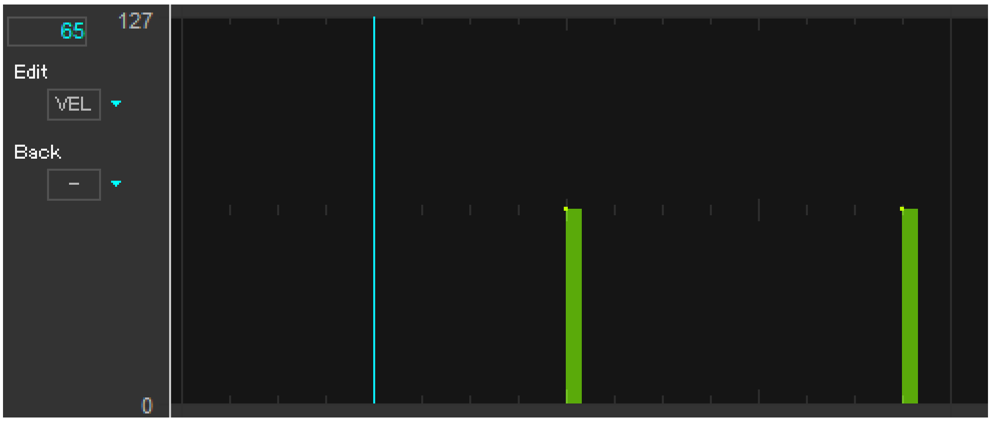
右クリック表示メニュー（ピアノロールエリア）

ピアノロール上で 右クリック または キーボードキーの [Shift] + [F10] を押すと、コンテキストメニューが開きます。

詳細は、本マニュアル “付録” より「右クリックメニュー」をご参照ください。

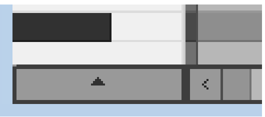
コントロールパラメータエリア

各コントロールパラメータの入力／編集を行うエリアです。

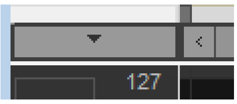


コントロールパラメータエリアは、“表示” メニューから「コントロールパラメータ」をクリック、または ピアノロールエリア下部のスクロールバー左端に　表示された折りたたみマーク（三角マーク▲）をクリックして、表示／非表示を切り替えます。

非表示時



表示時



補足

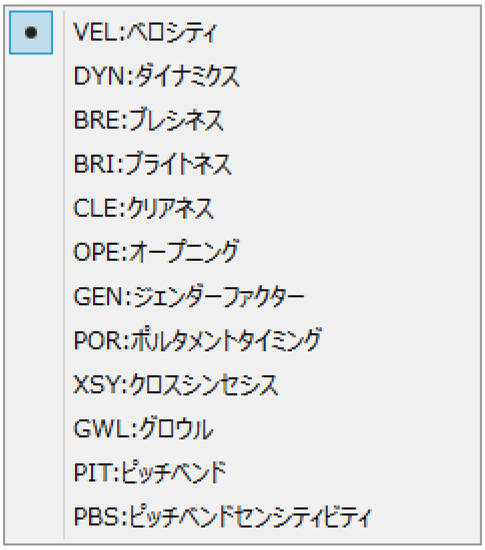
コントロールパラメータエリアとピアノロールの間のセパレータをドラッグすると、縦方向のリサイズができます。最小で半分のサイズまでリサイズできます。

コントロールパラメータの表示

編集するパラメータ（Edit）と透過表示させるパラメータ（Back）をそれぞれ選択します。

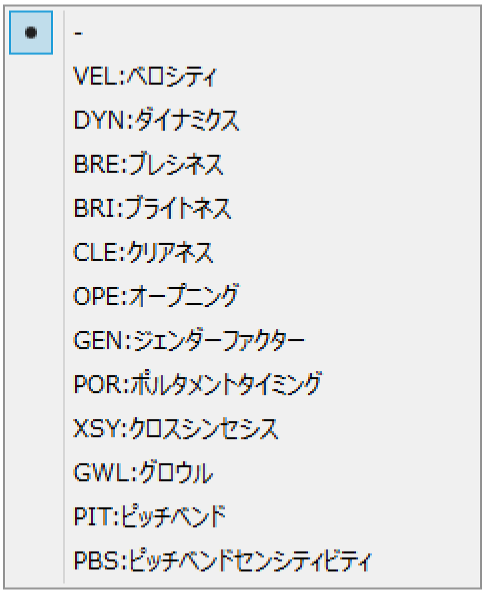
Edit

編集するパラメータを選択します。


● VEL:ベロシティ
DYN:ダイナミクス
BRE:ブレシネス
BRI:ブライトネス
CLE:クリアネス
OPE:オープニング
GEN:ジェンダーファクター
POR:ポルタメントタイミング
XSY:クロスシンセシス
GWL:グロウル
PIT:ピッチベンド
PBS:ピッチベンドセンシティビティ

Back （ ※ 編集はできません。）

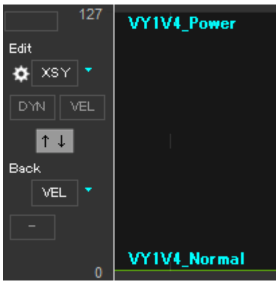
透過表示するパラメータを選択します。


● -
VEL:ベロシティ
DYN:ダイナミクス
BRE:ブレシネス
BRI:ブライトネス
CLE:クリアネス
OPE:オープニング
GEN:ジェンダーファクター
POR:ポルタメントタイミング
XSY:クロスシンセシス
GWL:グロウル
PIT:ピッチベンド
PBS:ピッチベンドセンシティビティ

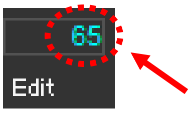
「-」… 透過表示無し

補足

- Edit に「XSY」を選択すると、左横に “シンガーエディター” を開くことのできる設定マーク ⚙ が表示されます。（下図参照）プライマリシンガーは下段、セカンダリシンガーは上段へ表示されます。



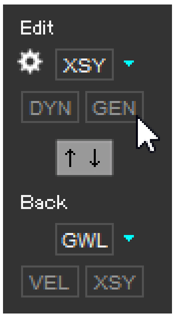
- Edit で選択したパラメータの入力数値は、Edit 欄の上に表示されます。



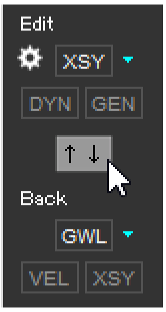
マウスカーソルが置かれた位置に入力された数値を表示します。
表示された数値を直接クリックしても入力はできません。

- 使用していたパラメータ（２つ前まで）を、それぞれの欄の下に表示された履歴ボタンから再選択できます。

※ 履歴がない場合、履歴ボタンは表示されません。


Edit
XSY
DYN
GEN
↑ ↓
Back
GWL
VEL
XSY

- Edit と Back で選択したパラメータを、Edit と Back の間に表示された入れ替えボタン ↑ ↓ で変更できます。


Edit
XSY
DYN
GEN
↑ ↓
Back
GWL
VEL
XSY

※ Back にパラメータを選択していない場合、入れ替えボタンは表示されません。

◆ コントロールパラメータ上で右クリックをして表示される“右クリックメニュー”の「Edit と Back を入れ替え」から入れ替えることもできます。

コントロールパラメーター覧表

各パラメータの略称と意味は以下の通りです。

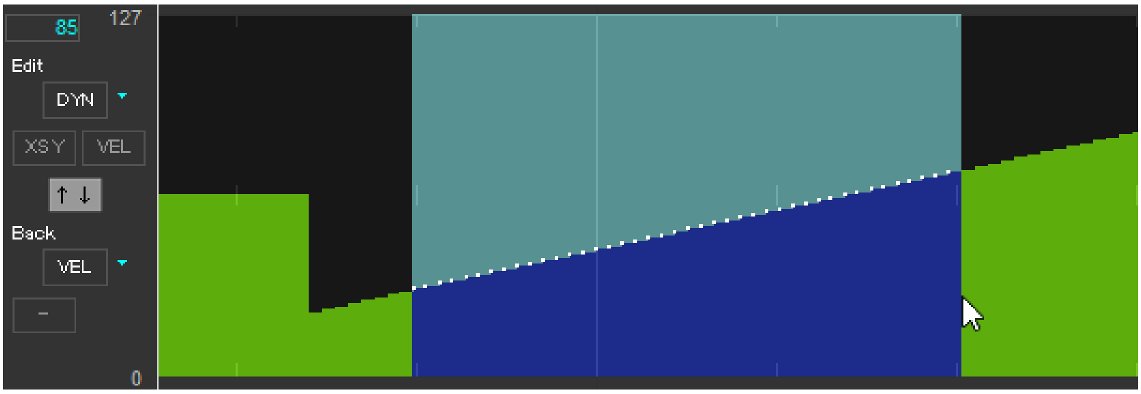
パラメータ 名	初期値	説明
VEL (ベロシティ)	64	子音の長さを調節します。値を高くすると子音が短くなり、低くすると子音が長くなります。
DYN (ダイナミクス)	64	発音の大きさを調節します。値を高くすると大きな発音になり、低くすると小さな発音になります。
BRE (ブレシネス)	0	発音に混ぜる息の量を調節します。値を高くすると、より息を混ぜた発音になります。
BRI (ブライトネス)	64	発音の明るさを調節します。値を高くすると明るくきらびやかな発音になり、低くすると落ち着いた穏やかな発音になります。
CLE (クリアネス)	0	発音の透明さを調節します。値を高くすると澄んだ発音になり、値を低くするとこもった重たい発音になります。
OPE (オープニング)	127	発音の明瞭さ（口の開けぐあい）を調節します。値を高くするとはっきりとした発音になり、低くするとあいまいな発音になります。
GEN (ジェンダーファクター)	64	発音のフォルマントを調節します。値を高くすると男性的な発音になり、値を低くすると女性的な発音になります。
POR (ポルタメントタイミング)	64	発音のピッチが変わる位置を調節します。値を高くすると遅く変化し、値を低くすると早く変化します。
XSY (クロスシンセシス)	0	プライマリとセカンダリに設定したそれぞれのシンガーの声色を混合させる比率を調節します。値を高くするとセカンダリの成分が多くなります。
GWL (グロウル)	0	うなり声の度合いを調節します。 値を高くするとより力強い声質になります。
PIT (ピッチベンド)	0	発音のピッチを調節します。(調節範囲:-8192～8191) 0 に設定すると、ピッチの変化はなくなります。
PBS (ピッチベンド センシティビティー)	2	PIT の感度を調節します。 12（12 半音）に設定すると、PIT の設定値が 0 から 8191 のときに、ピッチが 12 半音（1 オクターブ）上がります。 0 に設定すると、PIT を入力してもピッチは変化しません。

コントロールパラメータの入力／編集

各編集ツールを使って、任意のパラメータの入力／編集をします。

矢印ツール

矢印ツールは、パラメータのコントロールカーブを部分的に選択します。
選択した値は切り取り または コピーをして別の場所（ソングポジションの位置）へ貼り付けることもできます。また、矢印ツールで選択した後、キーボードの［Delete］キーを押すと、選択部分が消しゴムツール使用時と同様に、値が削除されフラットに描かれます。フラットになる部分のパラメータ値は、選択した範囲の一番左端の値になります。矢印ツールでパラメータエリアを選択した際、実際にパラメータ入力された部分がドット（点）表示されます。



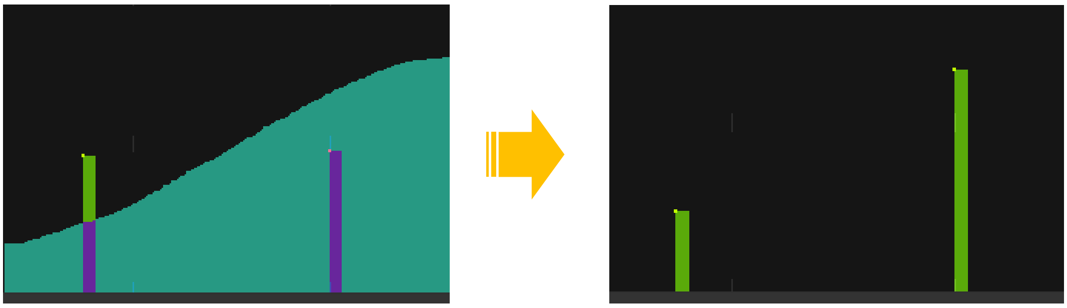
鉛筆ツール

鉛筆ツールは、パラメータのコントロールカーブを入力します。
ベロシティ（VEL）または オープニング（OPE）を Edit に選択している場合、ドラッグして描いたコントロールカーブ上で、各ノートの開始位置の値が縦棒

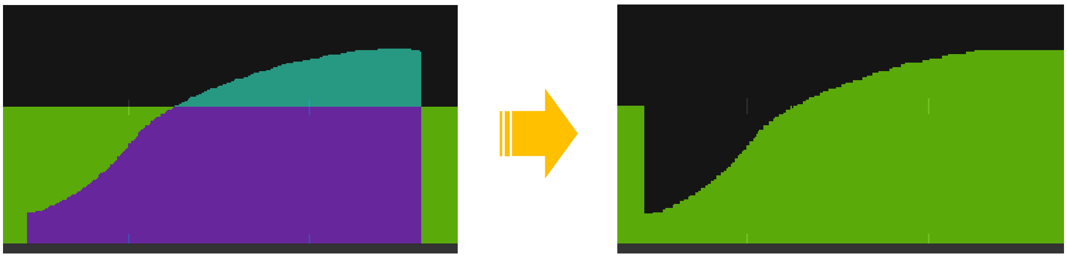
表示されます。その他のパラメータを選択している場合は、鉛筆ツールで描いたコントロールカーブがそのままコントロールカーブになります。

キーボードマウスをドラッグ中　　　　離したとき

[**VEL** / **OPE**]



[**VEL** / **OPE** 以外]



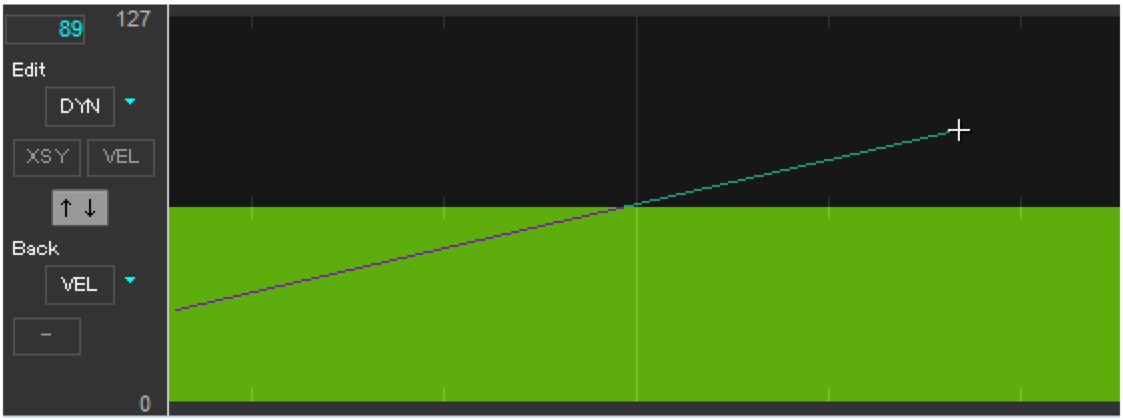
補足

コントロールパラメータエリアで鉛筆ツールを使用する場合に、クリックを長押しするとブレークポイントを 1 つだけ入力できます。

ラインツール

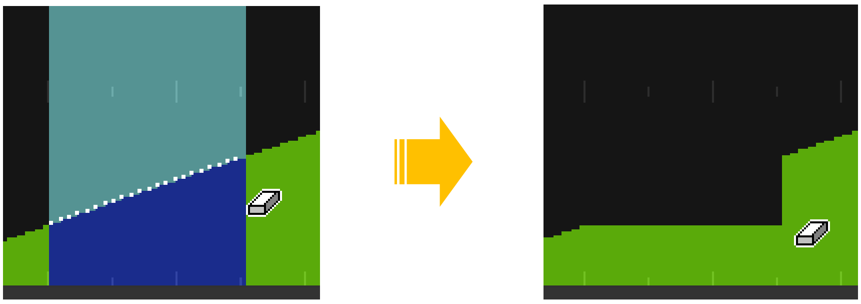
ラインツールは、直線でコントロールパラメータ値を入力します。

ドラッグの開始地点から終了地点までを直線で結び、描かれた直線上の値がパラメータ値として入力されます。ベロシティ（VEL）と オープニング（OPE）では鉛筆ツールと同様に、各ノートの開始位置の値が縦棒表示されます。



消しゴムツール

消しゴムツールは、入力したコントロールパラメータ値を削除します。ドラッグした範囲内に入力された値を削除し、ドラッグの開始地点から終了地点までをフラットな描画にします。ベロシティ（VEL）と オープニング（OPE）では初期値（VEL:64／OPE:127）に戻ります。



右クリック表示メニュー（コントロールパラメータエリア）

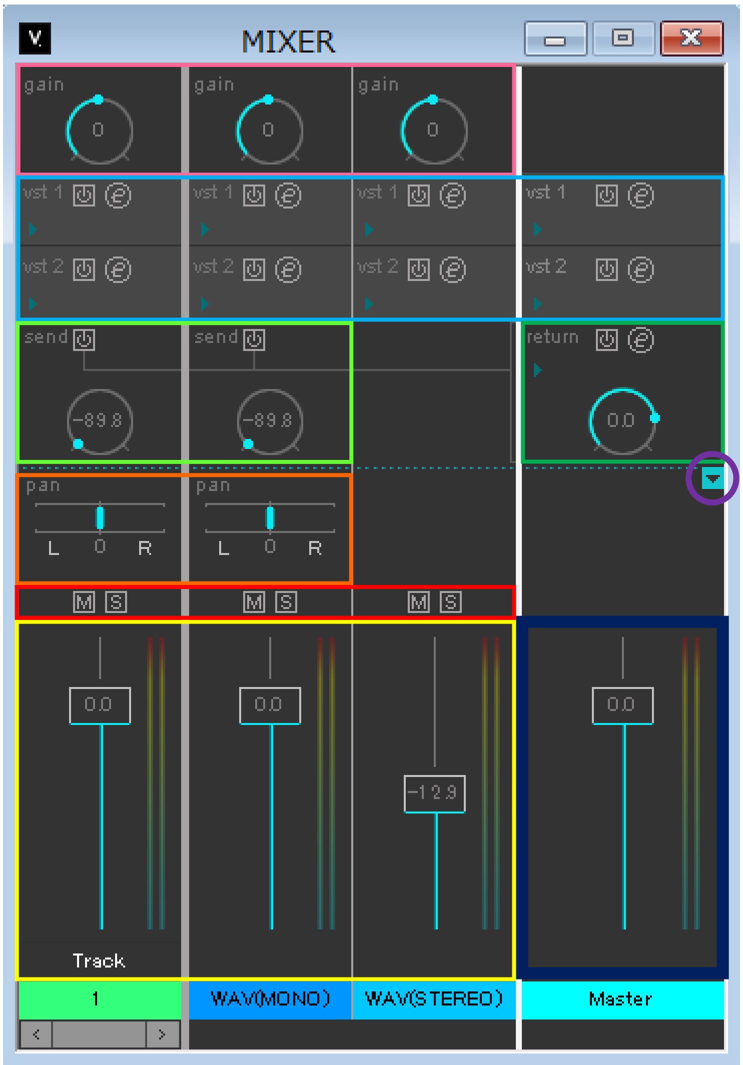
コントロールパラメータエリア上で右クリック または キーボードキーの [Shift] + [F10] を押すと、コンテキストメニューが開きます。

詳細は、本マニュアル “付録” より「右クリックメニュー」をご参照ください。

ミキサーウィンドウ

シーケンス全体の出力バランスを調整します。

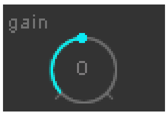
ミキサーウィンドウは、“表示” メニューの「ミキサー」より表示できます。
初期設定では表示されていません。
閉じる場合は、ミキサーウィンドウ右上のクローズボタンをクリックするか、
“表示” メニューより「ミキサー」を再度クリックします。


MIXER
gain
0
vst 1
vst 2
send
-89.8
return
0.0
pan
L
0
R
M
S
0.0
-12.9
Track
1
WAV(MONO)
WAV(STEREO)
Master

□ … 入力ゲイン（gain）
□ … VST プラグイン（vst）

🟩 … センド（Send）
🟩 … リターン（return）
🟧 … パン（Pan）
🟥 … ミュートボタン ／ ソロボタン
🟨 … トラックフェーダー
🟦 … マスターフェーダー
🟣 … 折りたたみボタン

入力ゲイン（gain）

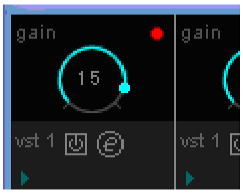


設定範囲：-20 ～ 20dB（デシベル値）

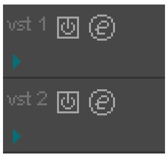
各トラック（VOCALOID シーケンス、WAV[MONO/STEREO]）の入力ゲインを個別に調節します。ゲインつまみをクリック＆ホールドし、上下/左右にドラッグさせせながら調節します。また、ゲインつまみの中央部分に表示されている設定値をダブルクリックし、数値を直接入力することもできます。

［Ctrl］を押しながら設定値をクリックすると初期値（0）に戻ります。

再生中にトラックからオーディオ入力がある場合は、ゲインつまみの右上に表示される入力インジケーターは緑色に点灯します。入力レベルが過大になる（クリップする）と点灯は赤色になります。“設定” メニューより「プリファレンス」の“ウィンドウ” タブで、ミキサー欄の “ピークホールドする” がオンに設定されている場合は、クリップした際に赤く表示されるピークインジケーター（下図）が点灯したままの状態（ホールド状態）になります。ホールド状態を解除するには、赤くなっているピークインジケーターをクリックします。



VSTプラグイン（vst）



各トラック（VOCALOIDシーケンス、WAV[MONO/STEREO]）にVSTエフェクトをインサートします。

各トラックで個別に2つのVSTプラグインを設定できます。

各VSTプラグイン表示内のポインターマークをクリックすると使用可能なエフェクトがリスト表示されます。インサートしたいVSTプラグインをクリックして設定します。VSTプラグインを設定後、⏻ スイッチをクリックし、オン/オフを設定します。また、ⓔ スイッチをクリックすると、VSTプラグイン編集ウィンドウの表示／非表示が切り替わります。

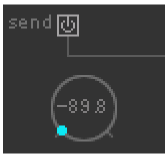
VOCALOID トラック と WAV[MONO]トラックでは、それぞれ「モノラル入力 / モノラル出力」と「モノラル入力 / ステレオ出力」の両方でエフェクトをインサートできます。WAV[STEREO]トラック と マスタートラックでは、「ステレオ入力 / ステレオ出力」としてVSTプラグインをインサートできます。

すべてのVSTプラグインは、各トラックのプリフェーダー（フェーダーの手前）にインサートされますので、フェーダーのレベルによってVSTプラグインのレベルは左右されません。

初期設定で管理されているVSTプラグインは“V3Comp”と“V3Reberb”で、実体は、VOCALOID4プログラムフォルダ内に含まれる“VSTplugins”フォルダに置かれています。（その他のVSTプラグインを追加したい場合には、“設定”メニューより“VSTプラグイン”をクリックして、“VSTプラグインの管理”より設定します。）

それぞれのVSTプラグインが正確にインストールされると、ミキサーウィンドウのVSTプラグイン または send/return で選択できます。

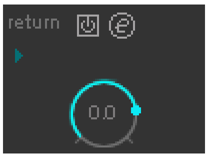
センド（send）



設定範囲：-89.8 ～ 6.0dB（デシベル値）

各トラックからの出力を、マスタートラックの“return”にインサートされたVST エフェクトへ送る設定ができます。センドつまみを左右／上下にドラッグし、“return”へ送られる信号のレベルを調節します。
また、センドつまみの中央部分に表示されている設定値をダブルクリックし、数値を直接入力することもできます。
[Ctrl] を押しながら設定値をクリックすると初期値（-89.8）に戻ります。
センドレベルは、トラックフェーダーの設定値により左右されます。
WAV[STEREO]トラックでは、センド機能の設定はできません。

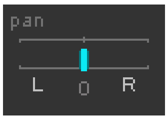
リターン（return）



設定範囲：-89.8 ～ 6.0dB（デシベル値）

マスタートラックには、各トラックの“send”から送られた出力をまとめて総出力する リターン機能がインサートされています。
リターンでは、各 VST プラグインと同様に、プラグインリストから任意のエフェクトを選択して使用できます。リターンつまみは、マスタートラックの出力へミックスするリターンの出力を調節します。リターンつまみの中央部分に表示されている設定値をダブルクリックし、数値を直接入力することもできます。
[Ctrl] を押しながら設定値をクリックすると初期値（0）に戻ります。

パンスライダー（pan）



設定範囲：-64(L) ～ 0 ～ 64(R)

各トラック（ VOCALOID シーケンス、WAV[MONO] ）のパンポジション（定位）を設定します。各トラックフェーダーの上にある横向きのスライダーを左右にドラッグして、各トラックのパンポジションを調節します。設定値は、パンコントロールの下（中央）に表示されます。設定値をダブルクリックし、数値を直接入力することもできます。

[Ctrl] を押しながら設定値をクリックすると初期値（0）に戻ります。

ミュートボタン

任意のトラックの出力をミュート（遮断）します。

各トラックフェーダー上部に表示されるミュートボタン M をクリックすると、ミュートボタンがハイライトされ、トラックからの出力をミュートします。

ハイライトされたミュートボタン M をクリックすると、ミュート機能は解除されます。

◆ この動作はトラックエディターウィンドウ内の各トラックヘッダーの左上に表示されるミュートボタンと連携しています。

ソロボタン

S

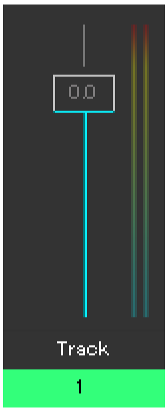
任意のトラックのみを出力させせます。

複数のトラックがある場合、出力させたいトラックのソロボタン S をクリックすると、他のトラックを自動的にミュートします。ソロが設定されているトラックはソロボタン S がハイライトされ、それ以外のトラックはミュートボタン M がハイライトされます。ソロ設定を解除するには、ハイライトされているソロボタン S をクリックします。

◆

この動作はトラックエディターウィンドウ内の各トラックヘッダーの左上に表示されるソロボタンと連携しています。

VOCALOID トラックフェーダー



設定範囲 ： - 89.8 ～ 0 ～ 6.0 dB（デシベル値）

VOCALOID トラックフェーダーは、各トラック個別のレベル調節を行います。

フェーダーを上下し、トラックごとの出力レベルを調節します。

フェーダーレベル（設定値）はフェーダーノブに表示されます。

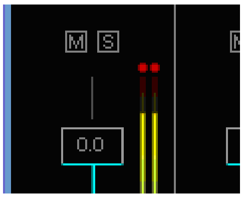
(※ フェーダーノブ表示の『 0.0 』は、設定値『 0dB 』です。)

表示された設定値をダブルクリックして、数値を直接入力することもできます。

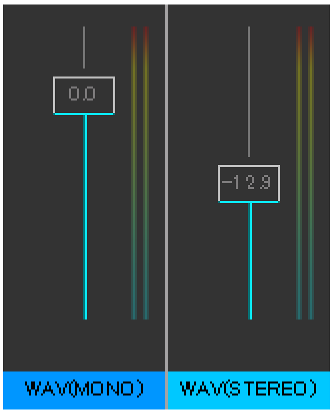
[Ctrl] を押しながら設定値をクリックすると初期値（0）に戻ります。

フェーダーの右横にレベルメーターでトラックの音量を表示します。

“設定” メニューより「プリファレンス」の “ウィンドウ” タブで、ミキサー欄の “ピークホールドする” がオンに設定されている場合は、クリップした際に赤く表示されるピークインジケーター（下図）が点灯したままの状態（ホールド状態）になります。ホールド状態を解除するには、赤くなっているピークインジケーターをクリックします。



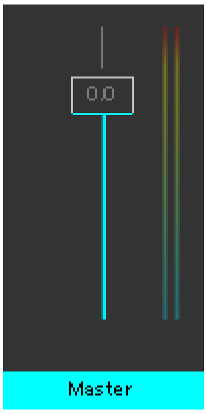
WAV トラックフェーダー



設定範囲 ：- 89.8 ～ 0 ～ 6.0 dB（デシベル値）

WAV トラックフェーダーの操作方法は、VOCALOID トラックフェーダーと同じです。ただし、WAVE（STEREO）トラックの初期値は「-12.3dB」です。

マスターフェーダー

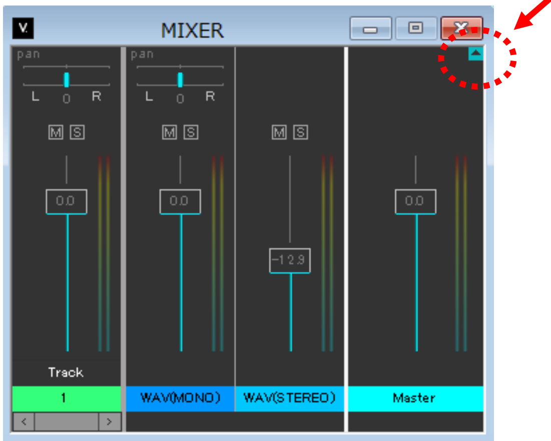


設定範囲 ：- 89.8 ～ 0 ～ 6.0 dB（デシベル値）

マスターフェーダーは、VOCALOID4 Editor トラックの全体的出力をコントロールします。操作方法は、トラックフェーダーと同様です。

折りたたみボタン

マスターフェーダーの右上に表示された折りたたみボタン（下向き三角印▼）をクリックするごとに、ミキサーウィンドウを折りたたみライン（水色の横点線）より下部（パン、ミュート、ソロ、トラックフェーダー）のみの表示と、ミキサーウィンドウ内のすべてのパラメータ表示とを切り替えます。


MIXER
pan
L 0 R
pan
L 0 R
M S
M S
M S
0.0
0.0
-12.9
0.0
Track
1
WAV(MONO)
WAV(STEREO)
Master

折りたたみボタンで折りたたんだ状態

補足

エクスポートする Wave ファイルに有効な VST エフェクトの一覧は、以下のとおりです。

	Track	Send	Master
マスタートラック	**ON**	**ON**	**ON**
Musical エディターで開いているトラック	**ON**	OFF	OFF
選択トラック	**ON**	OFF	OFF
トラック毎に個別	**ON**	OFF	OFF

付録

発音記号

VOCALOID4 発音記号一覧表（英語）

記号	サンプル	コメント
V	Strut	
e	Them	
I	Kit	
i:	Beef	
{	Trap	
O:	Taught	
Q	Lot	
U	Put	
u:	Boot	
@r	Maker	
eI	Pay	
aI	Buy	
OI	Boy	
@U	Oat	
aU	Loud	
I@	Beer	
e@	Bear	
U@	Poor	
O@	Pour	
Q@	Star	
w	Way	
j	Yellow	
b	Cab	
d	Bad	
g	Bag	

記号	サンプル	コメント
bh	Big	音節の始め（帯気音を持って）
dh	Dog	音節の始め（帯気音を持って）
gh	God	音節の始め（帯気音を持って）
dZ	Jeans	
v	Vote	
D	Their	
z	Resort	
Z	Asia	
m	Mind	
n	Night	
N	Long	
r	Red	
l	Feel	
l0	List	音節の始め
p	Dip	
t	Sit	
k	Rock	
ph	Peace	音節の始め（帯気音を持って）
th	Top	音節の始め（帯気音を持って）
kh	Kiss	音節の始め（帯気音を持って）
tS	Touch	
f	Feel	
T	Think	
s	Sea	
S	Share	
h	Hat	
@	-	シュワ（あいまいな母音） 発音記号を直接入力する場合にのみ使用できます

VOCALOID4 発音記号一覧表（日本語）

記号	サンプル（ローマ字）	コメント
a	a i	
i	i ma	
M	u ta	
e	e ga o	
o	o mo i	
k	ko ko ro	
k'	ki bo u	/i/が後ろに続く
g	ge n ki	
g'	gi ri	/i/が後ろに続く
N	o n ga ku	/g/を鼻音化 発音記号を直接入力する場合にのみ使用できます
N'	ka gi	/i/に続く、/g/を鼻音化 発音記号を直接入力する場合にのみ使用できます
s	sa da me	
S	shi a wa se	
z	ki zu	発音記号を直接入力する場合にのみ使用できます
Z	i ji	発音記号を直接入力する場合にのみ使用できます
dz	zu bo shi	単語の始め
dZ	ji bu n	単語の始め
t	ta i do	
t'	ba ra e ti	/i/が後ろに続く
ts	tsu ki	
tS	i no chi	
d	da i chi	
d'	me ro di	/i/が後ろに続く
n	na mi da	
J	ni o i	/i/が後ろに続く
h	ha na	
h¥	ma ho u	単語の途中

記号	サンプル（ローマ字）	コメント
		発音記号を直接入力する場合にのみ使用できます
C	hi na gi ku	/i/が後ろに続く
p¥	fu shi gi	
p¥'	fi a n se	
b	bo ku	
b'	bi ji n	/i/が後ろに続く
p	po su to	
p'	pi a no	/i/が後ろに続く
m	ma na ko	
m'	mi ra i	/i/が後ろに続く
j	yu me	
4	so ra	
4'	ri ku tsu	/i/が後ろに続く
w	wa ta shi	
N¥	ji ka n	

VOCALOID4 発音記号一覧表（韓国語）

韓国表記	主記号	補助記号	音分類	備考
ㅏ	[a]		모음	
ㅑ	[ja]			
ㅓ	[7]			
ㅕ	[j7]			
ㅗ	[o]			
ㅛ	[jo]			
ㅜ	[u]			
ㅠ	[ju]			
ㅡ	[M]			
ㅣ	[i]			
ㅐ, ㅔ	[e]			[ㅐ]와 [ㅔ]를 구별하지 않고, [ㅐ]를 대표음으로 발음
ㅒ, ㅖ	[je]			[ㅒ]와 [ㅖ]를 구별하지 않고, [ㅒ]를 대표음으로 발음
ㅘ	[oa]			
ㅝ	[u7]			
ㅙ, ㅚ, ㅞ	[ue]			[ㅙ],[ㅚ],[ㅞ]는 구별하지 않고, [ㅙ]를 대표음으로 발음
ㅟ	[ui]			
ㅢ	[Mi]			
ㄱ	[g]	[gp]	유성파열음	[gp]는 받침소리
ㄴ	[n]	[np]	비음	[np]는 받침소리
ㄷ	[d]	[dp]	유성파열음	[dp]는 받침소리
ㄹ	[r]	[l],[rp]	유음	[rp]는 받침소리, [l]은 [rp] 뒤의 [r] 발음(영어의 [l] 발음에 해당)
ㅁ	[m]	[mp]	비음	[mp]는 받침소리
ㅂ	[b]	[bp]	유성파열음	[bp]는 받침소리
ㅅ	[s]	[sh]	무성마찰음	[sh]는 [s]가

				모음[ja],[j7],[jo],[ju],[i],[je],[ui]와 결합할 때의 발음
ㅇ	[N]	[Np]	비음	[Np]는 받침소리
ㅈ	[c]		유성파찰음	
ㅊ	[ch]		무성파찰음	
ㅋ	[k]			
ㅌ	[t]			
ㅍ	[p]		무성파열음	
ㅎ	[h]		무성마찰음	
ㄲ	[g']		유성파열음	
ㄸ	[d']			
ㅃ	[b']			
ㅆ	[s']	[sh']	무성마찰음	[sh']는 [s']가 모음[ja],[j7],[jo],[ju],[i],[je],[ui]와 결합할 때의 발음
ㅉ	[c']		유성파찰음	

VOCALOID4 発音記号一覧表（スペイン語）

Symbol	Sample	Comments
a	Padre	
e	Enero	
i	Finca	
o	Foco	
u	unidos	
I	Aire rey hoy muy	forms diphthong [a I] forms diphthong [e I] forms diphthong [o I] forms diphthong [u I]
U	Pausa neutro bou	forms diphthong [a U] forms diphthong [e U] forms diphthong [o U]
j	Hacia tierra piojo viuda	palatal approximant forms diphthong [j a] forms diphthong [j e] forms diphthong [j o] forms diphthong [j u]
w	cuadro fuego cuota fuimos	forms diphthong [w a] forms diphthong [w e] forms diphthong [w o] forms diphthong [w i]
p	Perro	
t	Tuyo	
k	Carro	
b	Vino	occlusive
d	Donde	occlusive
g	Gata	occlusive
B	Cabra	approximant
D	Nada	approximant
G	Luego	approximant

Symbol	Sample	Comments
tS	Chico	
f	Fácil	
T	Pez	
s	Sala	
x	Jamón	
m	madre	
n	Nada	
J	Caña	
l	hablar	
r	Pero	sometimes written as [4]
rr	Perro	sometimes written as [r]
L	Millón	palatal lateral approximant, in some accents pronounced [j¥] (see: yeísmo)
j¥	Sayo	voiced palatal fricative, sometimes pronounced [j]

VOCALOID4 発音記号一覧表（中国語）

Symbol	Sample (pinyin)	Comments
a	Ba	
o	Po	
7	Ke	
i	ji , yi	
u	fu , wu	
y	ju , qu , xu , nv , lv , yu	following /j/ , /q/ , /x/ (pinyin : u) following /n/ , /l/ (pinyin : v)
@`	Er	
i¥	zi , ci , si	following /z/ , /c/ , /s/ (pinyin : i)
i`	zhi , chi , shi , ri	following /zh/ , /ch/ , /sh/ , /r/ (pinyin : i)
aI	Sai	
ei	Fei	
AU	Hao	
@U	Hou	
ia	xia , ya	
iE_r	jie, ye	
ua	kua , wa	
uo	huo , wo	
yE_r	jue , que , xue , nve , lve , yue	following /j/ , /q/ , /x/ (pinyin : ue) following /n/ , /l/ (pinyin : ve)
iAU	xiao , yao	
i@U	jiu , you	
uaI	kuai , wai	
uei	gui , wei	
a_n	Fan	
@_n	Fen	
i_n	xin , yin	
iE_n	qian , yan	
ua_n	duan , wan	

Symbol	Sample (pinyin)	Comments
u@_n	dun , wen	
y_n	xun , yun	
y{_n	xuan , yuan	
AN	Pang	
@N	Beng	
iN	xing , ying	
iAN	xiang , yang	
uAN	chuang , wang	
u@N	Weng	
UN	Dong	
iUN	xiong , yong	
p	Bo	
p_h	Po	
m	Mo	
f	Fo	
t	De	
t_h	Te	
n	Ne	
l	Le	
k	Ge	
k_h	Ke	
x	He	
ts¥	Ji	
ts¥_h	Qi	
s¥	Xi	
ts`	Zhi	
ts`_h	Chi	
s`	Shi	
z`	Ri	
ts	Zi	
ts_h	Ci	
s	Si	

VOCALOID4 発音記号一覧表（中国語）(bopomofo)

Symbol	Sample (bopomofo)	Comments
a	ㄅㄚ	
o	ㄆㄛ	
7	ㄎㄜ	
i	ㄐㄧ, ㄧ	
u	ㄈㄨ, ㄨ	
y	ㄐㄩ, ㄑㄩ, ㄒㄩ, ㄋㄩ, ㄌㄩ, ㄩ	
@`	ㄦ er	
i¥	ㄗ, ㄘ, ㄙ	vowel part
i`	ㄓ, ㄔ, ㄕ, ㄖ	vowel part
aI	ㄙㄞ	
ei	ㄈㄟ	
AU	ㄏㄠ	
@U	ㄏㄡ	
ia	ㄒㄧㄚ, ㄧㄚ	
iE_r	ㄐㄧㄝ, ㄧㄝ	
ua	ㄎㄨㄚ, ㄨㄚ	
uo	ㄏㄨㄛ, ㄨㄛ	
yE_r	ㄐㄩㄝ, ㄑㄩㄝ, ㄒㄩㄝ, ㄋㄩㄝ, ㄌㄩㄝ, ㄩㄝ	
iAU	ㄒㄧㄠ, ㄧㄠ	
i@U	ㄐㄧㄡ, ㄧㄡ	
uaI	ㄎㄨㄞ, ㄨㄞ	
uei	ㄍㄨㄟ, ㄨㄟ	
a_n	ㄈㄢ	
@_n	ㄈㄣ	
i_n	ㄒㄧㄣ, ㄧㄣ	
iE_n	ㄑㄧㄢ, ㄧㄢ	

Symbol	Sample (bopomofo)	Comments
ua_n	ㄉㄨㄢ, ㄨㄢ	
u@_n	ㄉㄨㄣ, ㄨㄣ	
y_n	ㄒㄩㄣ, ㄩㄣ	
y{_n	ㄒㄩㄢ, ㄩㄢ	
AN	ㄆㄤ	
@N	ㄅㄥ	
iN	ㄒㄧㄥ, ㄧㄥ	
iAN	ㄒㄧㄤ, ㄧㄤ	
uAN	ㄔㄨㄤ, ㄨㄤ	
u@N	ㄨㄥ	
UN	ㄉㄨㄥ	
iUN	ㄒㄩㄥ, ㄩㄥ	
p	ㄅㄛ	
p_h	ㄆㄛ	
m	ㄇㄛ	
f	ㄈㄛ	
t	ㄉㄜ	
t_h	ㄊㄜ	
n	ㄋㄜ	
l	ㄌㄜ	
k	ㄍㄜ	
k_h	ㄎㄜ	
x	ㄏㄜ	
ts¥	ㄐㄧ	
ts¥_h	ㄑㄧ	
s¥	ㄒㄧ	
ts`	ㄓ	consonant part
ts`_h	ㄔ	consonant part
s`	ㄕ	consonant part
z`	ㄖ	consonant part
ts	ㄗ	consonant part
ts_h	ㄘ	consonant part
s	ㄙ	consonant part

ショートカットキー

ショートカットキーに割り当てられている機能は、以下の通りです。

トランスポート機能のショートカット

機能	ショートカットキー	説明
巻き戻し	テンキー[-] (マイナス)	1 小節前に戻ります。
早送り	テンキー[+] (プラス)	1 小節前に進みます。
再生/停止	スペースキー または テンキーの[Enter]	停止時に押すと再生し、再生時に押すと停止します。
トップ	[.](ピリオド)	ソングポジションをシーケンスの先頭に移動します。
トップ	[Ctrl]+[Home]	シーケンスの先頭に移動します。
エンド	[Ctrl]+[End]	シーケンスの終点に移動します。
開いているパートのみ再生	[Shift]+スペースキー	現在開いているパートのみを再生します。
ソングポジションをここに移動	[Ctrl]+[G]	マウスカーソルの位置にソングポジションを移動します。

編集ツール・編集機能のショートカット

編集ツール / 編集機能	ショートカットキー	説明
矢印ツール	[Ctrl]+[1]	矢印ツールを選択します。
鉛筆ツール	[Ctrl]+[2]	鉛筆ツールを選択します。
ラインツール	[Ctrl]+[3]	ラインツールを選択します。
消しゴムツール	[Ctrl]+[4]	消しゴムツールを選択します。
コピー	[Ctrl]+[C]	選択されたものをコピーします。
削除	[Delete]	選択されたものを削除します。
貼り付け	[Ctrl]+[V]	選択されたものを貼り付けます。
元に戻す(Undo)	[Ctrl]+[Z]	最後の編集のすぐ前の状態に戻します。
やり直し(Redo)	[Ctrl]+[Y]	Undo で戻した編集をもう一度やり直します。

その他のショートカット

機能	ショートカットキー	説明
編集メニュー(コンテキストメニュー)になる	[Shift]+[F10]	右クリック時と同じ編集メニューを表示します。
ユーザーマニュアルを開く	[F1]	ユーザーマニュアルを開きます。
歌詞の編集モードになる	[F2]	ノートをクリックし F2 を押すと編集モードになります。ノートをダブルクリックしても同様に編集モードになります。
ミキサーの表示/非表示	[F3]	ミキサーウィンドウの表示/非表示を切り替えます。
トランスポートバーの表示/非表示	[F4]	トランスポートバーの表示/非表示を切り替えます。
ウィンドウの最大化	[F11]	ウィンドウの最大化をします。（最大化中からは元のサイズに戻します。）
ピッチレンダリング機能を実行	[P]	ピッチレンダリングを開始します。
歌詞の編集/発音記号の編集の切り替え	[Alt]+[↑] または [Alt]+[↓]	歌詞または発音記号の編集中に、歌詞編集モード/発音記号編集モードを切り替えます。
次のノートの選択	[Tab]	歌詞または発音記号の編集中に、次のノートに移動します。
前のノートの選択	[Shift]+[Tab]	歌詞または発音記号の編集中に、次の前のノートに移動します。
横方向ズームイン	[Ctrl]+[→]	横方向へズームインします。
横方向ズームアウト	[Ctrl]+[←]	横方向へズームアウトします。
次のウィンドウを表示	[Ctrl]+[Tab]	次のウィンドウを表示します。
コントロールパラメータの表示/非表示	[Ctrl]+[E]	コントロールパラメータの表示/非表示を切り替えます。
コントロールパラメータの表示を DYN に変更	[Ctrl]+[Shift]+[D]	コントロールパラメータの表示を DYN に切り替えます。
コントロールパラメータの表示を XSY に変更	[Ctrl]+[Shift]+[X]	コントロールパラメータの表示を XSY に切り替えます。
コントロールパラメータの表示を PIT に変更	[Ctrl]+[Shift]+[T]	コントロールパラメータの表示を PIT に切り替えます。

右クリックメニュー　Shift + F10

右クリックで表示されるコンテキストメニューは、以下の通りです。

◆ 右記：ショートカットキーメニュー

トラック上で右クリック

- ソングポジションをここに移動　[Ctrl]+[G]
- 矢印　[Ctrl]+[1]
- 鉛筆　[Ctrl]+[2]
- 消しゴム　[Ctrl]+[4]
- クオンタイズ
- パートの長さ
- 切り取り　[Ctrl]+[X]
- コピー　[Ctrl]+[C]
- 貼り付け　[Ctrl]+[V]
- 削除　[Delete]
- すべてのパートを選択　[Ctrl]+[A]
- Musical パートをすべて選択
- WAV パートをすべて選択
- 選択トラックのすべてのパートを選択　[Ctrl]+[Shift]+[A]
- シンガー
- パートのピッチスナップモード
- パートプロパティ

ピアノロール上で右クリック

- ソングポジションをここに移動　[Ctrl]+[G]
- 矢印　[Ctrl]+[1]

- 鉛筆 [Ctrl]+[2]
- 消しゴム [Ctrl]+[4]
- クオンタイズ
- ノートの長さ
- 固定長ノート入力
- 切り取り [Ctrl]+[X]
- コピー [Ctrl]+[C]
- 貼り付け [Ctrl]+[V]
- 削除 [Delete]
- すべて選択 [Ctrl]+[A]
- すべてのイベントを選択 [Ctrl]+[Shift]+[A]
- シンガー
- 歌詞の流し込み
- デフォルト歌詞に戻す
- 発音記号のプロテクト
- ノートプロパティ

コントロールパラメータ上で右クリック

- ソングポジションをここに移動 [Ctrl]+[G]
- 矢印 [Ctrl]+[1]
- 鉛筆 [Ctrl]+[2]
- ライン [Ctrl]+[3]
- 消しゴム [Ctrl]+[4]
- 切り取り [Ctrl]+[X]
- コピー [Ctrl]+[C]
- 貼り付け [Ctrl]+[V]
- 削除 [Delete]
- すべてのイベントを選択 [Ctrl]+[Shift]+[A]
- Edit と Back を入替え

- シンガー

トラブルシューティング Q & A

トラブルシューティング Q & A は web FAQ をご覧ください。

http://net.vocaloid.com/support/faq/category/1